

平成
三十
年度

年

報

年報
第47号 平成30年度

No. 47

鳥取県立博物館 年報
Annual Report of the Tottori Prefectural Museum

鳥
取
県
立
博
物
館

目 次

■平成30年度の鳥取県立博物館

- 1 総 論…………… 1
- 2 各課の概況…………… 3

■管理運営の概況

- 1 組 織…………… 5
- 2 博物館協議会…………… 5
- 3 予算・決算…………… 7
- 4 利用状況…………… 8

■事業の概要

- 1 調査研究…………… 10
 - (1) 調査研究…………… 10
 - (2) 研究報告等の刊行…………… 10
- 2 資料収集・保管…………… 11
 - (1) 博物館資料保有状況…………… 11
 - (2) 購入(製作)資料…………… 11
 - (3) 寄贈資料…………… 11
 - (4) 採集・拾得等資料…………… 12
 - (5) 保管換資料…………… 12
- 3 展 示…………… 12
 - (1) 常設展示…………… 12
 - (2) 企画展…………… 20
- 4 教育普及活動…………… 40
- 5 博物館交流事業…………… 49
- 6 ボランティア活動…………… 52
- 7 県民との連携・地域への貢献…………… 53
- 8 その他の事業…………… 63
- 9 学芸員の業績…………… 66

■鳥取県立美術館の整備運営の検討について

- 1 概 要…………… 79
- 2 検討状況…………… 79

◎附録

- 1 沿 革…………… 81
- 2 施設の概要…………… 84
- 3 昭和47年度～平成30年度利用統計…………… 87
- 4 昭和47年度～平成18年度催物展(企画展)開催状況 …… 98
- 5 条例・規則…………… 101

平成 30 年度の鳥取県立博物館

1 総 論

鳥取県立美術館整備基本構想（平成 29 年 3 月）に基づき、平成 30 年 3 月に、美術館の整備・運営手法以外についての考え方を整理した基本計画（中間まとめ）をとりまとめ、平成 30 年 5 月に「鳥取県 PPP/PFI 手法活用の優先的検討方針」による「県有施設・資産有効活用戦略会議」で、民間の経営ノウハウや資金の活用による PFI・BTO 方式を導入するとの検討結果が示されたことから、その結果を盛り込んで、平成 30 年 7 月に鳥取県立美術館の整備基本計画を策定した。

その後、鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）を 2 回開催し、落札者決定基準等の検討に着手するとともに、平成 31 年 3 月に PFI 法に基づく実施方針を策定・公表した。

さらに、子どもたちが美術に触れ美術を通じて学びを深めるための「美術ラーニングセンター（仮称）」機能の具体化に向け、小学生の博物館への招待、対話型鑑賞教育に有効なデジタルコンテンツの試行、小学校新規採用教員に対する研修を新たに実施した。

現博物館の改修基本構想については、現施設から美術分野を移転する方針をもとに、残る自然、歴史・民俗の 2 分野のための施設改修とその後の運営の方向等について、鳥取県立博物館協議会の意見等を踏まえ、平成 30 年 6 月に県教育委員会として「鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）」を策定した。この「中間まとめ」は、博物館の整備・運営手法以外についての考え方を整理したものであり、県立美術館整備スケジュール等を踏まえながら、PPP/PFI 優先方針に基づく整備・運営手法の検討を行い、さらにその時点での必要な修正を踏まえて最終的な取りまとめを行う。併せて、新たな博物館の出発を示せる象徴的な意匠をほどこすことや、外構まわりも含めてユニバーサルデザインの視点での必要な対応を行うことも検討する。

博物館の活動としては、博物館資料の収集・保存、展示、館内外での普及活動などを、例年どおり着実に実施した。平成 20 年度以降毎年 5 本ずつ開催している企画展については、今年度も自然関係 1 本、歴史・民俗関係 1 本、美術関係 3 本を実施し、夏季に開催した「とっとりの化石 EXPO！2018」は目標を大きく上回る 1 万人を超える来場者で賑わった。平成 28 年度以降、広報の強化による来館者の増加を図るため、マスコミとのタイアップによる実行委員会方式で企画展を開催しており、平成 30 年度は 5 本の企画展のうち 3 本の企画展を実行委員会方式で開催した。

企画展のほか、河北博物院との交流 20 周年を記念し、交流 20 周年記念展「中国河北省の伝統工芸」を開催し、河北博物院所蔵の「武強年画」、「蔚県の剪紙」、「唐山皮影芝居」を当館で展示した。普及活動では、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを開催し、合計で 1 万人近くの参加があった。移動博物館は倉吉市と湯梨浜町、移動美術館は若桜町と北栄町で開催し、当館から離れた地域における鑑賞の機会を充実させた。また、学校教育における博物館利用を促進するため、「教員のための博物館の日」として、教員を対象に講演会や展示解説を実施した。

(1) 組 織

新美術館整備を円滑に進めるため、前年度（平成 29 年度）に設置した「美術館整備準備室」の職員を 1 名増員した。

(2) 資料の収集・調査研究

自然部門では鳥取県産の昆虫、植物、化石などの標本の寄贈や、学芸員による採集などにより、様々な貴重な資料を収集した。また、仮保管されていた遺体などを標本化した。これらの標本の整理や鳥取県の自然史に関する調査研究を実施した。

人文部門では、村川家文書 32 点及び南条元統書状 1 幅を購入したほか、多数の歴史・近代資料の寄贈を受けた。また、タブレットを導入・活用し、鳥取藩政資料をはじめとする当館収蔵資料等を県民や観光客等へ広く紹介した。

美術部門では、企画展に関する調査を行うとともに、鳥取県の美術に関する調査を継続して行い、沖探容《寿老・山水図》、菅楯彦《抜頭鼉太鼓を廻る》、中島菜刀《囧山図巻》、伊原宇三郎《室内婦人像》、林武《静物》、前田寛治《労働者》、辻晉堂《歩く壁》、早川巍一郎《田子富彦胸像》などを新たに収集した。

(3) 展 示

企画展 5 回（自然分野 1 回、人文分野 1 回、美術分野 3 回）を開催し、博物館全体の事業に約 10 万人の来館者があった。

〈企画展の概要〉

自然分野：「とっとりの化石 EXPO ! 2018」では、鳥取市国府町宮下や鳥取市佐治町辰巳峠、日南町多里など、鳥取県内の代表的な化石産地を中心に、産出した化石や古環境を紹介した。そしてこれまでの研究成果や周辺地域との比較などを通して、化石産地としての鳥取県を再認識・再評価した。展示を見た来館者から化石産地に関する新たな情報がもたらされたり、化石コレクション寄贈の申し出があったりなど、有意義な反響があった。

人文分野：「大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—」では、大山寺や大神山神社が所蔵する重宝を中心に、全国に点在する大山関係資料を一堂に展示した。あわせて初公開となる大山寺中興の祖・豪門関係資料も紹介した。企画展終了後の 7 月 29 日（日）から 8 月 26 日（日）までは、平成 30 年度米子市美術館特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」の第 2 展示室において、「大山の重宝」と題して大山寺、大神山神社、個人所蔵の資料を巡回展示し、伯耆国「大山開山 1300 年祭」の気運を盛り上げた。

美術分野：美術部門では三つの企画展を開催した。「鳥取画壇の祖 土方稲嶺」は鳥取藩とゆかりの深い藩絵師、土方稲嶺の画業を県内のみならず関東や関西からも多くの作品を借用して紹介した。江戸や京都における修業時代の作品も多数出品され、とりわけ和歌山の興国寺に収められていた襖絵 38 面の展示は圧巻であった。「ミュージアムとの創造的対話 02」として開催された「空間／経験」においては、三人の現代美術の作家が博物館の他の部門と協同して剥製や実測図を展示し、あるいは関連するイベントを開催するという総合博物館ならではの画期的な展示が試みられた。「鳥取県のアート・コレクションのこれまでとこれから」というサブタイトルが付された「Our Collections !」においては新設される美術館を見越して博物館の美術部門が収集してきた作品と今後新しく終章方針に加えられるであろう作品の両方を展示した。本年

の企画展はいずれも新しい美術館の方向性を確認するうえで大きな意味をもった内容であったと考える。

(4) 教育普及

普及関係では、県民の生涯学習を支援するため、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを開催した。

移動博物館・移動美術館・学芸員派遣は、84回実施し延べ4,815人が参加した。また、各種講座や講演会は、年間を通して117回開催し、延べ3,935人の参加があった。

美術の普及講座では、「毎週土曜日はアートの日!」と題して、毎週土曜日に美術に関する事業を実施し、アートにふれあう機会を充実させた。また、移動博物館は倉吉市、大山町及び江府町、移動美術館は若桜町と北栄町で開催し、当館から離れた地域における鑑賞の機会を充実させた。

広報に関しては、FaceBookを活用して、企画展の告知や普及講座の開催前後に随時情報発信し、ファン層の拡大に努めた。また、各種イベント系Webページにも登録して、幅広く情報発信した。Web以外のメディアについても、対象年代や広報手段について検討し、より効果的な広報を実施するとともに、県民の方へより広く博物館について知っていただくために、ニュースレター「鳥取県博物館ニュース」を年2回配布した。

(5) 来館者サービス

平成21年度から実施している開館時間の延長について、平成30年度は、春季に開催した「大いなる神仏の山 大山―その歴史と民俗―」では金・土を、夏季に開催した「とっとりの化石 EXPO! 2018」では土・日・祝日を午後7時まで開館延長した。

2 各課の概況

(1) 総務課

- ・博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である鳥取県立博物館協議会を3回開催した。

(2) 美術館整備準備室

- ・平成30年7月に「鳥取県立美術館整備基本計画」を策定した。
- ・基本計画を実現するPFI事業者を選定するため、平成30年11月に「鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）」を設置し、2回開催した。
- ・地域団体等での出前説明会等を10回行うとともに、美術館フォーラムを1回開催した。
- ・平成31年3月に「鳥取県立美術館（仮称）整備運営事業実施方針」を策定・公表した。

(3) 学芸課

●自然担当

- ・企画展「とっとりの化石 EXPO! 2018」を7月14日から8月26日まで開催し、1万人を超える来場者でにぎわった。
- ・収蔵資料等の整理事業として、「地学標本整理事業（5年目／5か年事業）」と「昆虫標本整理事業（1年目／3か年事業）」を実施した。
- ・常設展示室オオサンショウウオ飼育水槽について、給水・濾過システムを改善するとともに外

装デザイン等を改修した。

- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施し、調査研究活動として研究成果を『鳥取県立博物館研究報告』等に発表した。

●人文担当

- ・企画展「大いなる神仏の山 大山―その歴史と民俗―」を当館で6月2日から7月1日まで開催し、7月29日から8月26日までは、平成30年度米子市美術館特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」の第2展示室において、「大山の重宝」と題して大山寺、大神山神社、個人所蔵の資料を巡回展示し、伯耆国「大山開山1300年祭」の気運を盛り上げた。
- ・鳥取県の歴史民俗事象調査事業〈黄檗寺院の仏像・古文書〉を実施した。
- ・藩政資料整備事業（16か年計画）の14年目を迎えた。
- ・収蔵資料保存・修復事業〈刀剣研磨及び拵えの補修〉を実施した。
- ・「鳥取藩政資料」解説事業〈寺社方日記・御普請部屋日記〉を推進した。
- ・5年ごとに同一地点（地上・航空定点）で写真撮影を行い、その写真を歴史資料として収集・保存する「郷土視覚定点資料収集事業」の第11次を明治150年記念事業として取り組んだ。

●普及担当

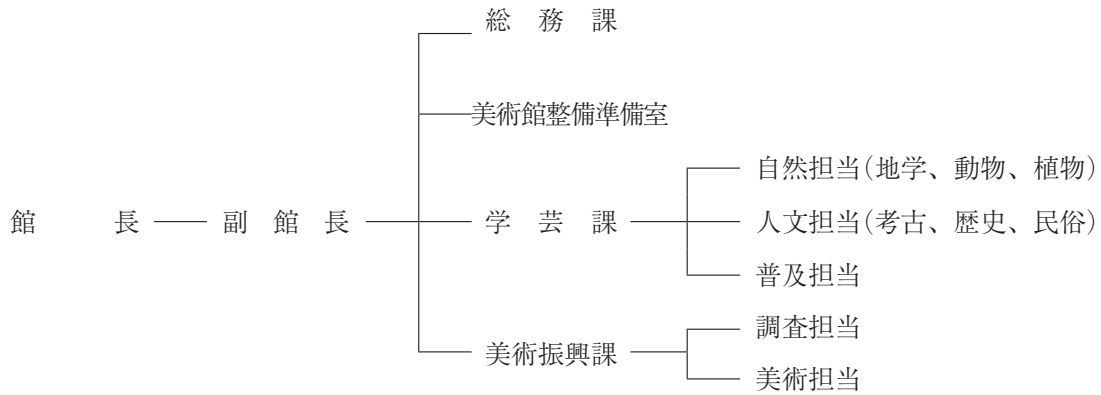
- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館や移動美術館、学芸員派遣等の事業を実施するとともに、「教員のための博物館の日」を開催した。情報発信では、ホームページに画像を多用するなど分かりやすく掲載したほか、SNSの活用や民間等の運用するサイトや冊子等への情報提供に積極的に取り組んだ。また、普及誌「鳥取県立博物館ニュース」No.26、27、リーフレット「2018.4-2019.3 展覧会・イベントのご案内」を発行した。）

（4）美術振興課

- ・美術部門では三つの企画展を企画・開催した。これらの展覧会は県立博物館としての基本を提示し、さらに新しい方向を垣間見させるという点において新設が予定されている県立美術館の方向性を考えるうえで意義のある内容であったと考える。
- ・2階近代美術展示室でも二度にわたってテーマ展示を行った。夏休みの企画となる「動／静」は日本画家の内田あぐり氏をゲスト・キュレーターに招聘し、内田氏の作品と内田氏によって選ばれた館蔵作品を同じ会場に並べ、動と静というテーマを検証した。例年の子ども向けの展示とは異なった内容であったが、内田氏を交えたワークショップには多くの参加者があった。また11月には本年が生誕100年となる彫刻家、山本兼文の回顧展を開催した。作品のみならず県内に点在するモニュメント等についての調査を踏まえた充実した展示となった。
- ・1階美術常設展示室では、本館が所蔵する美術の名品をジャンルごとに展示する一方で、前期と中期には近年寄贈された作品をコレクションごとに紹介した。この数年、まとまった作品の寄贈が相次ぎ、十分に紹介ができていなかったこともあり、新収蔵の作品を展示するよい機会となった。
- ・このほか年間を通じて毎週土曜日に美術の普及活動を展開する「毎週土曜はアートの日！」を本年度も実施し、ワークショップ、アートセミナー、アートシアター、ギャラリートーク、企画展関連事業等を通して美術に関する教育普及に努めた。また新しい美術館が担う「美術館ラーニングセンター的機能」の充実に向けて、特別展と関連して対話型鑑賞やウォーク・イン・ビュー型の鑑賞を行い、県内各地からのバス招待事業などにも取り組んだ

管理運営の概況

1 組織（平成31年3月31日現在）



職員名簿（平成31年3月31日現在）

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
館長	田中規靖	副館長 (学芸課長兼務)	上山憲二	副館長 (美術振興課長兼務)	尾崎信一郎
総務課長	藤原浩	自然担当 主幹学芸員	川上靖	調査担当 専門員	佐藤真菜
課長補佐	岩尾聖	自然担当 主任学芸員	一澤圭	調査担当 主任学芸員	山下真由美
〃	奥田克浩	自然担当 学芸員	田邊佳紀	美術担当 主幹学芸員	三浦努
主事	岩谷智恵	人文担当 主幹学芸員	福代宏	美術担当 専門員	山本亮
〃	武田はつみ	人文担当 主任学芸員	来見田博基	美術担当 主任学芸員	赤井あずみ
〃	茂上美樹	〃	大嶋陽一	美術担当 学芸員	友岡真秀
美術館整備準備室 室長	漆原芳彦	人文担当 専門員兼学芸員	酒井雅代		
係長	石原理絵	人文担当 学芸員	山本隆一朗		
〃	石本昭太郎	普及担当 主幹学芸員 (自然担当兼務)	清末幸久	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員補 (自然担当併任)	安藤和也
		普及担当 係長	梶川和則	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員補 (自然担当併任)	金山恭子

2 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会は、「鳥取県立博物館協議会に関する条例」に基づき設置され、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

委員14名で構成し、全体会のほか、運営、自然、美術及び人文の各専門部会を設けて、適宜開催している。

(1) 協議会開催状況（平成 30 年度）

全体会（第 1 回） 平成 30 年 5 月 11 日

- 議 事 ①議長選出
②各部長選出

- 報告事項 ①平成 30 年度鳥取県立博物館事業の実施状況について
②平成 30 年度鳥取県立博物館事業について
③鳥取県立博物館改修基本構想について
④鳥取県立美術館整備の検討状況について

全体会（第 2 回） 平成 30 年 12 月 11 日

- 報告事項 ①平成 29 年度決算について
②平成 30 年度博物館事業の実施状況について
③平成 31 年度博物館事業の予算要求について
④鳥取県立博物館改修基本構想（中間まとめ）について
⑤鳥取県立美術館整備の検討状況について

全体会（第 3 回） 平成 31 年 3 月 14 日

- 報告事項 ①平成 30 年度（下半期）博物館事業の実施状況について
②平成 31 年度博物館事業の予算について
③鳥取県立美術館整備の検討状況について

(2) 鳥取県立博物館協議会委員名簿（任期 平成30年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月31日）

氏 名	団体名及び職名	区 分	所属部会	備考
石 谷 孝 二	鳥取大学名誉教授	学識経験者	美 術	
李 素 妍	鳥取大学地域学部准教授	学識経験者	人 文	
木ノ下 智恵子	大阪大学21世紀懐徳堂准教授、アートプロデューサー	学識経験者	美 術	
郡 山 鈴 夏	山陰海岸ジオパーク推進協議会ジオパーク専門員	学識経験者	自 然	
坂 本 敬 司	前鳥取県史編さん室長	学識経験者	人 文	
谷 口 博 繁	元鳥取県立博物館長	社 会 教 育	運 営	
田 村 閑 美	鳥取中央女性会理事	社 会 教 育	運 営	
鶴 崎 展 巨	鳥取大学農学部教授	学識経験者	自 然	
中 尾 廣太郎	鳥取東部美術家協会会長	学識経験者	美 術	
野 地 恒 有	愛知教育大学教授	学識経験者	人 文	
前 田 明 範	元倉吉博物館長	学識経験者	美 術	H 30.12.15 ご逝去
矢田貝 繁 明	大山自然歴史館館長	学識経験者	自 然	
山 口 朝 子	鳥取県家庭教育アドバイザー	家 庭 教 育	運 営	
米 田 恵 子	鳥取市立富桑小学校校長	学 校 教 育	運 営	

※団体名及び職名は、平成 30 年度当時のもの。

3 予 算 ・ 決 算

(一般会計 現年)

(単位：千円)

(目 名)	事 業 名	予 算 額				決算額	決算額の財源内訳					備 考			
		当初予算	補 正 額	流 用 額	計		国	庫	使 用 料	財産収入	諸 収 入		債 起	繰 越 金	一般財源
(博物館費)	企画展開催費	89,575	△ 639		88,936	87,856			540		8,295			79,021	
	「とっりの化石EXPO！2018	21,409			21,409	21,373					2,665			18,708	
	大いなる神仏の山 大山	22,163	△ 639		21,524	21,444					3,798			17,646	
	鳥取画壇の祖 土方稲嶺	22,065			22,065	21,894					1,832			20,062	
	ミュージアムとの創造的対話02	15,978			15,978	15,368			307					15,061	
	Our Collections！	5,672			5,672	5,649			219					5,430	
	ニューヨーク・アートシーン	2,288			2,288	2,128			14						
	博物館運営費	91,417	△ 450		90,967	90,053			2,428	1,276	1,328			85,021	
	博物館交流事業	3,788	△ 500		3,288	3,184								3,184	
	収蔵資料管理事業	5,509	△ 600		4,909	4,169					5			4,164	
	自然事業費	14,160	△ 2,110		12,050	11,348					13			11,335	
	人文事業費	23,769	△ 100		23,669	20,962					26			20,936	
	美術事業費	16,896	△ 880		16,016	14,260								14,260	
	博物館普及事業費	12,332	△ 260		12,072	10,717					6			10,711	
	鳥取藩絵師粉本類修復事業	1,796			1,796	1,774								1,774	
	美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,557	△ 800		757	292								292	
第11次郷土視覚定点資料収集事業	7,141			7,141	6,843								6,843		
鳥取県立美術館整備推進事業	4,935	21,788		26,723	26,028								26,028		
鳥取県美術品取得基金買戻金		42,094		42,094	42,094					25			42,069		
小 計		272,875	57,543	0	330,418	319,580	0	0	2,968	1,276	9,698	0	0	305,638	

4 平成30年度利用状況

(1) 利用者数

常設展示	企画展	普及活動		研究 相談	小計	許可利用			カフェ・ レストラン	合計
		館内	館外			展示室	講 堂 会議室	小計		
25,850	22,309	[799] 2,717	5,358	436	[799] 56,670	36,253	2,711	38,964	15,381	[799] 111,015

※〔 〕は常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、記載欄においては外数(常設展又は企画展の入館者数中に含まれる。)

(2) 常設展示入館者数

(単位：人)

月別	開館 日数	幼 児			小中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			1 日 当 た り の 入 館 者 数
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4月	29	150	0	150	208	9	217	50	0	50	29	0	29	(379) 1,233	(27) 150	(406) 1,383	(379) 1,670	(27) 159	(406) 1,829	63
5月	28	89	0	89	121	120	241	48	17	65	113	0	113	(517) 1,504	(44) 408	(561) 1,912	(517) 1,875	(44) 545	(561) 2,420	86
6月	29	82	1	83	60	13	73	18	40	58	22	0	22	(675) 898	(104) 168	(779) 1,066	(675) 1,080	(104) 222	(779) 1,302	45
7月	30	409	103	512	845	135	980	60	0	60	33	17	50	(1,445) 1,786	(1) 87	(1,446) 1,873	(1,445) 3,133	(1) 342	(1,446) 3,475	116
8月	30	570	52	622	1,277	28	1,305	96	11	107	96	0	96	(2,485) 2,977	(36) 146	(2,521) 3,123	(2,485) 5,016	(36) 237	(2,521) 5,253	175
9月	26	52	0	52	95	23	118	12	0	12	47	0	47	(178) 725	(1) 161	(179) 886	(178) 931	(1) 184	(179) 1,115	43
10月	29	62	0	62	153	654	807	18	40	58	19	0	19	(996) 1,270	(13) 126	(1,009) 1,396	(996) 1,522	(13) 820	(1,009) 2,342	81
11月	26	92	0	92	55	329	384	23	0	23	30	0	30	(1,103) 1,383	(23) 132	(1,126) 1,515	(1,103) 1,583	(23) 461	(1,126) 2,044	79
12月	26	96	20	116	141	156	297	46	27	73	109	15	124	(704) 987	(0) 96	(704) 1,083	(704) 1,379	(0) 314	(704) 1,693	65
1月	24	99	0	99	105	4	109	34	0	34	30	0	30	(162) 479	(1) 96	(163) 575	(162) 747	(1) 100	(163) 847	35
2月	24	99	13	112	100	168	268	40	0	40	35	0	35	(552) 873	(0) 124	(552) 997	(552) 1,147	(0) 305	(552) 1,452	61
3月	27	127	17	144	216	18	234	56	0	56	95	0	95	(747) 1,332	(24) 217	(771) 1,549	(747) 1,826	(24) 252	(771) 2,078	77
合計	328	1,927	206	2,133	3,376	1,657	5,033	501	135	636	658	32	690	(9,943) 15,447	(274) 1,911	(10,217) 17,358	(9,943) 21,909	(274) 3,941	(10,217) 25,850	79

()は入館料減免者で内数である。

(3) 企画展入館者数

(単位：人)

区分 展覧会名	期間 開館 日数	幼 児			小・中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			の1 日 入 館 者 数 た り
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
伯耆国「大山開山 1300年祭」大いなる 神仏の山 大山ーそ の歴史と民俗ー	H30 6.2～ 7.1	29	37	0	37	70	10	80	53	0	53	0	0	(217) 2,214	(0) 209	(217) 2,423	(217) 2,374	(0) 219	(217) 2,593	89
とっとり化石EXPO！ 2018	H30 7.14～ 8.26	44	1,575	142	1,717	3,605	168	3,773	228	11	239	0	0	(548) 5,790	(25) 354	(573) 6,144	(548) 11,198	(25) 675	(573) 11,873	270
鳥取画壇の祖 土方稲嶺ー明 月来タリテ相 照ラスー	H30 10.6～ 11.11	36	34	0	34	411	415	826	23	131	154	0	0	(311) 3,455	(0) 186	(311) 3,641	(311) 3,923	(0) 732	(311) 4,655	129
ミュージアム との創造的対 話02 空間／ 経験	H30 11.23～ 12.24	31	63	0	63	91	110	201	40	48	88	130	0	(224) 1,120	(27) 74	(251) 1,194	(224) 1,444	(27) 232	(251) 1,676	54
Our Collections! ー鳥取県のアート・ コレクションの、こ れまでとこれからー	H31 2.16～ 3.10	31	56	17	73	61	0	61	26	0	26	67	0	(381) 1,220	(13) 65	(394) 1,285	(381) 1,430	(13) 82	(394) 1,512	49
合 計			1,765	159	1,924	4,238	703	4,941	370	190	560	197	0	13,799	888	14,687	20,369	1,940	22,309	

()は入館料減免者で内数である。

(4) 館外主催展

展 覧 会 名	期 間	内 容	入館者数	主 催 者
歌 川 広 重 の 世 界	平成30年 3月31日～4月30日	浮世絵	11,304	株式会社 新日本海新聞社
描くひと 谷口ジローの世界	4月14日～5月13日	漫画等	6,847	鳥取県 (まんが王国官房)
第57回鳥取市民美術展	5月13日～5月20日	日本画・洋画・ 書道等	2,476	鳥取市 (文化交流課)
第61回日本伝統 工芸中国支部展	6月19日～6月24日	陶芸・染織・ 漆芸等	1,375	公益社団法人 日本工芸中国支部
毎日書道展第70回記念 毎日現代書巡回展	7月7日～7月16日	書道	762	毎日新聞社・毎日 書道会
麒麟	7月22日～8月26日	麒麟獅子	3,719	麒麟展実行委員会
第62回鳥取県美術展覧会	9月15日～9月24日	絵画・書道・ 写真等	3,476	鳥取県 (文化政策課)
第16回鳥取県ジュニア美術展覧会 東 部 地 区 展	平成31年 1月12日～1月20日	絵画・書道・ 写真等	1,917	鳥取県 (文化政策課)
代 表 展	1月16日～1月20日	写真	566	個人
鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展	1月26日～1月30日	郷土史・彫刻	242	鳥取県 (文化政策課)
平成30年度鳥取大学附属特別支援学校 児童生徒作品展	1月30日～2月5日	美術・家庭科・ 絵画作品等	239	鳥取大学附属特別 支援学校
発掘! 因幡の遺跡展	2月23日～3月17日	遺跡	1,881	鳥取県埋蔵文化財 センター
第40回記念鳥取 県書道連合会展	3月21日～3月24日	書道	610	鳥取県書道連合
第42回鳥取書道連盟展	3月28日～3月31日	書道	648	鳥取書道連盟
倉 吉 絣 展	3月30日～4月7日	伝統工芸	191	伯耆しあわせの郷 (織物教室)
合 計			36,253	

事業の概要

1 調査研究

(1) 調査研究

分野	事項
地 学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動 物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植 物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考 古	縄文土器製作技術の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴 史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県内の戦争遺跡に関する研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究
民 俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究 大山の信仰に関する調査研究
美 術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 平成30年度企画展(「土方稲嶺展」「ミュージアムとの創造的対話 vol. 2」「Our Collections展」)、 および平成31年度企画展(「ニューヨーク・アートシーン展」「生誕120年塩谷定好とその時代 (仮称)」「生誕100年 國領経郎展」)等に関する調査研究
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称(発行時期)	発行部数	規 格
鳥取県立博物館年報 No. 46(平成30年 8 月)	300部	A 4 102ページ
鳥取県立博物館ニュース MUSEUM PRESS No. 26 (平成30年 9 月)	10, 000部	A 4 8 ページ
研究報告 No. 56 (平成31年 3 月)	470部	A 4 88ページ
鳥取県立博物館ニュース MUSEUM PRESS No. 27 (平成31年 3 月)	10, 000部	A 4 8 ページ

2 資料収集・保管

(1) 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本 年 度 中 増 加 点 数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,120		11					8,131
動 物	26,460		618	3			5	27,076
植 物	55,520	2		17				55,539
歴 史	54,085	34	7					54,126
近 現 代	7,435	10	367					7,812
民 俗	3,735		50					3,785
考 古	8,272	6	1					8,279
美 術	9,581	20	15					9,616
そ の 他	123							123
合 計	173,331	72	1,069	20			5	174,487

※動物と植物の「本年度中減少点数」は登録外資料の点数である。これまで博物館資料保有状況に登録外資料の点数も含めていたが、登録資料のみの点数に訂正した。

(2) 購入（製作）資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	なし
植 物	オニハマダイコン（レプリカ）1点、クロムラサキホコリ（レプリカ）1点
歴 史	村川家文書 32点、南条元統書状 1幅、錦絵 諸国名所百景 伯耆下谷真景 1枚
近 現 代	鳥取県関係絵葉書 10点
民 俗	なし
考 古	泥塔、瓦経断片 6点
美 術	沖探容《寿老・山水図》3点、菅楯彦《抜頭鼉太鼓を廻る》等2点、中島葉刀《囀山図巻》1点、伊原宇三郎《室内婦人像》1点、林武《静物》1点、前田寛治《労働者》等7点、辻晉堂《歩く壁》等4点、早川巍一郎《田子富彦胸像》1点

(3) 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	八頭町明辺産化石標本 約200点【整理後に登録予定】、化石標本（哺乳類足跡化石他）11点
動 物	ネッタイコシビロダンゴムシ標本9点、テン本剥製1点 （このほか、過去に寄贈された昆虫標本コレクション608点の整理が済み、登録した。）
植 物	カヤツリグサ科スゲ属標本100点【整理後に登録予定】
歴 史	溪大録（百介）書状（竹信佐五右衛門宛）1巻、短刀 銘文（表）備前長船住横山祐包（裏）嘉永二年八月日 1振、修験関係資料（中山家資料）5点
近 現 代	山名巖氏鳥取県鉾山関係資料 12点、鳥取県政100年記念 パズル乗車券 1点、本池虎雄関係資料 30点、絹見正春従軍関係資料 83点、防寒皮帽子（ピーマオズ）1点、長田呉服店古写真（コピー）2点、坪井氏旧蔵資料他 16点、山下氏旧蔵絵葉書帖 1冊、鳥越正夫氏特攻隊資料 3点、大和谷氏旧蔵古写真12点、松本家旧蔵資料 196点
民 俗	田中新次郎収集郷土民俗資料 29点、因幡錠 2点、千歯 1点、タイプライター1点、鍛冶屋関係資料 15点（中山家資料）、古写真、朱印帳 2点（中山家資料）
考 古	須恵器 甕（鳥取市宮長神社参道付近出土）1点
美 術	土方稻嶺《烏鶯図屏風》2点、仁熊一笑《竜巻図》1点、安岡信義《とらの像》等3点、河井寛次郎《袖裏紅福如海盃》等8点、作者不詳（宋胡録）《小壺》1点

(4) 採集・拾得等資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	ジンベエザメエラジラミ 2 点、シロコバン 1 点
植 物	カワモズク類 14 点

(5) 保管換資料

なし

3 展 示

(1) 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・ 模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴 史・民 俗	826	79	905
美 術	289	0	289
合 計	3,325	94	3,419

■自然展示室（515㎡）

〈鳥取県の地質〉

- 鳥取県の地質の歴史を岩石・化石標本とパネルで紹介
- 鳥取県の地質地形を模型で紹介

〈鳥取県の“県の石”、日本の“国の石”〉

- 日本地質学会選の鳥取県の“県の石”と、日本鉱物科学会選の日本の“国の石”を展示

〈山陰沖海底産の哺乳類化石〉

- 山陰沖から産出したナウマンゾウやセイウチなどの化石を展示

〈鳥取県の化石〉

- 鳥取市国府町宮下の魚類化石、佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石などを展示

〈鳥取砂丘〉

- 鳥取砂丘の地形と形成過程を剥ぎ取り標本、地形模型、映像などで紹介

〈地球の歴史と生物の進化〉

- 各地質時代の古生物をジオラマ7景で紹介
- 古生代、中生代、新生代の化石などを展示

〈鉱物と岩石〉

- 鉱物の分類と特徴・性質を標本とパネルで紹介
- 蛍光を発する鉱物を展示
- 岩石の分類と特徴を標本とパネルで紹介

〈鳥取砂丘の生物・大山の生物・中国山地の生物〉

- 鳥取砂丘、大山および中国山地に生息する生物について、それぞれ標本・ジオラマとパネルで紹介

〈鳥取県の漂着動物〉

- 鳥取県沿岸に漂着した海洋動物の標本を展示（ダイオウイカ、リュウグウノツカイ、クジラ類、マンボウ類、ウミガメ類など）

〈鳥取県における動物の地理的変異〉

- 鳥取県において地理的分化のみられる動物を標本とパネルで紹介（カワトンボ、フキバツタ、ザトウムシなど）

〈人間活動と野生生物〉

- 鳥取県の外来種問題や環境問題を標本とパネルで紹介

〈鳥取の植物〉

- 鳥取県にみられる植物の押し葉標本と写真を展示

〈オオサンショウウオ・コーナー〉

- 国の特別天然記念物オオサンショウウオの標本展示、およびクイズ・コーナー

〈動物の分類展示〉

- 甲殻類、イカ・タコ類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を標本とパネルなどで紹介
- 野鳥のさえずりをハンズ・オン展示で紹介
- 貝類、昆虫類を標本とパネルで紹介

〈キノコの世界〉

- 菌類をアクリル封入標本、パネルで紹介

〈海藻のなかま〉

- 海藻類をアクリル封入標本とパネルで紹介

〈「みて・さわって・調べよう」コーナー〉

- 身近な自然をタッチング剥製やアクリル封入標本を使ったハンズ・オン展示で紹介
- 身近な植物コーナーで「レトロな名前でイミフな植物・キノコ」「紅葉過ぎれば樹幹の森」「春の七草」「ありがとう平成！～生き物と自然を大切にしたい時代～」を紹介

「自然の窓」コーナー

展 示 タ イ ト ル	展 示 期 間
光合成をやめた植物	平成30年 5 月11日～平成30年 8 月22日
コウノトリってどんなトリ？	平成30年 8 月23日～平成31年 1 月20日
井堂雅澄コレクションから考える 鳥取のチョウの昔と今	平成31年 1 月22日～平成31年 4 月30日

■歴史・民俗展示室（515㎡）

〈鳥取県のあけぼの〉

- 重要文化財子持勾玉の展示
- 旧石器時代～縄文時代草創期のナイフ形石器・有舌尖頭器などを展示
- 縄文時代の石器・木器・骨角器等、生活の道具の展示
- 智頭枕田遺跡をはじめとする県内出土の縄文土器を時期順に解説展示

〈弥生時代〉

- 稲作文化の伝来を伝える農具、県内出土の弥生土器の展示

- 農耕のまつりに使われた青銅器や土製品の紹介
- 青谷上寺地遺跡出土の木製品・鉄器・土器の展示
- 「弥生の国邑」妻木晩田遺跡の地形模型と、出土土器の展示
- 日本海を介した交流による県内出土品の紹介
- 山陰独特の墓「四隅突出型墳丘墓」とその出土土器の紹介
- ◆土器パズルコーナー

〈古墳時代〉

- 古郡家1号墳等、県内の主要古墳出土資料の展示
- 重要文化財三角縁神獣鏡をはじめとする県内古墳出土銅鏡の紹介
- 鉄刀、鉄鏃、馬具等、様々な古墳副葬品の展示
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪など、県内の代表的な埴輪の展示
- 山陰に特徴的な土師器と須恵器の展示
- 様々な玉類や子持勾玉の紹介
- 古墳時代終末期の梶山古墳および横穴墓の出土遺物の展示

〈古代～中世〉

- 因幡・伯耆国府出土資料の展示、古代寺院に関する資料の展示
- 県内の古代寺院出土軒丸瓦、鬼瓦の展示
- 上淀廃寺彩色壁画、山陰型鴟尾の復元レプリカの展示
- 大山寺と三仏寺の紹介
- 三徳山三仏寺投入堂模型の展示
- 東郷庄と「東郷庄下地中分図」の紹介
- 県内の経塚出土の経筒、瓦経などの展示
- 梵鐘（廃網代寺・国英神社）・宝篋印塔の展示
- 鎌倉時代～南北朝期の因幡・伯耆
- 因幡・伯耆の守護大名山名氏の勢力を示す資料の展示

〈近世〉

- 豊臣秀吉による鳥取城攻めの紹介と、山名豊国肖像（複製）、吉川経家文書（複製）など関連資料の展示
- 亀井茲矩書状など、亀井茲矩の事績の紹介
- ◆領地パズルコーナー
- 池田光仲肖像（複製）、領地判物、夫人など、鳥取池田家の解説展示
- 鳥取・米子などの城下町関連資料、城下町絵図と現代地図の重ね合わせ図の展示
- 元禄の国絵図レプリカの展示
- 武士の格式と暮らし、武具やたしなみ（琴、茶）などの展示
- 鳥取を代表する産物である鉄・紙・木綿に関する資料の展示
- 大山寺略絵図など、近世の大山寺に関する展示
- 鳥取藩と竹島との関わりの展示
- 幕末の鳥取藩を示す資料の展示
- 鳥取藩の参勤交代の展示
- 鳥取城の模型、出土瓦など、鳥取城関係の展示

〈近現代〉

- 平成30年（2018）は、明治元年（1868）から起算して満150年に当たった。幕末から明治初年にかけての時代は、「武士の時代」から「平民の時代」へと社会の構造が劇的に変化をとげ、新

来の西洋文化によって人々の生活は大きく変容するなど、まさに激動の時代であったといえる。
館蔵資料を中心に激動の幕末から明治の鳥取県を4期に分けて特集展示を開催した。

展示タイトル	展示期間
明治維新がやってきた 西園寺公望と山陰道鎮撫使	平成30年7月24日～平成30年9月24日
志士から初代県知事へ 河田左久馬とその時代	平成30年9月26日～平成30年11月9日
地図にみる明治の鳥取	平成30年11月10日～平成31年1月6日
絵師から政治家へ 沖守固とその時代	平成31年1月8日～平成31年3月11日

〈民俗〉

- 復元民家による昔の暮らしの紹介
- ◆ランプ・行灯の明るさ体験
- 鳥取県独自のキリン獅子舞を装束一式と映像で紹介
- 「かすり」を作る道具の展示と、かすりの製作工程の紹介
- 小豆雑煮、松葉がに、二十世紀梨など鳥取県の食文化の展示
- はこた人形・土天神など、鳥取県の郷土玩具の展示
- サネモリさん・荒神さんとクチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の解説展示（実物・映像）
- とんどう・双盤念仏・綱引き・亥の子など、民俗行事を映像で紹介
- ◆棹ばかりを実際に使ってみる体験コーナー

〈歴史の窓〉

展示タイトル	展示期間
青谷横木遺跡の「女子群像」板絵	平成30年3月27日～平成30年5月6日
没後210年奮然敢為の人 安陪恭庵	平成30年5月8日～平成30年8月26日
東伯の覇者 南条元統研究の最前線	平成30年8月28日～平成30年10月28日
因幡錠	平成30年10月29日～平成30年12月24日
縄文時代の石囲埋甕炉	平成30年12月26日～平成31年2月17日
発掘速報展 ロマンチック街道(国道313号)の遺跡を掘る！	平成31年2月19日～平成31年3月17日
戊辰戦争終結150年 河田左久馬とその時代 リターンズ	平成31年3月19日～平成31年4月21日

■美術展示室(260㎡)

- 江戸時代から現代までの鳥取県を代表する近世絵画、日本画、洋画、工芸、版画等を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をエントランスホールに展示。（○：鳥取県指定保護文化財）

常設展示 ●人文部門コレクション展「刀剣爛漫～県博の赤羽刀と新収蔵刀～」

展示期間：平成30年4月14日～5月27日

種 別	作 者	時代・年紀	種 別	作 者	時代・年紀
槍	景家	1504（永正元年）	刀	忠国（初代）	江戸時代
刀	広賀	1541（天文10年）	刀	忠国（二代）	江戸時代
短刀	広賀	1562（永禄5年）	刀	寿格	1786（天明6年）
短刀	広賀	1572（元亀3年）	刀	寿格	1796（寛政8年）

種 別	作 者	年代・世紀	種 別	作 者	年代・世紀
刀	広賀	1620（元和6年）	脇差	寿実	江戸時代
脇差	広賀	江戸時代	脇差	寿実	1821（文政4年）
刀	守広	江戸時代	短刀	寿綱	1823（文政6年）
脇差	守広	江戸時代	刀	吉幸	1862（文久2年）
刀	冬広	1574（天正2年）	太刀	包則	1917（大正6年）
脇差	正綱	江戸時代	刀	忠国（二代）	江戸時代
刀	兼先	江戸時代	刀	忠国（二代）	江戸時代
刀	兼先	江戸時代	脇差	忠国（二代）	江戸時代
脇差	忠国（初代）	江戸時代	刀	寿茂	1863（文久3年）

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅰ「新収蔵品展Ⅰ 洋画」

展示期間：平成30年5月31日～7月8日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
小浜展望	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション	鴨川	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
由布山と鶴見岳	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	かれいの静物	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
パルテノン神殿の朝明け	尾崎悌之助	平成28年度受贈・玉井コレクション	妙高山	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
糺の森雪景	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	阿蘇外輪山	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
同志社高等女学校	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	トレドの風景	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
桜島	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	うずくまる	中間 冊夫	平成28年度受贈・玉井コレクション
けしのある静物	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	白夜	芝田 米三	平成28年度受贈・玉井コレクション
伯耆大山夕照	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	鉄路	尾崎悌之助	平成29年度受贈
卓上静物	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	大山残雪	船井 美周	平成29年度受贈・岸コレクション
九重高原	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	ピアノの前のバレリーナ	矢野喜久男	平成28年度受贈・玉井コレクション
室内裸婦	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション	西洋人形	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション
高尾風景	芝田 耕	平成28年度受贈・玉井コレクション	三人像	伊谷 賢蔵	平成28年度受贈・玉井コレクション

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅱ「新収蔵品展Ⅱ 恩田孝徳 ―大空襲後の東京を描く―

展示期間：平成30年7月11日～8月19日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
上野広小路にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	神田明神を望んで	恩田 孝徳	平成29年度受贈
末広町より本郷台を望む	恩田 孝徳	平成29年度受贈	四谷見附にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布宮村にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	湯島より秋葉原を望む	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布十番にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	東京駅にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布六本木にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	池袋にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布三河台町にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	浅草にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
雨の麻布古川橋にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	停戦日、麻布にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布十番より南山を望む	恩田 孝徳	平成29年度受贈	旧米大使館 停戦調印の翌日	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布桜田町にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	歌舞伎座前にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
麻布筆筒町にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	銀座尾張町にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
三田・慶大前にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	日本橋八重洲通りにて	恩田 孝徳	平成29年度受贈
銀座尾張町にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈	浅草吾妻橋にて	恩田 孝徳	平成29年度受贈

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
溜池にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	上野広小路にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
赤坂見附にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	自画像	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
赤坂山王下にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	(取材場所不明)	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
銀座にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	(取材場所不明：ニコライ堂)	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
金杉橋にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	(取材場所不明：神田明神、三輪車)	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
麻布日々窪より岩崎邸を望む	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	日記	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈
新宿にて	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈	日記	恩田 孝徳	平成 29 年度受贈

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅲ「新収蔵品展Ⅲ 版画・彫刻・工芸」

展示期間：平成30年8月22日～9月30日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
龍心の池	橋本 興家	平成 28 年度受贈	冬心先生	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵
焼岳	野崎信次郎	平成 29 年度受贈・岸コレクション	田子富彦胸像	早川 巍一郎	平成 30 年度購入
湖山池	野崎信次郎	平成 29 年度受贈・岸コレクション	菓子皿	芦澤 五兵衛(四代)	平成 29 年度受贈・岸コレクション
富士山(忍野'91-A)	野崎信次郎	平成 29 年度受贈・岸コレクション	鶴文茶碗	杉本 勘助	平成 29 年度受贈・岸コレクション
泥古庵	辻 晉堂	平成 30 年度購入	水指	杉本 勘助	平成 29 年度受贈・岸コレクション
自画像	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵	茶盃	芦澤 保親(七代)	平成 29 年度受贈・岸コレクション
裸体	辻 晉堂	平成 30 年度購入	茶盃	芦澤 保親(七代)	平成 29 年度受贈・岸コレクション
猫の頭	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵	茶盃	小林 秀晴	平成 29 年度受贈・岸コレクション
樵夫と熊	辻 晉堂	平成 28 年度購入	縞目茶碗	小林 秀晴	平成 29 年度受贈・岸コレクション
歩く壁	辻 晉堂	平成 30 年度購入	伊羅保写茶盃	森田 統	平成 29 年度受贈・岸コレクション
ワシ	辻 晉堂	平成 28 年度購入	白瓷壺	前田 昭博	平成 29 年度受贈・岸コレクション
拱手自像	辻 晉堂	平成 28 年度購入	茶盃	小林 栄一	平成 29 年度受贈・岸コレクション
カラカサのオバケ	辻 晉堂	平成 30 年度購入	荒土茶碗	小林 秀晴	平成 29 年度受贈・岸コレクション
山房清韻	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵	平皿	不 詳	平成 29 年度受贈・岸コレクション
櫻姫東文章 風鈴お姫	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵	白瓷壺	前田 昭博	平成 29 年度受贈・岸コレクション
櫻姫東文章 釣鐘権助	辻 晉堂	平成 28 年度受贈・辻家旧蔵			

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅳ「新収蔵品展Ⅳ 近世・近代日本画」

展示期間：平成30年11月16日～平成31年1月6日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
登竜門図	片山 楊谷	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	松鶴図	土方 稲嶺	平成 29 年度受贈・岸コレクション
許由巢父図	島田 元旦	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	鴛鴦図	黒田 稲皐	平成 29 年度受贈・岸コレクション
鯉魚図	島田 元旦	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	大根鼠図	中住 道雲	平成 29 年度受贈・岸コレクション
高士遠望図	沖 探容	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	清風叵屋	菅 楯彦	平成 29 年度受贈・岸コレクション
牡丹に鼯図	黒田 稲皐	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	美施治関羽之金創	菅 真人	平成 29 年度受贈・岸コレクション
勿来関図	小畑 稲升	平成 27 年度受贈・石本正通氏旧蔵	牡丹図	毛利 秋晃	平成 29 年度受贈・岸コレクション
雪中双雀図	沖 一峨	平成 27 年度受贈	抜頭鼯太鼓を廻る	菅 楯彦	平成 30 年度購入
楼閣山水図屏風	根本 幽峨	平成 29 年度受贈・岸コレクション	岡山図巻	中島 菜刀	平成 30 年度購入
くしゃみ布袋図	沖 探容	平成 29 年度受贈・岸コレクション			

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅴ「受け継がれし祈り ―鳥取の仏教美術を中心に―

展示期間：平成31年1月10日～2月24日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
国指定重要文化財 楊柳観音像	不詳	豊乗寺（八頭郡智頭町）	○蔵王権現立像	不詳	観照院（岩美郡岩美町）
備前焼壺	不詳	個人蔵	○大日如来坐像	不詳	若桜町長砂地区
○両界曼荼羅	不詳	豊乗寺（八頭郡智頭町）	毘沙門天立像	不詳	個人蔵
○き竜文織物	伝亀井茲矩将来品	譲伝寺（鳥取市鹿野町）	○狛犬	不詳	姫宮神社（東伯郡三朝町）
○孔雀文刺繍織物	伝亀井茲矩将来品	譲伝寺（鳥取市鹿野町）	国指定重要文化財 法華経（紙背：伏見天皇宸翰）	伏見天皇	大雲院（鳥取市）
○稻荷像	木喰 明満	倉吉市円谷地区			

常設展示 ●美術部門コレクション展Ⅵ「春の訪れ、季節のめぐり」

展示期間：平成31年2月27日～4月14日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
○東下り・耕作・草花図	沖 一峨	個人蔵	四季山水図屏風	沖 探容	館蔵
四季富士図	沖 探容	館蔵	染付菊花文面取長頸瓶	—	館蔵（君野コレクション）
飛青磁花瓶	諏訪 蘇山（初代）	館蔵（石谷コレクション）	叫鳥図	祖 栄	館蔵（石谷コレクション）
桜花図	島田 元旦	館蔵（安富コレクション）	染付竹梅樹文徳利	—	館蔵（君野コレクション）
鳳凰形香炉	—	館蔵（君野コレクション）	双鹿図	三浦 樗良	館蔵（石谷コレクション）
○草虫図衝立	沖 一峨	個人蔵	松竹椿橘鶴亀蒔絵阿古陀香炉	—	館蔵（君野コレクション）
花鳥図	沖 一峨	館蔵	青磁双魚文皿	—	館蔵（君野コレクション）
色絵鳥籠形香炉	—	館蔵（君野コレクション）	堅手平茶碗	—	館蔵（君野コレクション）
乙御前図	沖 一峨	個人蔵	井戸茶碗	—	館蔵（君野コレクション）
色絵花見遊興文壺	—	館蔵（君野コレクション）	染付草木文茶碗	—	館蔵（君野コレクション）
○稻荷像	木喰 明満	倉吉市円谷地区	五彩四方香合	諏訪 蘇山（初代）	館蔵（石谷コレクション）
○蔵王権現立像	不詳	観照院（岩美郡岩美町）	青磁猪籠香合	諏訪 蘇山（二代）	館蔵（石谷コレクション）
○大日如来坐像	不詳	若桜町長砂地区	雀香合	高橋 道八（二代）	館蔵（石谷コレクション）
毘沙門天立像	不詳	個人蔵	觥	三浦 竹泉（初代）	館蔵（石谷コレクション）
○狛犬	不詳	姫宮神社（東伯郡三朝町）			

■近代美術展示室(374㎡)

●美術部門テーマ展示Ⅰ「夏休み企画 動／静」

展示期間：平成30年7月21日～8月26日

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
ノートルダム	尾崎悌之助	館蔵	顔	塩谷 定好	館蔵
こま犬の怒り	尾崎悌之助	館蔵	婦人像	塩谷 定好	館蔵
ロマネスクへの夢	尾崎悌之助	館蔵	落雷	塩谷 定好	館蔵
原始への夢	尾崎悌之助	館蔵	ネブカの静物	塩谷 定好	館蔵
私の前にいる、踊っている、目を閉じている	内田あぐり	作家蔵	猫	塩谷 定好	館蔵
continue #052-061	内田あぐり	作家蔵	河	内田あぐり	作家蔵
龍巻	塩谷 定好	館蔵	ドローイング	内田あぐり	作家蔵
海	塩谷 定好	館蔵			

●美術部門テーマ展示Ⅱ「生誕百年 山本兼文展」

展示期間：平成30年11月23日～12月24日

作品名	作者名	所蔵先
自画像	山本 兼文	個人蔵
二部小学校時代のスケッチ8点	山本 兼文	個人蔵
美術雑誌「みづゑ」封筒	山本 兼文	個人蔵
大工ちーさん	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
友	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
辻管堂を描いたデッサン3点	山本 兼文	個人蔵
玉葱	山本 兼文	個人蔵
牝	山本 兼文	個人蔵
牝	山本 兼文	個人蔵
ニワトリ	山本 兼文	個人蔵
帰って来た青年	山本 兼文	個人蔵
師の像	山本 兼文	個人蔵
作る人	山本 兼文	個人蔵
一世の像	山本 兼文	個人蔵
一世を描いたスケッチ	山本 兼文	個人蔵
模型	山本 兼文	個人蔵
(作品)	山本 兼文	個人蔵
模型	山本 兼文	個人蔵
稲村三伯像 レリーフ原型	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
模型(木製のマケット)7点	山本 兼文	個人蔵
制作のためのスケッチ	山本 兼文	個人蔵
奏でる人	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
奏でる人	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
奏でる人(高橋竹山)	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
制作のためのスケッチ	山本 兼文	個人蔵
作品構想のための資料2点	山本 兼文	個人蔵
アイデアスケッチ5点	山本 兼文	個人蔵
作品「石交」の模型	山本 兼文	個人蔵
石交	山本 兼文	個人蔵
工形	山本 兼文	個人蔵
矩形	山本 兼文	個人蔵
男と女	山本 兼文	個人蔵
スケッチブック4点	山本 兼文	個人蔵
アイデアスケッチ	山本 兼文	個人蔵
風景画	山本 兼文	個人蔵
制作のためのスケッチ	山本 兼文	個人蔵
目だ時計だマンホールだ	山本 兼文	個人蔵
行者	山本 兼文	個人蔵
加行	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
徳利女加行	山本 兼文	個人蔵
信行	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
木彫用鑿五本		個人蔵

作品名	作者名	所蔵先
鑿収納用木箱		個人蔵
松田晃八像	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
裸婦	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
少女(B)	山本 兼文	個人蔵
T氏頭像(田中寒楼翁)	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
自画像	山本 兼文	個人蔵
阿呆だら	山本 兼文	個人蔵
トルソ	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
女の立つ(習作)	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
少年(茎里)の像	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
戒五	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
人間	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
石会	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
アイデアスケッチパネル5点	山本 兼文	個人蔵
壺と凹	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
で子とぼ子	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵
加行	山本 兼文	個人蔵
制作のためのスケッチ	山本 兼文	個人蔵
は行足女	山本 兼文	個人蔵
(作品)石壺連作	山本 兼文	個人蔵
茄子女	山本 兼文	個人蔵
裸婦	山本 兼文	個人蔵
(無題)未完、絶作	山本 兼文	個人蔵
ポर्टレート	山本 兼文	個人蔵
(作品)	山本 兼文	個人蔵
石彫制作用鑿2点		個人蔵
石彫制作用鎚		個人蔵
眼鏡		個人蔵
徳利	山本 兼文	個人蔵
人間	山本 兼文	鳥取県立博物館蔵

山本兼文野外彫刻作品写真パネル

作品名	制作日	設置場所
若桜橋デザイン	1955年	若桜橋
母子の像	1956年	佐治小学校
湯かむり観音像	1957年	岩井温泉場玄関
湯かむりの塔	1957年	岩井温泉愛宕山
愛宕山展望台(展望台デザイン)	1962年	愛宕山展望台
おんな	1959年	田村虎蔵生誕地
あすなろ兄妹	1958年	鳥取県福祉相談センター
稲村三伯像	1959年	遷喬小学校
慰霊塔	1959年	東浜

作品名	制作日	設置場所	書簡類		
(無題)	1960 年	白兔会館	内 容	執筆年等	所蔵先
今日の人間	1961 年	鳥取西高等学校	辻晉堂宛 山本兼文 葉書	1946 年 8 月 1 日消印	個人蔵
人間	1960 年	白兔会館	辻晉堂宛 山本兼文 葉書	1949 年 10 月 10 日消印	個人蔵
(作品) 作品名不詳	制作年不詳	蒲生小学校跡地	辻晉堂宛 山本兼文 葉書	1952 年 1 月 13 日消印	個人蔵
作品	1965 年	岩井小学校跡	辻晉堂宛 山本兼文 書簡	1952 年 4 月 26 日付	個人蔵
未来を築く若人	1963 年	八頭高等学校	山本兼文宛 辻晉堂 書簡	1952 年 4 月 12 日付	個人蔵
母子観音像	1964 年	浜村公園	山本兼文宛 辻晉堂 葉書	1959 年 9 月 15 日消印	個人蔵
(作品) 作品名不詳	制作年不詳	白兔会館	辻晉堂 原稿		個人蔵
交通安全観音像	1966 年	琴浦町松谷	辻晉堂の肖像スケッチ		個人蔵
連面	1967 年	鳥取県立博物館前	山本兼文近作小品展覧会日録	1953 年	個人蔵
遠藤董胸像	1968 年	鳥取盲学校	山本兼文木彫近作小品展日録	1948 年	個人蔵
青年像	1970 年	鳥取商業高等学校	山本兼文宛 山本豊市 書簡	1954 年 1 月 17 日消印	個人蔵
かたちなむ	1974 年	久松公園前	山本兼文宛 平藤田中 書簡	1954 年 12 月 2 日付	個人蔵
てらぎっ子	1974 年	照来小学校跡	山本兼文宛 棟方志功 葉書	1954 年 2 月 14 日付	個人蔵
横生	1973 年	久松公園前	山本兼文宛 千野茂 書簡	1951 年 12 月 24 日付	個人蔵
石交	1978 年	一寸法師の館	山本兼文宛 松田晃八 書簡	1958 年 7 月 19 日消印	個人蔵
いろはにほ	1979 年	鳥取市文化センター	山本兼文宛 川上貞夫 書簡	1959 年 2 月 19 日付	個人蔵
城の人	1981 年	久松公園前			
駅前のシンボル	1981 年	鳥取駅前			

■エントランスホール展示

作品名	作者名	所蔵先	作品名	作者名	所蔵先
遠流	イシダメイ	館 蔵	人間	山本 兼文	館 蔵
Untitled	福嶋 敬恭	館 蔵	ニノミヤ君	中ハシクシゲ	館 蔵
寒山	辻 晉堂	館 蔵	時の記憶	井田 勝己	館 蔵
拾得	辻 晉堂	館 蔵			

(2) 企 画 展

●企画展「大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—」

会 期	平成 30 年 6 月 2 日（土）～同年 7 月 1 日（日） 休館日：6 月 18 日（月）
会 場	鳥取県立博物館 第 1・第 2 特別展示室
入館者数	2,593 人
主 催	「大大山展」実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）
協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社
入 館 料	一般 700 円、（団体・前売り・大学生・70 歳以上 500 円） 高校生以下の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料
内 容	平成 30 年（2018）は、大山が開山されたという養老 2 年（718）から 1300 年に当たる。古来、大山を「神」とする山岳信仰があり、平安時代に大山寺が開基

されて以降、地蔵信仰のメッカとして、また牛馬の守護神として全国にその名を馳せた。近年、大山寺の僧坊跡調査によって中世にさかのぼる貴重な遺物が出土し、全国的な注目を浴びた。さらに、平成 28 年には「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」として日本遺産に認定され、大山に関する文化財の魅力が再評価されている。本展では、大山寺や大神山神社が所蔵する重宝を中心に、全国に点在する大山関係資料を一堂に展示した。あわせて初公開となる大山寺中興の祖・豪門関係資料も紹介した。

当館における企画展終了後、伯耆国「大山開山 1300 年祭」の一環として、7 月 29 日（日）から 8 月 26 日（日）まで、平成 30 年度米子市美術館特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」の第 2 展示室において、「大山の重宝」と題して大山寺、大神山神社、個人所蔵の資料を巡回展示した。

〈関連行事〉

（１）ギャラリートーク

日 時 6 月 3 日（日）、24 日（日） 11：00～12：00
会 場 鳥取県立博物館 第 1・第 2 特別展示室
参 加 料 企画展入館料
参加人数 42 人、48 人

（２）民俗講座「大山と地蔵菩薩」

講 師 鳥取県立博物館学芸員
日 時 6 月 3 日（日） 14：00～15：30
会 場 鳥取県立博物館会議室
参加人数 38 人

（３）講演会『大山寺縁起』が語るもの

講 師 長谷部八朗（駒澤大学学長）
日 時 6 月 10 日（日） 14：00～15：30
会 場 鳥取県立博物館講堂
参加人数 73 人

（４）歴史と民俗を訪ねる会 in 大山

講 師 大山町ガイドボランティア、鳥取県立博物館学芸員
日 時 6 月 17 日（日） 10：00～15：00
会 場 大山寺周辺
参加人数 11 人

（５）歴史講座「大山の仏教美術」

講 師 中田利枝子氏（岡山県立統括学芸員）
日 時 6 月 24 日（日） 14：00～15：30
会 場 鳥取県立博物館講堂
参加人数 54 人

（６）ギャラリートーク「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」(8/18)

講 師 鳥取県立博物館学芸員
日 時 8 月 18 日（土） 14：00～15：30
会 場 米子市美術館展示室
参加人数 92 人

〈出品目録〉(指定内容)◎：国指定重要文化財、○：県指定文化財、◇：市町村指定文化財

番号	指定	資料名	所蔵者	点数	時代
1		日本名山図絵	当館	1冊	江戸時代
2		山水奇観	当館	1冊	江戸時代
3		伯耆大野大山遠望	当館	1枚	嘉永6年(1853)
4		米子入札場所之図	当館	1枚	慶応4年(1868)
5		大山総領図(複製パネル)	当館	1枚	明治3年(1870)
6	◎	銅造十一面観音菩薩立像	大山寺	1軀	飛鳥時代(7世紀後半)
7	◎	銅造観世音菩薩立像	大山寺	1軀	飛鳥時代(7世紀後半)
8	◇	木造不動明王坐像	大山寺	1軀	鎌倉時代
9		木造大日如来坐像	永明寺(津和野町)	1軀	元応2年(1320)
10		銅造地藏菩薩坐像	大山寺	1軀	室町時代以降か
11		木造地藏菩薩半跏像	大山寺	1軀	中国明代
12		木造役行者倚像	大山寺	1軀	江戸時代
13		利寿権現如来形懸仏	米子市立山陰歴史館	1面	応永26年(1419)
14	◎	鉄製厨子	大山寺	1式	承安2年(1172)
15	○	出雲国風土記	日御碕神社(出雲市)	1冊	寛永11年(1634)
16		大山寺縁起	大山寺洞明院	1冊	鎌倉時代末期から室町時代初期か
17		下山縁起	大山寺洞明院	1冊	
18		大山寺縁起(模本)巻一	島根県立古代出雲歴史博物館 (出雲市) (原資料：東京国立博物館)	1巻	
19		大山寺縁起(模本)巻二	島根県立古代出雲歴史博物館 (出雲市) (原資料：東京国立博物館)	1巻	
20		大山寺縁起(模本)	島根県立古代出雲歴史博物館 (原資料：東京大学史料編纂所)	1巻	
21	◇	岩船山地蔵菩薩縁起 第二	高勝寺(柘木市)	1巻	延享元年(1744)
22	◇	下野州岩船山縁起	高勝寺(柘木市)	1巻	寛文10年(1670)
23		えんの行者絵巻	大阪青山歴史文学博物館(川西市)	1巻	江戸時代
24	○	大山寺文書	大山寺	1巻	観応2年(1351)他
25	○	後醍醐天皇綸旨(相見家文書)	個人(当館寄託)	1巻	元弘3年(1333)
26		小鴨神社扁額	小鴨神社(倉吉市)	1点	寛正2年(1461)
27	◎	南条信正外十四名連署起請文(吉川家文書)	吉川史料館(岩国市)	1点	天正3年(1575)
28		中門院湛舜外二名連署書状(日御碕神社文書)	日御碕神社(出雲市)	1通	天正13年(1585)か
29		大般若經	善福寺(伯耆町)	2巻	文治2年(1186)
30		柴西座像(複製)	岡山県立博物館(原資料：善福寺)	1軀	
31	○	五鈷杵・五鈷鈴	金山寺(岡山県立博物館寄託)	2点	鎌倉時代
32		豪円坐像	金山寺(岡山市)	1軀	
33		豪円僧正画像	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1幅	
34		豪円僧正御履歴署記	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1巻	
35		遍照院中興縁起	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1巻	天正3年(1575)
36		天蓋	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1幅	元亀3年(1572)
37		敷曼荼羅	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1幅	
38	◇	法印円智書状・観音坊某書状	金山寺(岡山県立博物館寄託)	2点	慶長4年(1599)か
39	◇	遍照院円智書状	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1点	慶長4年(1599)
40	◎	梶井宮最胤法親王書状	吉川史料館	1点	天正13年(1585)
41	◎	梶井宮最胤法親王令旨案(三千院文書)	三千院円融蔵(京都市)	1点	天正12年(1584)
42	◎	宝菩提院豪円書状(三千院文書)	三千院円融蔵(京都市)	1点	慶長15年(1610)9月25日
43		円智法印手簡	個人	1巻	文禄・慶長ごろ
44		備前国銘金山観音寺略縁起版木	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1点	
45		九重守版木	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1点	
46		阿弥陀来迎図版木	金山寺(岡山県立博物館寄託)	1点	

番号	指定	資料名	所蔵者	点数	時代
47		銘金山牛玉宝印	当館	1 枚	近世以降
48		大山堂牛玉宝印	当館	1 枚	
49	○	鉄製燭台	大山寺	2 基	天文 19 年(1550)、天文 22 年(1553)
50		鉄製鰐口	大山寺	1 口	文化 4 年(1807)
51		寺領安堵状	大山寺	1 点	慶長 15 年(1610) 4 月 8 日
52		諸事御用覚帳(中津尾家文書) (展示会期: 6/19 ~ 7/1)	個人(当館寄託)	1 点	宝暦 5 年(1755)
53		大山寺申渡覚写(中津尾家文書) (展示会期: 6/2 ~ 6/17)	個人(当館寄託)	1 点	宝暦 11 年(1761) 4 月
54		伯耆国大山領郷村帳 (展示会期: 6/2 ~ 6/17)	当館	6 点	享保元年(1716) 他
55		大山領分役人及名字帯刀人名記 (展示会期: 6/19 ~ 7/1)	当館	1 点	慶応 4 年(1868)
56		大山寺本院西楽院要用雜録 (展示会期: 6/2 ~ 6/17)	大山寺	1 点	安永 9 年(1780)
57		三豆腐屋江申渡御禁制并平日心得箇条書 (展示会期: 6/19 ~ 7/1)	大山寺	1 点	慶応 3 年(1867)
58		大山年行事札	当館	2 点	
59		公侃大僧都事跡書 (展示会期: 6/2 ~ 6/17)	大山寺	1 点	明治 3 年(1870)
60		大山寺略絵図	当館	1 点	
61		伯州大山寺絵図(片山楊谷筆)	米子市立山陰歴史館	1 面	寛政 9 年(1797)
62		伯耆国角磐山大山御遷宮行列之次第	個人	1 卷	文化 3 年(1806)
63		青磁片(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	3 点	鎌倉~室町時代
64		高麗青磁片(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
65		天目茶碗(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
66		土師器皿(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	3 点	鎌倉~室町時代
67		石臼(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
68		炭化物(押し寿司)(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
69		青銅製匙(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
70		基石(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	28 点	鎌倉~室町時代
71		硯(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	4 点	鎌倉~室町時代
72		短刀(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
73		小札(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	12 点	鎌倉~室町時代
74		釘(大山僧坊跡寂靜山地区 J-14 出土)	大山町教育委員会	2 点	鎌倉~室町時代
75		孔雀文磬(大山僧坊跡東地区 E-33 出土)	大山町教育委員会	1 点	室町時代
76		小柄(大山僧坊跡東地区 E-33 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
77		京都系土師器皿(大山僧坊跡東地区 E-33 出土)	大山町教育委員会	1 点	室町~安土桃山時代
78		青磁盤(大山僧坊跡東地区 E-33 出土)	大山町教育委員会	2 点	鎌倉~室町時代
79		孤状革製品(大山僧坊跡東地区 E-33 出土)	大山町教育委員会	1 点	鎌倉~室町時代
80		鞍(伝尼子国久常用)	大神山神社	1 点	
81		鐙	大神山神社	2 点	
82		後光明院御宸翰	大神山神社	1 幅	
83		後水尾院尊儀 元和天皇御宸翰	大神山神社	1 幅	
84		後西院御宸翰	大神山神社	1 幅	
85		色紙	大神山神社	8 枚	
86		若狭国紫石硯	大神山神社	1 点	寛文 6 年(1666)
87		桜町院御硯	大神山神社	1 点	
88		竹笛	大神山神社	1 点	
89		勾玉	大神山神社	3 点	

番号	指定	資料名	所蔵者	点数	時代
90		牛玉	大神山神社	2 点	延宝 7 年 (1679)、天保 10 年 (1839)
91		鬼牙	大神山神社	1 点	寛政 9 年 (1797)
92		天狗爪	個人	1 点	
93		猿田彦面	大神山神社	1 面	元禄 2 年 (1689)
94		大山寺全景図	当館	1 幅	江戸～明治時代
95		大山寺博労市図	当館	1 幅	江戸～明治時代
96		国立公園大山と鳥取観光図	当館	1 面	昭和 14 年 (1939)
97		伯耆大山寺参拝と登山の葉	当館	1 点	大正 8 年 (1919)
98・99		絵葉書	米子市立山陰歴史館、当館	53 点	大正～昭和初期
99		絵葉書	当館	50 点	大正～昭和初期
100		竹馬	当館	2 点	昭和 30～40 年代
101		やっちゃ	当館	1 点	昭和 30～40 年代
102		大吉ごま	当館	1 点	昭和 30～40 年代
103		登山人形	当館	2 点	昭和時代
104		スキー人形	当館	2 点	昭和時代
105		大山みやげの郷土玩具	当館	1 式	昭和時代
106		烏天狗の絵馬	当館	1 式	昭和～平成時代
107		烏天狗の土鈴	当館	5 点	昭和～平成時代
108		大山堂牛玉宝印版本	大山寺	1 点	明治 18 年 (1885)
109		利寿権現牛玉宝印版本	大山寺	1 点	江戸時代
110		護符版本 (1)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
111		護符版本 (2)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
112		護符版本 (3)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
113		護符版本 (4)	大山寺	1 点	明治時代
114		護符版本 (5)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
115		護符版本 (6)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
116		護符版本 (7)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
117		護符版本 (8)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
118		護符版本 (9)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
119		護符版本 (10)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
120		護符版本 (11)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
121		護符版本 (12)	大山寺	1 点	明治 15 年 (1882)
122		護符版本 (13)	大山寺	1 点	明治 27 年 (1894)
123		護符版本 (14)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
124		護符版本 (15)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
125		護符版本 (16)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
126		護符版本 (17)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
127		護符版本 (18)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
128		護符版本 (19)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
129		護符版本 (20)	大山寺	1 点	明治 29 年 (1896)
130		護符版本 (21)	大山寺	1 点	明治 26 年 (1893)
131		護符版本 (22)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
132		護符版本 (23)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
133		護符版本 (24)	大山寺	1 点	文久元年 (1861)
134		護符版本 (25)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
135		護符版本 (26)	大山寺	1 点	江戸～明治時代
136		護符版本 (27)	大山寺	1 点	安政 2 年 (1855)
137		大山寺護符	当館	1 式	江戸時代～現代
138		大山様	比和自然科学博物館 (庄原市)	1 点	大正～昭和時代
139		飾鞍	比和町郷土芸能振興会 (庄原市)	1 点	大正～昭和時代
140		幟「山祇賜寶」・「農寶」	比和町郷土芸能振興会 (庄原市)	2 点	大正～昭和時代
141		比和牛供養田植道具	比和町郷土芸能振興会 (庄原市)	1 式	現代

番号	指定	資料名	所蔵者	点数	時代
142	幡（准三宮下賜）		大山寺	1 面	現代
143	茶碗		個人	4 点	江戸時代終わり
144	羽釜		個人	1 点	江戸時代終わり
145	幟		個人	1 面	江戸時代終わり
146	引声阿弥陀經		大山寺洞明院	1 卷	元禄 13 年（1700）
147	弥山禪定浄水器		米子市立山陰歴史館	1 点	貞享 2 年（1685）

●「とっとりの化石EXPO！2018」

会 期	平成30年 7 月14 日（土）～同年 8 月26 日（日） ※会期中無休
会 場	鳥取県立博物館 第1 特別展示室
入場者数	11,873人
主 催	「とっとりの化石展」実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）
協 力	大阪市立自然史博物館、笠岡市立カブトガニ博物館、きしわだ自然資料館、北九州市立自然史・歴史博物館、倉敷市立自然史博物館、国立科学博物館、庄原市立比和自然史博物館、日南町美術館
協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社
入 館 料	一般500円（団体・前売り・大学生・70歳以上300円） 高校生以下の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料
内 容	鳥取県には、鳥取市国府町宮下の魚類化石、鳥取市佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石、日野郡日南町多里の貝類化石など全国的にも有数の化石産地が存在する。これらの産地からは、トットリムカシギンポ（魚類化石）やイナバムカシアブラゼミ（昆虫化石）など40種を超える新種が発見されており、生物進化の解明や古環境の復元に貢献してきた。 本企画展では、鳥取県内の代表的な化石産地を中心に、産出した化石や古環境を紹介し、化石産地としての鳥取県を再認識・再評価する。そして、この展示を通じて新たな課題を共有し、鳥取県の化石研究の“これから”を展望する。

〈展示〉

- 1 イントロダクション：鳥取県最古の化石の紹介
三郡変成帯の魚類化石
- 2 化石とは！？
ステゴサウルス頭骨化石（複製）、生痕化石（若桜町春米産）、アンモナイト、ビカリアなど
- 3 とっとりの化石
・鳥取県西部（多里層）／多里層海棲動物化石群
・鳥取県中部（三朝層）／三朝植物化石群
・鳥取県東部（鳥取層群普含寺泥岩層・栃本頁岩層）／普含寺泥岩層貝類化石、宮下魚類化石群、辰巳峠植物化石群（辰巳峠の植物化石産出層：県指定天然記念物）など
- 4 まわりの化石
・広島県三次・庄原地域（備北層群群）、鳥根県東部地域（石見・出雲層群）、兵庫県新

温泉町海上(照来層群)、同但馬地域(北但層群)、岡山県津山地域(勝田層群)の各化石群

・山陰沖の化石／ナウマンゾウの切歯化石(鳥取県天然記念物)、マンモスの臼歯化石、セイウチの化石・現生標本など

5 トリセツ！化石発掘！

ハンマー、タガネ、ヘルメット、クリノメーターなど化石発掘に必要な道具類 体験コーナー

クイズラリー(初級、中級、上級)、タッチングコーナー

6 その他

ポケット学芸員

〈関連行事〉

(1) ギャラリートーク

期 日 7月15日(日) 10:00～11:00、14:00～15:00

8月12日(日) 10:00～11:00、14:00～15:00

8月26日(日) 10:00～11:00、14:00～15:00

会 場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

参加人数 計130人

(2) 映画上映会「谷田部透湖監督作品「木の葉化石の夏」(上映時間：約10分間)

期 日 7月15日(日)、8月12日(日)、8月26日(日)

11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00、17:00

会 場 鳥取県立博物館 講堂

参加人数 計405名

(3) 自然講座「化石レプリカをつくろう！」

期 日 7月22日(日) 10:00～12:00

会 場 鳥取県立博物館 2階会議室

参加人数 24名

(4) 美術ワークショップ「化石でフロッタージュ！」

期 日 7月28日(土) 10:00～12:00

会 場 鳥取県立博物館 2階会議室

参加人数 8名

(5) 特別講演会「世界の魚類化石：シーラカンズから国府町宮下まで」

期 日 7月29日(日) 14:00～16:00

会 場 鳥取県立博物館 講堂

講師 籾本美孝氏(北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員)

参加人数 70名

(6) 自然講座「地層のでき方大実験！」

期 日 8月4日(土) 11:00～12:00

会 場 鳥取県立博物館 前庭

講 師 小玉芳敬氏(鳥取大学農学部教授)

参加人数 64名

(7) 自然講座「みて！さわって！ホネを楽しもう」

期 日 8月5日(日) 14:00～16:00

会 場 鳥取県立博物館 2階会議室

参加人数 22名
 (8)野外観察会「化石をさがせ！ in春米」
 期 日 8月11日(土) 11:00～12:00
 会 場 鳥取県八頭郡若桜町 春米
 講 師 鳥取地学会会員
 参加人数 31名

●「鳥取画壇の祖土方稲嶺―明月来タリテ相照ラス―」

会 期 平成30年10月6日(土)～同年11月11日(日)
 ※休館日:10月22日(月)
 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室、美術常設展示室
 入場者数 4,655人
 主 催 「土方稲嶺展」実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)
 協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社
 入 館 料 一般800円(団体・前売り・大学生・70歳以上600円)
 高校生以下の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料
 内 容 江戸時代の鳥取画壇を代表する土方稲嶺(1741年～1807年)の画業を一望する展覧会。県内外の美術館や寺社、個人所蔵家から多数の作品を借用し、稲嶺と同時期に京都で活動した円山応挙や伊藤若冲の作品や資料も紹介。また、今秋に鳥取県指定保護文化財となった土方稲嶺筆「旧興国寺書院障壁画」を書院の空間を再現し、修復後初公開した。稲嶺の画技の再評価、および江戸時代後期の京都画壇における稲嶺の存在感の大きさを確認する機会となった。なお会期中には、スマホアプリによる音声ガイド(ポケット学芸員)も実施。子ども向け「わくわくワークシート」も作成・配布した。

〈関連行事〉

- (1)ギャラリートーク(本展担当学芸員による展示解説)
 日 時 10月6日(土)、11月3日(土)
 会 場 企画展会場
 参加人数 合計54人
 (2)特別講演会Ⅰ「稲嶺のいた京都」
 日 時 10月13日(土) 14:00～15:45
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 講 師 狩野博幸氏(美術史家)
 参加人数 54人
 (3)特別講演会Ⅱ「南蘋派からみた土方稲嶺」
 日 時 10月20日(土) 14:00～15:40
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 講 師 安村敏信氏(北斎館館長)
 参加人数 51人
 (4)スペシャルギャラリートーク「稲嶺の魅力を語る！」
 日 時 10月27日(土) 14:00～15:15

会 場 企画展会場
講 師 金子信久氏(府中市美術館学芸員)
参加人数 62人

(5)体験型ミニレクチャー「掛軸を巻いてみよう！」

日 時 11月10日(土) 11:00～14:00～
会 場 鳥取県立博物館 2階会議室
参加人数 14人

〈出品目録〉

I 画業最初期

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
1		蝦蟇仙人図	土方稲嶺	一幅			●	●
2		桜に雉・松に山鳥図屏風	土方稲嶺	六曲一双		渡辺美術館	●	
3		松竹梅群鶴図屏風	土方稲嶺	六曲一双				●
4		野牛図額	土方稲嶺	一面			●	●
5		『宋紫石画譜』	宋紫石	三冊	明和二年〔1765〕	千葉市美術館	●	●
6		『古今画藪後八種』	宋紫石	八冊	明和七年〔1770〕	千葉市美術館	●	●
7		『古今画藪後八種四体譜』	宋紫石	三冊	安永八年〔1779〕	千葉市美術館	●	●
8		雨中軍鶏図	宋紫石	一幅	明和八年〔1771〕		●	●
9		柳に綬帯鳥・蓮に翡翠図	土方稲嶺	二幅		渡辺美術館	●	●
10		関羽図	宋紫石	一幅			●	●
11		宇治川先陣図	土方稲嶺	三幅			●	●
12		東方朔図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	
13		関羽図	土方稲嶺	一幅				●
14		東方朔図	土方稲嶺	一幅			●	●
15		雪溪晚来図	土方稲嶺	一幅			●	●
16		蘇東坡騎驢図	土方稲嶺	一幅		渡辺美術館	●	●
17		清湍登鮎図	土方稲嶺	一幅			●	●

II 江戸から京へ(前編)○

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
18		牡丹猫図	土方稲嶺	一幅	天明二年〔1782〕		●	●
19		糸瓜に猫図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
20		松に綬帯鳥図	土方稲嶺	一幅	寛政六年〔1794〕		●	●
21		麝香花下悠々之図	土方稲嶺	二幅		鳥取県立博物館	右幅	左幅
22		狗子図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
23		花鳥図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	
24		蓮に燕図	土方稲嶺	一幅				●
25		栗樹猿公之図	土方稲嶺	一幅	天明六年〔1786〕	株式会社観光	●	
26		巖上猿之図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館		●
27		松竹梅群猿図屏風	土方稲嶺	六曲一双			●	
28		猿鹿図屏風	土方稲嶺	六曲一双				●
29		秋江游鳧図	土方稲嶺	一幅			●	
30		葦に鴨図	土方稲嶺	一幅	天明四年〔1784〕			●
31		双鯉図	土方稲嶺		寛政三年〔1791〕		●	●
32		花鳥図押絵貼屏風	土方稲嶺	六曲一双			右隻	左隻
33		瀧に鳩図	土方稲嶺	一幅	天明七年〔1787〕		●	

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
34		桃に双鳩図	土方稲嶺	一幅				●
35		梅に鳩図	宋紫石	一幅		摘水軒記念文化振興財団	●	
36		金木犀に双鳥図	宋紫石	一幅				●
38		鸚鵡図	土方稲嶺	一幅	寛政九年〔1787〕			●
39		牽牛花雄鶏図	土方稲嶺	一幅			●	
40		双鶏図	土方稲嶺	一幅				●
41		猿の図屏風	土方稲嶺	三曲一双			●	●
42		枯木鵲図	土方稲嶺	一幅			●	●

〔京での交わり〕

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
43		秋月雪峽図屏風	円山応挙	六曲一双	天明六年〔1786〕	千葉市美術館	右隻	左隻
44		海老図	伊藤若冲	一幅		千葉市美術館	●	●
45		諸家寄合膳のうち「折枝図」	円山応挙	二十枚のうち三枚			●	●
46		諸家寄合膳のうち「雀鳴子図」	伊藤若冲				●	●
47		諸家寄合膳のうち「葡萄に栗鼠図」	土方稲嶺				●	●
48		池大雅二十五回忌追善会案内状		一帖	寛政十二年〔1800〕	大阪市立美術館	●	●
49		『葎亭画譜集』	三宅嘯山	一冊	享和元年〔1801〕刊	早稲田大学図書館	●	●
50		『東山新書画展観目録』		一冊	寛政九年〔1797〕三月	早稲田大学図書館	●	●
51		東山第一楼勝会書画帖	土方稲嶺ほか	一帖	寛政十一年〔1799〕	大和文華館	●	●
52		瑞夢富士図	土方稲嶺	一幅			●	●
53		桜花図	土方稲嶺	一幅			●	●
54		枯木夜鳥図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
55		群鶴図	土方稲嶺	一幅		府中市美術館	●	●
56		旭日松鶴図	伊藤若冲	一幅		摘水軒記念文化振興財団	●	●
57		竹画碑(拓本)	土方稲嶺	二幅	寛政七年〔1795〕		●	●
58		竹林七賢図屏風	土方稲嶺	四曲一隻		島根県立美術館	●	●

〈特集〉 障壁画の制作

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
59		旧興国寺書院障壁画	土方稲嶺	二十二枚(三十八面)	寛政八年〔1796〕	鳥取県立博物館	●	●
60		虎溪三笑図襖	土方稲嶺	八面		祐徳寺(兵庫県養父市)	●	●
61		竹虎図	土方稲嶺	一幅		祐徳寺(兵庫県養父市)	●	●
62		瀑布図	土方稲嶺	二幅	寛政十年〔1798〕	大法院(京都市)	●	
63		叭々鳥図襖	土方稲嶺	四面		大法院(京都市)	●	
64		棕櫚図	土方稲嶺	一幅		渡辺美術館		●
65		墨竹図	土方稲嶺	一幅				●
66		遊鯉図	土方稲嶺	二幅		観音院(鳥取市)		●
67		墨竹図	土方稲嶺	二幅				●
68		達磨図	土方稲嶺	一幅		景福寺(鳥取市)		●
69		長姫像	土方稲嶺	一幅	寛政十二年〔1800〕	大法院(京都市)	●	●

〔鳥取藩士とのつながり〕

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
70		関羽書見図	土方稲嶺	一幅			●	●
71		智仁勇図	土方稲嶺	三幅			●	●
72		猿図	土方稲嶺	一幅			●	●

〔龍潭寺伝来の作品〕

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
73		王子猷雪夜図	土方稲嶺	一幅	寛政十年〔1796〕		●	●
74		寒山拾得図	土方稲嶺	一幅	寛政十年〔1798〕以前		●	●
75		龍虎図	土方稲嶺	二幅	享和二年〔1802〕以前	鳥取県立博物館	●	●

Ⅱ 江戸から京へ(後編)○

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
76		太公望・牡丹図	土方稲嶺	三幅			●	●
77		寿老・墨竹図	土方稲嶺	三幅	天明五年〔1785〕		●	
78		林和靖之図	土方稲嶺	三幅	享和三年〔1803〕	鳥取県立博物館		●
79		鶴に寿老人図	土方稲嶺	一幅	天明五年〔1785〕	鳥取市歴史博物館	●	
80		芭蕉翁像	土方稲嶺	一幅				●
81		隻履達磨図	土方稲嶺	一幅			●	●
82		西王母図	土方稲嶺	一幅			●	●
83	○	東方朔図	土方稲嶺	一幅	文化元年〔1804〕	鳥取県立博物館	●	
84		太公望図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館		●
85		猛虎図	円山応挙	一幅	天明二年〔1782〕	摘水軒記念文化振興財団	●	●
86		猛虎図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	
87		猛虎搔背図	土方稲嶺	一幅				●
88		竹虎図	土方稲嶺	一幅			●	
89		猛虎図	土方稲嶺	一幅				●
90		猛虎図屏風	土方稲嶺	六曲一双			●	●

〔飛騨高山への逗留〕

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
91		飛鴨図・飛燕図欄間	土方稲嶺	二面		鳥取県立博物館	表	裏
92		人物花鳥図押絵貼屏風	土方稲嶺	六曲一雙		鳥取県立博物館	右隻	左隻
93		桃園結義図	土方稲嶺	一幅			●	●
94		鯉魚図	土方稲嶺	一幅		京都国立博物館	●	
95		花鳥図	土方稲嶺	一幅		京都国立博物館		●
96		『二木呂竹祝賀巻』より「福祿寿図」	土方稲嶺	一卷	寛政四年〔1782〕		●	●
97		春慶塗盃台	土方稲嶺	一基		飛騨高山 まちの博物館	●	●

Ⅲ 鳥取藩絵師への登用

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
98		松竹梅太公望文日月硯		一点		渡辺美術館	●	●
99		牡丹孔雀図	土方稲嶺	一幅			●	●

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
100		牡丹孔雀図	土方稲嶺	一幅			●	●
101		乳呑虎図	土方稲嶺	一幅	享和三年〔1803〕		●	●
102		孔雀図屏風	土方稲嶺	六曲一双		京都国立博物館	●	●
103		山水図	土方稲嶺	一幅		株式会社観光	●	●
104		風雪三顧図	土方稲嶺	一幅	文化三年〔1806〕	鳥取県立博物館	●	●
105		竹林七賢図	土方稲嶺	一幅	文化元年〔1804〕		●	●
106		荒磯図屏風	土方稲嶺	四曲一双	文化三年〔1806〕		●	●
107		山脇東洋・吉岡恕翁・吉岡仁庵像		三幅			●	●
108		月下墨竹図	土方稲嶺	一幅			●	●
109		『画乗要略』		二冊	序：天保二年〔1831〕	早稲田大学図書館	●	●
110		『杉浦直治家譜』		一冊		鳥取県立博物館	●	●

〈エピローグ〉稲嶺の系譜

番号	指定	作品名	作者	員数	制作年〔西暦〕	所蔵	展示期間	
							前期	後期
111		老松猛鷲図	土方稲嶺	一幅			●	●
112		虎之図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
113		老松雉子図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
114		菊に山羊図	土方稲嶺	一幅	文化元年〔1804〕		●	●
115		巖上双亀図	土方稲嶺	一幅		鳥取県立博物館	●	●
116		葡萄栗鼠図	土方稲嶺	一幅	文化三年〔1806〕		●	●
117		白梅小禽図	土方稲嶺	一幅	文化元年〔1804〕		●	●
118		大黒・群鯉図	土方稲嶺	三幅	(中) 文化元年〔1804〕(左右) 文化三年〔1806〕	鳥取県立博物館	●	●
119		山水花鳥図押絵貼屏風	土方稲嶺	六曲一双	寛政十一年〔1799〕	鳥取県立博物館	右隻	左隻
120		雪中梅華図	土方稲嶺	一幅	文化四年〔1807〕	鳥取県立博物館	●	●
121	○	群鯉游泳図屏風	黒田稲皐	六曲一双	文政七年〔1824〕	鳥取県立博物館	●	●
122		老松鷹之図	黒田稲皐	一幅		鳥取県立博物館	●	●
123	○	群鯉図	黒田稲皐	一幅	天保七年〔1836〕	鳥取県立博物館	●	●
124		群鯉図額	黒田稲皐	一面	文政十年〔1827〕	鳥取県立博物館	●	●
125		月下双鯉図	小畑稲升	一幅	明治五年〔1872〕	鳥取県立博物館	●	●
126		紅葉に虎図	小畑稲升	一幅			●	●
127		梅花百鳥双鯉図	小畑稲升	一幅	明治十七年〔1884〕	鳥取県立博物館	●	●
128		群鯉飛鯉図	小畑稲升	一幅	明治十八年〔1885〕	鳥取県立博物館	●	●

●企画展 「ミュージアムとの創造的対話vol. 2 空間／経験そこで何が起こっているのか？」

会 期 平成30年11月23日(金・祝)～同年12月24日(月・振休)

※休館日：12月10日(月)

会 場 鳥取県立博物館 第2特別展示室

入場者数 1,676人

主 催 鳥取県立博物館

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社

入 館 料 一般600円(団体・前売り400円)

大学生以下の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料

内 容 ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探るシリーズ企画展の第2回目。今回は、梅田哲也、小山田徹、田口行弘の3名の作家を招聘し、ミュージアムの重要な要素／機能のひとつである「空間」とそこでの「経験」の在り方に着目し、作品と鑑賞者との間に新たな関係性を開くことを試みる作品を紹介した。

〈関連事業〉

① オープニングスペシャルトーク

日 時 11月23日(金・祝) 14:00～15:30
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 講 師 梅田哲也、小山田徹、田口行弘、尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)
 参加人数 42名

② 田口行弘ワークショップ「Particles'moment」

日 時 11月24日(土) 14:00～15:30
 会 場 鳥取県立博物館 第2特別展示室
 講 師 田口行弘
 参加人数 18名

③ 小山田徹イベント「小さな火床」に集う

日時・会場 11月24日(土) 17:00～20:00 鳥取県立博物館前庭
 11月25日(日) 17:00～20:00 岩戸海岸海水浴場
 12月9日(土) 17:00～20:00 憩いの道(米子市立図書館裏広場)
 12月10日(日) 17:00～20:00 東郷湖畔公園(湯梨浜町旭)
 12月24日(月・振休) 17:00～20:00 大御堂廃寺跡(鳥取市市営ラグビー場横)
 講 師 小山田徹
 参加人数 207名

④ オープンダイアログ01「学芸員との創造的対話」

日 時 12月1日(土) 14:00～15:00、12月15日(土) 14:00～15:00
 会 場 鳥取県立博物館 第2特別展示室
 講 師 赤井あずみ(鳥取県立博物館主任学芸員)
 参加人数 15名

⑤ オープンダイアログ02「梅田哲也×学芸員たち」

日 時 12月22日(土) 14:00～16:00
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 講 師 梅田哲也、川上靖(鳥取県立博物館学芸課自然担当主幹学芸員)、来見田博基(鳥取県立博物館学芸課人文担当主任学芸員)、三浦努(鳥取県立博物館美術振興課美術担当主幹学芸員)
 司 会 松川絵里(哲学者)
 参加人数 22名

⑥ オープンダイアログ03「小山田徹×酒井雅代 観る悦楽 | 愛の視線としての実測図」

日 時 12月23日(日) 14:00～15:30
 会 場 鳥取県立博物館 第2特別展示室
 講 師 小山田徹、酒井雅代(鳥取県立博物館学芸課人文担当専門員兼学芸員)
 参加人数 46名

⑦ 梅田哲也「弥生人の脳を見に行くツアー」

日 時 12月22日(土) 16:00～17:00、23日(日) 14:00～16:00、24日(月・振休)
14:00～16:00

会 場 鳥取県立博物館内

講 師 梅田哲也

参加人数 56名

⑧ 梅田哲也パフォーマンス

日 時 12月23日(土) 14:00～15:30

会 場 鳥取県立博物館 エントランスホール

講 師 梅田哲也

参加人数 58名

〈出品目録〉

小山田 徹

【実測図】

No.	品目名称	採集場所	採集日／記録日	記録者
1	実測図「眺めるというコト／ The Act of Looking」	—	—	小山田 徹
2	凝灰石浜打ち上げ石	青森県青森市浅虫八大龍神社前の海岸	2007.5.26／2007.6.5	小山田 徹
3	不明	京都市北野天満宮25日市古道具市の路店	1992.4.25／2007.6.11	小山田 徹
4	ワイヤーブラシ(301)	青森県青森市浅虫八大龍神社前浜辺	2007.5.28／2007.5.28	小山田 徹
5	たたき石	サウスオーストラリア LAKEAYRE近くの砂漠	1992.2.10／2007.3.22	小山田 徹
6	おもり石(?)	青森県青森市横内三十三ヶ所霊場	2007.5.6／2007.5.25	小山田 徹
7	礎石破片	青森県深浦町岡崎海岸	2007.5.12／2007.6.3	小山田 徹
8	黒曜石破片／石核	青森県今別町砂ヶ森赤岩の斜面	2007.5.3／2007.5.5	小山田 徹
9	流木(クツの木型?)	青森県青森市浅虫八大龍神社前浜辺	2007.5.28／2007.5.29	小山田 徹
10	模造黒曜石石器(石器の作り方の試作品)	—	1998.11.1／2007.6.14	小山田 徹
11	花崗岩	富士山朝日町ヒスイ海岸	1998.11.1／2007.6.14	小山田 徹
12	鹿下アゴの骨	滋賀県彦根市多賀町権言谷権言洞前	2006.8.26／2007.3.23	小山田 徹

【洞窟と測量】

No.	品目名称	採集場所	採集日／記録日	記録者／作者
1	洞窟と測量 洞窟探検とは…	—	—	小山田 徹
2	洞窟と測量 洞窟測量と地図製作	—	—	小山田 徹
3	洞窟と測量 洞窟探検に関する用語	—	—	小山田 徹
4	洞窟と測量 洞窟とは?	—	—	小山田 徹
5	洞窟と測量 鍾乳洞の生成	—	—	小山田 徹
6	洞窟と測量 洞窟の形態・二次生成物	—	—	小山田 徹
7	洞窟と測量 洞内スケッチ(河内風穴)	滋賀県多賀町	2006.6.13／2006.6.13	小山田 徹
8	洞窟と測量 洞窟探検の服装	—	—	小山田 徹
9	実測による洞窟図面各種(樽ヶ畑の穴)	滋賀県米原市樽ヶ畑	2007.2.25／2011.9.30	小山田 徹
10	身体的記憶による洞窟イメージ図	—	—	小山田 徹
11	地図記号	—	—	小山田 徹
12	河内風穴(美和ホール)上面図	滋賀県多賀町	2006.5.27	小山田 徹
13	河内風穴(第1水流・美和ホール連絡通路新支洞)上面図	滋賀県多賀町	2006.9.30	小山田 徹
14	白石の穴断面図	福井県小浜市	—	小山田 徹
15	樽ヶ畑の穴(くれがはたのあな)上面図	滋賀県米原市	2007.2.25／2007.3.21	小山田 徹

No.	品目名称	採集場所	採集日／記録日	記録者／作者
16	白石の穴	福井県小浜市	—	小山田 徹
17	樽ヶ畑の穴(くれがはたのあな)断面側線図	滋賀県米原市	—	小山田 徹
18	人類史、自然史の時空ダイアグラム	『発達史地形学』p154第2部 「発達史地形学の基礎」より	1998.8.25／2007.6.13	小山田 徹
19	模式断面図	『発達史地形学』第1部3「地形物質」より 火成岩、堆積岩、変成岩の地形環境	1998.8.25／2007.6.12	小山田 徹
20	洞窟ドローイング	—	2018.11.20	小山田 徹

【鳥取県立博物館収蔵品およびその実測図】

No.	資料名	時代	出土地	記録者	所蔵
1	円筒埴輪	古墳時代	鳥取県米子市(宗像1号墳)	—	鳥取県立博物館蔵
2	円筒埴輪実測図	—	—	東方 仁史	鳥取県立博物館蔵
3	磨石	縄文～弥生時代	鳥取市高住(青島遺跡)	—	鳥取県立博物館蔵
4	石錘	弥生時代	鳥取市高住(青島遺跡)	—	鳥取県立博物館蔵
5	磨石・石錘実測図	—	—	亀井 熙人	鳥取県立博物館蔵
6	尖頭器	縄文時代	鳥取県西伯郡大山町羽田井	—	個人蔵
7	尖頭器実測図	—	—	亀井 熙人	鳥取県立博物館蔵
8	尖頭器実測図	—	—	北 浩明	個人蔵
9	須恵器子持高杯実測図	—	—	亀井 熙人	鳥取県立博物館蔵
10	須恵器子持壺実測図	—	—	東方 仁史	鳥取県立博物館蔵
11	須恵器甕(はそう)実測図	—	—	亀井 熙人	鳥取県立博物館蔵
12	弥生土器鉢実測図	—	—	亀井 熙人	鳥取県立博物館蔵
13	須恵器甕(はそう)	古墳時代	鳥取市野坂	—	鳥取県立博物館蔵
14	弥生土器鉢	弥生時代	鳥取市立川	—	鳥取県立博物館蔵
15	須恵器子持高杯	古墳時代	鳥取市(浜坂古墳)	—	鳥取県立博物館蔵
16	須恵器子持壺	古墳時代	鳥取県米子市(宗像1号墳)	—	鳥取県立博物館蔵

田口行弘

No.	タイトル	素材／技法	制作年	サイズ・時間
1	風紋版画	砂、糊／カンバス	2018	20号
2	掌刻	HDビデオ	2018	4分35秒
3	ParticlesMoment	ストップモーションビデオ	2018	2分32秒
4	風紋版画	砂、糊／カンバス	2018	20号
5	ParticlesMomentのプランスケッチ	墨、砂、糊／紙	2018	210×297mm

梅田哲也

No.	タイトル	素材／技法	制作年	サイズ
1	あざやかな祈りとそこにたどり着くまでの長い道のり	展示ケース、ホース、水、電球、ガラス、木、鯨の骨、蛍光灯、鈴、電源ケーブル、プロジェクター、カメラ、ステンレス、プラスチック、LEDライト、ハロゲンライト、スポットライト、アクリル板、ワイヤー、弥生人の脳レプリカ、鯨の骨、ゴム、植物レプリカ、剥製資料ほか	2018	サイズ可変

●「OurCollections! 鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから」

会 期 平成31年2月16日(土)～同年3月10日(日)

※休館日：会期中の月曜日

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入場者数 1,512人

主 催 鳥取県立博物館

協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社
入 館 料	一般400円(団体200円) 高校生以下の方、障がいのある方・要介護者等およびその介護者、難病患者の方、学校教育活動での引率者は無料
内 容	県立美術館整備の動きに呼応し、さらに多くの方々に関心を持ってもらうため、美術館の核となる鳥取県立博物館がこれまでに収集した美術コレクションと、これから新しく収集していきたいと考えるさまざまな分野の作品を実物や写真資料などで紹介する展覧会を開催した。第一章および第二章では、鳥取県がこれまでに進めてきた美術コレクション収集の歴史を作品と合わせて紹介し、第三章では事前に行った人気投票で選ばれた作品を紹介、第四章では美術館の新しい収集方針の原案(例:「国内外の優れた美術」として、「1970年代から現代までの国内外の美術」や、「次世代の作家による優れた作品」など)をイメージできる作品を県外の美術館や個人、画廊等のコレクションから借用して紹介した。会場アンケートでは、印象に残った展示作品を挙げてもらったり、美術館のコレクションについての意見、要望を記入していただいた。

〈関連行事〉

(1) ギャラリートーク(本展担当学芸員による展示解説)

日 時	2月16日(土)、3月2日(土)
会 場	企画展会場
講 師	2月16日のみ特別講師として浅井康宏氏(漆芸家・本展第四章出品作家)、竹川宣彰氏(現代美術家・本展第四章出品作家)を招聘
参加人数	合計72人

(2) クロストーク「これからの美術館は何をコレクションするのか？」

日 時	2月23日(土) 10:30~12:00
会 場	鳥取県立博物館 講堂
講 師	熊田司氏(元・和歌山県立近代美術館館長)、外館和子氏(工芸史家・多摩美術大学共通教育教授)、丹羽晴美氏(東京都写真美術館事業企画課事業第一係長)、南雄介氏(愛知県美術館館長)、守安収氏(岡山県立美術館館長)、尾崎信一郎(当館副館長)
参加人数	30人

(3) 映像作品スクリーニング・プログラム(国内外の優れた映像作品・次世代の作家による優れた映像作品の上映)

日 時	3月2日(土)、3日(日)、10日(日)
会 場	鳥取県立博物館 講堂
参加人数	52人

(4) スペシャルトークセッション「地方都市と現代美術」

日 時	3月9日(土) 14:00~15:20
会 場	鳥取県立博物館 講堂
講 師	原口典之氏(現代美術家・本展第四章出品作家)、尾崎信一郎(当館副館長)、赤井あずみ(当館主任学芸員)
参加人数	32人

〈出品リスト〉

第一章 鳥取県のアート・コレクション形成史

ここから始まった。——開館前後のコレクションのすがた

No.	作者名	作品名	素材・技法	制作年代	収集経緯
1	伊谷 賢蔵	クスコの朝市	キャンバス・油彩	1968 年	昭和 46 年度鳥取ガス寄贈
2	伊谷 賢蔵	裏大山晩秋	キャンバス・油彩	1969 年	昭和 46 年度鳥取信用金庫寄贈
3	前田 寛治	仰臥裸婦	キャンバス・油彩	1926 年	昭和 46 年度山陰合同銀行寄贈
4	島田 元旦	秋景山水図	絹本・著色	江戸時代後期	昭和 46 年度鳥取北ロータリークラブ寄贈
5	松田 晃八	山王の森	キャンバス・油彩	1959 年頃	昭和 47 年度日建設計寄贈
6	前田 寛治	立てる子供	キャンバス・油彩	1922 年	昭和 47 年度日本海テレビ放送寄贈
7	前田 寛治	西洋婦人像	キャンバス・油彩	1925 年頃	昭和 47 年度鳥取銀行寄贈
8	前田 寛治	男の像	キャンバス・油彩	1924 年	昭和 47 年度熊谷組寄贈
9	香田 勝太	初雪	キャンバス・油彩	1932 年	昭和 47 年度鳥取県議会より移管
10	笹鹿 彪	プロメテ	キャンバス・油彩	1961 年	昭和 47 年度鳥取県庁より移管
11	濱田 台兒	海女	紙本・着色	1962 年	昭和 47 年度濱田台兒氏寄贈
12	菅 楯彦	神倉秋景	紙本・着色	1962 年	昭和 47 年度鳥取県庁（大阪鳥取県友会寄贈）より移管
13	土方 稲嶺	葦間潜鯉図	紙本・墨画	1804 年	昭和 47 年度圓井潔氏寄贈
14	土方 稲嶺	鳥取県指定保護文化財 雲龍図	紙本・墨画	江戸時代後期	昭和 48 年度石谷貞彦氏寄贈
15	三枝 真洞	春園曉露	紙本・着色	1867 年	昭和 48 年度宮脇直一氏寄贈
16	長谷川塊記	あゆみ	石膏	1954 年	昭和 48 年度長谷川秀樹氏寄贈
17	遠藤 董	清水彦五郎の像	キャンバス・油彩	1880 年頃	昭和 48 年度鳥取県立鳥取図書館より移管
18	安岡 信義	裸婦習作	キャンバス・油彩	1912 年頃	昭和 48 年度田養鉄造氏寄贈
19	浜田 宜伴	青年像	キャンバス・油彩	1929 年頃	昭和 48 年度浜田宜伴氏寄贈
20	尾崎悌之助	寒村雪景	キャンバス・油彩	1960-70 年	昭和 48 年度日本海テレビ寄贈
21	大坪 重周	能	布・ロウケツ染	1973 年	昭和 48 年度大坪重周氏寄贈

石谷、君野、安富——三大コレクションの受贈

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
22	曾我 蕭白	月夜山水図襖	紙本・墨画	江戸中・後期	平成 17 年度受贈・石谷コレクション
23	根本 幽峨	佐野の渡図	絹本・着色	江戸時代後期	昭和 60 年度受贈・君野コレクション
24	土方 稲嶺	猛虎図	絹本・着色	江戸時代後期	平成 2 年度受贈・安富コレクション
25	黒田 稲皐	鳥取県指定保護文化財 群鯉図	絹本・着色	1836 年	平成 2 年度受贈・安富コレクション
26	沖 一峨	官女図	絹本・着色	1846 年	平成 2 年度受贈・安富コレクション
27	作者不詳	栗鶉蒔絵硯箱	漆器	17-18 世紀	昭和 60 年度受贈・君野コレクション
28	作者不詳	松竹梅橘文蒔絵カルタ箱	漆器、紙	19 世紀	昭和 60 年度受贈・君野コレクション
29	乾山銘	鏤絵馬図角皿	陶器	江戸時代前期	平成 17 年度受贈・石谷コレクション
30	乾山銘	鏤絵柳図角皿	陶器	江戸時代前期	平成 17 年度受贈・石谷コレクション
31	作者不詳	堆朱香盆	漆器	明代初期	平成 17 年度受贈・石谷コレクション

その後、現在までに集まった鳥取県を代表する美術作家の作品から

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
32	片山 楊谷	月下猛虎図	絹本・着色	江戸時代後期	平成 29 年度藤原明氏寄贈
33	小早川秋聲	氷雨降る宵	絹本・着色	大正期	平成 7 年度購入
34	前田 寛治	棟梁の家族	キャンバス・油彩	1928 年	昭和 50 年度保管替
35	福留 章太	アントロポス 4	キャンバス・油彩	1980 年	平成 5 年度購入
36	辻 晉堂	拾得	陶彫	1958 年	昭和 63 年度購入
37	山本 兼文	石会	石	1977 年	平成 3 年度購入
38	福嶋 敬恭	Untitled	真鍮・鉛	1975 年	昭和 51 年度福嶋敬恭氏寄贈

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
39	ニシオトミジ	輪廻-744	キャンバス・油彩	1975 年	昭和 61 年度西尾富次氏寄贈
40	塩谷 定好	赤碕雪景	ゼラチン・シルヴァー・プリント	1932 年	平成 11 年度購入
41	植田 正治	「童暦」より 雪国の子	ゼラチン・シルヴァー・ プリント／printed later	1955-70 年	平成 21 年度購入
42	岩宮 武二	「かたち」より 菓子	ゼラチン・シルヴァー・ プリント／printed later	1959 年	平成 22 年度購入
43	橋本 興家	春 砂丘連作の内	紙・多色木版	1976 年	昭和 62 年度橋本興家氏寄贈
44	前田 昭博	白瓷壺	磁器	2009 年	平成 22 年度購入
45	瀬戸 浩	メビウス一回転 銀彩 鉄褐色釉	陶	1973 年	平成 8 年度購入
46	イシダメイ	遠流	ブロンズ	1980 年	平成 4 年度購入：エントラン スホールで展示
47	中ハシクシゲ	ニノミヤ君	鉄・鋳造	1992 年	平成 24 年度購入：エントラン スホールで展示

第二章 コレクションで見せる、さまざまなテーマの展示——平成9年以降拡大した収集方針から

前田寛治とその周辺の画家たち

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
48	ギュスターヴ・クールベ	まどろむ女（習作）	キャンバス・油彩	1852 年頃	平成 11 年度購入
49	モーリス・ド・ヴラマンク	赤い屋根	キャンバス・油彩	1912-14 年頃	平成 25 年度購入
50	佐伯 祐三	オーヴェールの教会	キャンバス・油彩	1924 年	平成 9 年度購入
51	里見 勝蔵	石膏のある静物	キャンバス・油彩	1927 年	平成 10 年度購入

岡村吉右衛門とその周辺の工芸家たち

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
52	岡村吉右衛門	鹿猟 B	紙・型染め版画	1994 年	平成 8 年度購入
53	濱田 庄司	柿釉丸文鉄絵大鉢	陶器	1955 年頃	平成 10 年度購入
54	バーナード・リーチ	扁壺	陶器	1973 年	平成 10 年度購入
55	生田 和孝	糠釉鎬手大鉢	陶器	1974 年	平成 14 年度生田観陽氏寄贈
56	岡村吉右衛門	熊祭りの宴	紙・型染め版画	1994 年	平成 8 年度購入

鳥取県の自然や風物を題材にした美術作品 ～砂のある光景

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	収集経緯
57	國領 経郎	遠い海	キャンバス・油彩	1977 年	平成 13 年度國領昭子氏寄贈
58	やなぎみわ	My Grandmothers/ MOEHA	レーザージェットプリン ト	2009 年	平成 22 年度購入

第三章 来場者が選んだ、お気に入りの作品

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	展示期間中の得票率／収集経緯
59	前田 昭博	白瓷壺	磁器	1977 年	得票率 19.1 ／平成 29 年度岸楨 子氏寄贈
60	瀬戸 浩	雲のシリーズ '91	陶器・12 点	1991 年	得票率 17.6 ／平成 3 年度購入
61	尾崎悌之助	山陰海濱	キャンバス・油彩	1935 年	得票率 15.5 ／昭和 62 年度尾崎 茂子氏寄贈
62	國領 経郎	杜を映す溜水	キャンバス・油彩	1993 年	得票率 13.6 ／平成 13 年度國領 昭子氏寄贈
63	矢野喜久男	ピアノの前のバレ リーナ	紙・パステル	昭和期	得票率 14.5 ／平成 28 年度玉井 令子氏寄贈
64	菅 楯彦	春宵宣行	絹本・墨画淡彩	1927 年	得票率 12.7 ／平成 8 年度購入
65	植田 正治	パパとママとコド モたち	ゼラチン・シルヴァー・ プリント	1949 年	得票率 12.3 ／平成 21 年度購入
66	杵島 隆	「裸像伝説」より 量感	ゼラチン・シルヴァー・ プリント	1957 年	得票率 11.3 ／平成 18 年度購入

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	展示期間中の得票率／収集経緯
67	船井 美周	大山残雪	キャンバス・油彩	1981 年	得票率 10.9 ／平成 29 年度岸横子氏寄贈
68	井田 勝己	時の記憶	紙・木・真鍮・黒御影石	2006 年	得票率 14.4 ／平成 22 年度購入：エントランスホールで展示

第四章 美術館に向けて——新しいコレクションのイメージ

国内外の優れた美術——各年代の参照点となる重要な作品：リアリズムにかかわる作品／大衆文化を背景にした作品

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
69	平 久弥	Escalator#27	キャンバス・アクリル	2010 年	個人蔵
70	ジュリアン・オピー	シャヌーザ、ポール・ダンサー	ビニール、アルミ製ストレッチャー、蛍光灯	2006 年	タグチ・アートコレクション蔵
71	ダミアン・ハースト	Trietanolamina	キャンバス・家庭用グロスペンキ	2008 年	タグチ・アートコレクション蔵
72	森村 泰昌	セルフポートレート / バルドーとしての私-2	クロモジェニック・プリント	1996 年	タグチ・アートコレクション蔵
73	奈良 美智	サイレント・ヴァイオレンス	コットン・アクリル	1996 年	タグチ・アートコレクション蔵

国内外の優れた美術——未来をつくる同時代の表現

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
74	竹川 宣彰	遊牧	牛乳パック・木・ボンド	2011 年	個人蔵
75	竹川 宣彰	群落	紙・水彩	2011 年	個人蔵
76	木野 智史	嵐（螺旋）	磁	2015 年	兵庫陶芸美術館蔵
77	浅井 康宏	蒔絵玳瑁飾箱「煌」	漆器	2017 年	赤嶋貞宏氏蔵
78	浅井 裕介	胞子と水脈	布・土・アクリルレジン・アクリル・墨汁	2016 年	タグチ・アートコレクション蔵

国内外の優れた美術——各年代の参照点となる重要な作品：1970年代以降の絵画表現から

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
79	小林 正人	写生（1993.4.16）	キャンバス・油彩	1993 年	個人蔵
80	小林 正人	画く力	キャンバス・油彩	1991 年	個人蔵
81	藤澤江里子	無題	キャンバス・油彩	2009 年	個人蔵
82	東島 毅	わたしを覗くわたし	キャンバス・油彩	2014 年	個人蔵
83	丸山 直文	Red ship	アクリル・綿布	2000 年	個人蔵

国内外の優れた美術——各年代の参照点となる重要な作品：物質と観念

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
84	村岡 三郎	Standing Bed	鉄	1979 年	個人蔵
85	村岡 三郎	残留酸素 No.5	酸素ボンベ・ドローイング・紙	1992 年	個人蔵
86	原口 典之	East No. a14	紙・パステル	1986 年	個人蔵
87	原口 典之	Untitled 015	ポリウレタン・ペーパー・ハニカム・アルミ	2012 年	個人蔵
88	杉本 博司	Sea of Japan, Oki (557)	ゼラチン・シルヴァー・プリント ed.1/5	1987 年	タグチ・アートコレクション蔵
89	松澤 宥	極北で	紙・インク	制作年不詳	個人蔵
90	フェリックス・ゴンザレス＝トレス	Untitled	紙・鉛筆	1994 年	個人蔵

国内外の優れた美術——各年代の参照点となる重要な作品：参加型の作品

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
91	オノ・ヨーコ	Play it by Trust (信頼して駒を進めよ)	木・塗料	1966 年	タグチ・アートコレクション蔵
92	きむらとしろう じんじん	野点—焼立器飲茶 美味窯付移動車	映像、パンフレット、陶器	1995-	個人蔵

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
93	中ハシクシゲ	「Zero Project Suisei 43/ Tottori」 ドキュメント	映像	2007 年	個人蔵

国内外の優れた美術 —各年代の参照点となる重要な作品：近現代の日本の優れた工芸

No.	作者名	作品名	材質	制作年代	所蔵
94	富本 憲吉	白磁大壺	磁器	1942 年	兵庫陶芸美術館蔵
95	林 康夫	作品 67-8	陶	1967 年	兵庫陶芸美術館蔵
96	三島喜美代	C-12	陶	1973 年	兵庫陶芸美術館蔵
97	八木 一夫	結着へ	陶	1978 年	兵庫陶芸美術館蔵
98	田嶋 悦子	Cornucopia 04-Y' IV	陶・ガラス	2004 年	兵庫陶芸美術館蔵
99	三原 研	炆器花器（起源）	陶器	2008 年	兵庫陶芸美術館蔵
100	重松あゆみ	Blue Direction	陶	2010 年	兵庫陶芸美術館蔵
101	渡邊 明	積層プラチナ彩切 子楯円鉢「琳風」	ガラス・プラチナ	2016 年	作家蔵
102	深見 陶治	立	磁	2005 年	兵庫陶芸美術館蔵

4 教育普及活動

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
移動博物館	計 3 件					600
	自然部門	小計 1 件				375
		とつとりの自然	エキパル倉吉	10月 5日(金)～ 10月 9日(火)		375
	人文部門	小計 2 件				225
		大山と牛馬守護の信仰	大山町名和公民館	11月 1日(木)～ 11月11日(日)		65
		大山と牛馬守護の信仰	江府町防災・情報センター	11月15日(木)～ 11月25日(日)		160
出前展示	計 4 件					349
	自然部門	小計 3 件				299
		鳥取県の化石	日野町立黒坂小学校	6月 8日(金)～ 6月22日(金)		29
		鳥取県の化石	倉吉市立鴨川中学校	10月 1日(月)～ 10月12日(金)		66
		食卓の魚	認定こども園キッズ タウンさくら	10月29日(月)～ 11月 9日(火)		204
	人文部門	小計 1 件				50
		鳥取県の祭り・行事	湯梨浜町中央公民館 泊分館	9月22日(土)～ 10月 9日(火)		50
移動美術館	計 2 件					645
		橋本興家木版画展 一日本の城を訪ねて―	若桜郷土文化の里匠 の館	8月18日(土)～ 9月17日(月)		329
		移動美術館＋北栄町コレクション 「In Tokyo & Paris 前田寛治と、 彼が会った国内外の画家たち」	北栄みらい伝承館	10月 6日(土)～ 10月21日(日)		316
学芸員派遣 (教員用講師・指導助 言)	計 11 件					364
	自然部門	小計 5 件				62
		弓ヶ浜サイクリングロード施行に 伴うハマナス群落保全の指導	米子市和田町	5月 7日(月)		8
		森林セラピー推進協議会地域ガイ ド養成(地域の植生を学ぶ)	智頭町芦津溪	5月19日(土)		13
		教員免許状更新研修に伴う協力	博物館講堂、博物館 展示室	8月 5日(日)	21	21
		「動物村」にある樹木の同定(発 疹等がでる恐れのある樹木 他)	鳥取市立末恒小学校	9月 4日(火)		2
		「二十一世紀の森」展示館利用促 進のための意見交換会	二十一世紀の森	10月16日(火)		18
	美術部門	小計 6 件				302
		中部中学校教育振興会研修	博物館会議室、博物 館展示室	7月26日(木)		9
		面影小学校職員研修	博物館会議室	7月27日(金)		25
		コレクション宅配便 新規採用職 員研修	倉吉体育文化会館	7月30日(月)		67

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
学芸員派遣 (教員用講師・指導助言)	美術部門	東部教育研究会図画工作部会造形展審査	鳥取市立福部未来学園	8月 3日(金)		87
		鳥取市小学校教育研究会図画工作部会研修	博物館会議室、博物館展示室、博物館地下バックヤード	8月 8日(水)		87
		鳥取市小学校教育研究会研究授業	鳥取市立福部未来学園	11月27日(火)		27
学芸員派遣	計 59 件					2,857
	自然部門	小計 13 件				392
		「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その1)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)	4月29日(日)		40
		「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介(その2)	鳥の劇場(鳥取市鹿野町)	5月 5日(土)		60
		オカヒジキもどってこいこいプロジェクト	岩美町熊井浜	6月 3日(日)		27
		「青谷学」への学芸員派遣	鳥取県立青谷高等学校	6月 8日(金)・3月15日(金)		25
		野外観察会「山陰海岸ジオハイキング(羽尾岬コース)」	岩美町羽尾岬	6月 9日(土)	20	18
		伯耆国「大山開山 1300 年祭」大山講座～大山の自然とその魅力～	大山町大山寺	6月23日(土)		56
		親子でいっしょに楽しむ講座「押し花をつくろう」	鳥取市立中央図書館	7月25日(水)	30	41
		久松山登山自然観察会	鳥取市久松山	9月22日(土)		48
		万葉の庭散策講座「秋の庭散策」	因幡万葉歴史館	9月24日(月)		11
		鳥取・島根自然観察指導員交流会	倉吉市打吹公園・三朝町三徳山	11月10日(土)～11月11日(日)		21
		氷ノ山自然観察会	若桜町春米	1月19日(土)		8
		教職課程科目「理科教育法2:中学校理科教師と研究」	公立鳥取環境大学	2月 1日(金)		28
		自然観察会(タンポポ調査西日本2020)講師	琴浦町八橋城跡公園	3月23日(土)		9
	人文部門	小計 20 件				687
		古文書解読ボランティア東中西部例会	鳥取県立博物館、倉吉博物館、米子市旧庁舎	毎月		393
		幕末・明治を駆け抜けた石脇出身の偉人 伊王野 坦	湯梨浜町泊公民館	6月 5日(火)		46
		古文書を読む会	みささ図書館、倉吉博物館	6月12日(火)		20
		縄文土器づくりと古代食体験	智頭町埋蔵文化財センター	7月27日(金)		12
		鳥取城のひみつ	渡辺美術館	7月29日(日)	20	20
		門脇重綾家文書から見た郷土の歴史	境港市渡公民館	12月 1日(土)		30
		開山 1300 年! 大山の民俗あれこれ	対翠閣	12月 1日(土)		78
		名和長年とその一族	倉吉市成徳公民館	12月 2日(日)		48

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
学芸員派遣	人文部門	「とっとりのお宝おひろめ in 米子 ～鳥取県指定文化財展～」展示解説	米子市美術館	1月12日(土)		40
	美術部門	小計 26 件				1,778
	学芸員派遣		鳥取県立倉吉養護学校	6月12日(火)		7
	コレクション宅配便		境港市立第三中学校	6月20日(水)		108
	《ワークショップ》紙コップ10000 個で街を作ろう！		中浜公民館	8月 9日(木)		42
	「旅するムサビ in 鳥取」黒板ジャック		鳥取市立面影小学校	8月27日(月)		443
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前 授業		鳥取市立面影小学校	9月25日(火)		84
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前 授業		鳥取市立散岐小学校	9月28日(金)		18
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前 授業		琴浦町立浦安小学校	10月 4日(木)		46
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月 9日(火)		65
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前 授業		米子市立啓成小学校	10月11日(木)		21
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月12日(金)		85
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月15日(月)		52
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月16日(火)		19
	企画展「土方稲嶺」バス招待事前 授業		岩美町立岩美北小学校	10月17日(水)		84
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月18日(木)		23
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月19日(金)		85
	企画展「土方稲嶺」バス招待来館		博物館展示室	10月23日(火)		45
	《ワークショップ》「線の森」造形 遊び公開授業		鳥取市立若葉台小学校	10月27日(土)		177
	鳥取市文房四宝祭りワークショッ プ「掛け軸を作ろう」		鳥取市文化センター	10月28日(日)		48
	コレクション宅配便		三朝町立西小学校	10月31日(水)		49
	企画展「土方稲嶺」来館		博物館展示室	11月 2日(金)		38
	コレクション宅配便		大山町立大山中学校	11月 7日(水)		67
	アーティストとつくろう！「ご飯 茶碗をつくろう！」		鳥取市立宮ノ下小学校	12月 3日(月)～ 12月10日(月)	65	66
	《ワークショップ》イノシシのお 正月飾りをつくろう！		湯梨浜町障がい者地 域活動支援センター	12月26日(水)	15	15
	《ワークショップ》不思議な絵の 具で描いてみよう！		鳥取市教育センター 内適応指導教室すな はま	1月23日(水)	10	10
	《ワークショップ》紙コップ10000 個で街をつくろう！		岩美子ども食堂	1月24日(木)	30	32
	《ワークショップ》不思議なえの ぐで描いてみよう！		米子市立啓成小学校	2月16日(土)	49	49
教員向けイ ベント	計 1 件					37
		教員のための博物館の日	博物館講堂、博物館 会議室	8月 2日(木)		37

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	計 117 件					3,935
	自然部門	小計 20 件				715
		《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子湊山公園	4月30日(月)	20	27
		《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 大山	大山寺周辺	5月12日(土)	30	41
		《天体観望会》春の星を見る会	博物館前庭	5月12日(土)		25
		《野外観察会》集めよう鉱物！―百谷鉱山跡―	鳥取市百谷	5月26日(土)	20	49
		《ギャラリートーク》企画展「とっとりの化石 EXPO! 2018」	博物館展示室	7月15日(日)		50
		《自然講座》化石レプリカをつくろう！	博物館会議室	7月22日(日)	20	24
		《野外観察会》昆虫観察入門～街灯に集まる虫たち～	博物館周辺	7月28日(土)	30	32
		《講演会》世界の魚類化石：シーラカンズから国府町宮下まで	博物館講堂	7月29日(日)	250	70
		《自然講座》地層のでき方大実験！	博物館前庭	8月 4日(土)		64
		《自然講座》みて！さわって！ホネを楽しもう	博物館会議室	8月 5日(日)	20	22
		《野外観察会》化石をさがせ！in 春米	若桜町春米	8月11日(土)	15	31
		《天体観望会》夏の星を見る会	博物館前庭	8月11日(土)		36
		《ギャラリートーク》企画展「とっとりの化石 EXPO! 2018」	博物館展示室	8月12日(日)		40
		《自然講座》標本を調べる会	博物館会議室	8月19日(日)		39
		《ギャラリートーク》企画展「とっとりの化石 EXPO! 2018」	博物館展示室	8月26日(日)		40
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山町下山キャンプ場	10月20日(土)	30	27
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！in 倉吉	倉吉市打吹公園	11月10日(土)	20	15
		《シンポジウム》昆虫たちの現状から考える鳥取県の自然	博物館講堂	12月 1日(土)	250	60
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月 9日(日)	20	2
		《自然講座》キラキラ★標本アクセサリー！	博物館会議室	12月16日(日)	20	21
	人文部門	小計 36 件				1,140
		《歴史講座》大雲院における歴代将軍年会忌法要	博物館会議室	4月14日(土)	20	20
		《歴史講座》人文部門常設展示コレクション展「刀剣爛漫」ギャラリートーク	美術展示室	4月14日(土)		55
		《歴史講座》縄文土器をつくる	博物館会議室	4月15日(日)	20	14
		《ギャラリートーク》青谷横木遺跡「女子群像」板絵ギャラリートーク	博物館展示室	4月22日(日)～ 5月 6日(日)		112

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	人文部門	《歴史講座》聞いてみよう！日本刀のアレコレ	美術展示室	5月 3日(木)		45
		《民俗講座》大山と地藏菩薩	博物館会議室	6月 3日(日)	40	38
		《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月 3日(日)		42
		《歴史講座》野の思想運動 神代復古運動／安徳天皇陵承認運動	博物館会議室	6月 9日(土)	20	20
		《講演会》『大山寺縁起』の語るもの	博物館講堂	6月10日(日)	250	73
		《歴史講座》歴史と民俗を訪ねる会 in 大山	大山寺周辺	6月17日(日)	20	11
		《ギャラリートーク》企画展「大いなる神仏の山 大山」	博物館展示室	6月24日(日)		48
		《歴史講座》大山の仏教美術	博物館講堂	6月24日(日)	250	54
		《歴史講座》第一次県史編さん事業と公文書館	博物館会議室	7月14日(土)	20	20
		《歴史講座》オリジナルの和綴じ本をつくろう	博物館会議室	7月29日(日)	20	14
		《歴史講座》因州鳥取藩財政と海岸警衛御用—安政4年の藩債整理を中心に—	博物館会議室	8月11日(土)	20	20
		《ギャラリートーク》大山山麓の至宝	米子市美術館	8月18日(土)		92
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月19日(日)		28
		《歴史講座》西伯耆地方の神社に伝わる棟札からわかること、西伯耆の黄檗寺院	米子市立図書館	9月 8日(土)	200	56
		《歴史講座》自分の花押をつくる	博物館会議室	9月 9日(日)	20	8
		《歴史講座》泥塔クッキーをつくろう	鳥取市立久松地区公民館	9月21日(金)・22日(土)	各 10	19
		《歴史講座》鳥取城周辺から出土した江戸後期の「やきもの」考	博物館会議室	10月13日(土)	20	20
		《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく—秋里氏と千代川下流域—	鳥取市内	11月 4日(日)	20	13
		《歴史講座》因幡三上氏の岩井庄支配と山名氏	博物館講堂	11月10日(土)		35
		《歴史講座》明治150年「鳥取こちずぶらり」でまち歩き—近代編—	鳥取市内	11月11日(日)	8	8
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(浦安～赤碓)	琴浦～大山町内	11月18日(日)	20	20
		《歴史講座》近世梵鐘銘から中世因幡の歴史を探る	博物館会議室	12月 8日(土)	20	26
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月23日(日)	40	18
		《歴史講座》明治42年の韋駄天たち	博物館会議室	1月19日(土)	20	18

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	人文部門	《連携講座》古文書講座—中世文書に見る鳥取の武家・寺社—	博物館会議室	2月10日(日)	20	15
		《歴史講座》炉から見る鳥取の縄文遺跡	博物館会議室	2月10日(日)		19
		《連携講座》古文書講座—中世文書に見る鳥取の武家・寺社—	博物館会議室	2月17日(日)	20	10
		《歴史講座》鳥取地域史研究会記念講演会「室町期の山名氏と因幡・伯耆」	博物館講堂	2月24日(日)		74
		《歴史講座》鳥取藩寺社方日記について	博物館会議室	3月 9日(土)	20	28
		《連携講座》古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月10日(日)	20	15
		《連携講座》古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月17日(日)	20	15
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(赤碕～下市)	琴浦町内	3月24日(日)	20	17
	美術部門	小計 61 件				2,080
		《バックヤードツアー》もっと博物館を知ろう！館内バックヤードツアー	会議室他(館内全域)	4月 7日(土)	10	11
		《ギャラリートーク》刀剣研師による特別解説	博物館展示室	4月14日(土)		33
		《アートシアター》新日曜美術館シリーズ 北斎と広重同時代を生きた天才たち	博物館講堂	4月21日(土)	250	54
		《ワークショップつくり隊！のワークショップ》投げて描こう！	博物館地下バックヤード	4月28日(土)		42
		《ワークショップつくり隊！のワークショップ》キラキラマントで変身！	博物館会議室	5月 5日(土)		51
		《アートシアター》≡草間彌生わたし大好き	博物館講堂	5月12日(土)	100	42
		《アートシアター》匠の世界シリーズ刀剣編	博物館講堂	5月19日(土)	250	14
		《館外普及事業》コレクション宅配便 in 倉吉淀屋	倉吉淀屋	5月26日(土)		98
		《ワークショップ》カエルになろう！	博物館会議室	6月 2日(土)	10	20
		《ギャラリートーク》コレクション展 I	博物館展示室	6月 9日(土)		6
		《アートセミナー》1950年代を考える	博物館会議室	6月16日(土)		15
		《アートシアター》匠の世界シリーズ陶芸編 特集上映	博物館講堂	6月23日(土)	250	17
		《ワークショップつくり隊！のワークショップ》色水であそぼ！	博物館前庭	6月30日(土)		82
		《2週連続スペシャルアートシアター》オラファー・エリアソン 視覚と知覚	博物館講堂	7月 7日(土)	250	6

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	美術部門	《2週連続スペシャルアートシアター》オラファー・エリアソン 視覚と知覚	博物館講堂	7月14日(土)	250	12
		《ワークショップ》Moving うごくとかたち	博物館会議室	7月21日(土)		40
		《ワークショップ》化石でフロッタージュ	博物館会議室	7月21日(土)	20	8
		《ワークショップ》手づくりうちわで暑さを吹き飛ばせ!	博物館会議室	8月 4日(土)	20	12
		《ワークショップ》泥でアート!	博物館地下バックヤード	8月11日(土)		42
		《バックヤードツアー》もっと博物館を知ろう! 館内バックヤードツアー	博物館地下バックヤード	8月18日(土)	10	10
		《ギャラリートーク》移動美術館・若桜展 橋本興家木版画展—日本の城を訪ねて—	若桜郷土文化の里たくみの館	8月25日(土)		7
		《ギャラリートーク》コレクション展Ⅲ 新収蔵品展Ⅲ 版画・彫刻・工芸	博物館展示室	9月 1日(土)		7
		《2週連続スペシャルアートシアター》謎の天才画家ヒエロニムス・ボス	博物館講堂	9月 8日(土)	250	30
		《2週連続スペシャルアートシアター》謎の天才画家ヒエロニムス・ボス	博物館講堂	9月15日(土)	250	53
		テーマ展示2「生誕100年 山本兼文展」関連企画 彫刻家と巡る鳥取市内野外彫刻散策会～山本兼文の作品を中心に～	鳥取市内	9月22日(土)	10	15
		《アートの種まきプロジェクト》オープンミーティング「鳥取県立美術館ができるまで」を、伝える、新たなメディアを考える。	倉吉市 上灘公民館	9月29日(土)	20	28
		《ギャラリートーク》はじめての“とうれい”—大人編—	博物館展示室	10月 6日(土)		42
		《講演会》特別講演会Ⅰ「稲嶺のいた京都」	博物館講堂	10月13日(土)	250	54
		《講演会》特別講演会Ⅱ「南蘋派から見た土方稲嶺」	博物館講堂	10月20日(土)	250	51
		《スペシャルギャラリートーク》稲嶺の魅力を語る	博物館講堂	10月27日(土)		62
		《ギャラリートーク》はじめての“とうれい”—こども編—	博物館展示室	11月 3日(土)		12
		《体験型ミニレクチャー》掛軸を巻いてみよう!	博物館会議室	11月10日(土)	10	14
		《大人向けワークショップ》結ぶ—水引アート de 和の心	博物館会議室	11月17日(土)	15	13

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	美術部門	《トークセッション》企画展「ミュージアムとの創造的対話 02 空間／経験」出品作家たちによる Opening Special Talk	博物館講堂	11月23日(金)	250	42
		《ワークショップ》企画展関連 Workshop 田口行弘「Particles' moment」	博物館展示室	11月24日(土)		18
		《ギャラリートーク》テーマ展「生誕百年 山本兼文展」スペシャルギャラリートーク「山本兼文を語る」	博物館展示室	11月24日(土)		32
		企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	博物館前庭	11月24日(土)		32
		企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	岩戸海岸海水浴場	11月25日(日)		26
		《トークセッション》企画展関連 Open Dialogue 01 学芸員との創造的対話 #01	博物館展示室	12月 1日(土)		10
		企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	憩いの道(米子市立図書館裏広場)	12月 8日(土)		38
		企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	東郷湖畔公園(湯梨浜町旭)	12月 9日(日)		65
		《トークセッション》企画展関連 Open Dialogue 01 学芸員との創造的対話 #02	博物館展示室	12月15日(土)		5
		弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月22日(土)		12
		《トークセッション》企画展関連 Open Dialogue 02 梅田哲也×学芸員たち	博物館内	12月22日(土)		22
		《トークセッション》企画展関連 Open Dialogue03 小山田徹×酒井雅代「観る快楽 愛の視線としての実測図」	博物館展示室	12月23日(日)		46
		企画展関連 Performance 梅田哲也	博物館	12月23日(日)		58
		弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月23日(日)		16
		企画展関連 Event 小山田徹「小さな火床」に集う	大御堂廃寺跡(倉吉市駄経寺町)	12月24日(月)		46
		弥生人の脳を見に行くツアー	博物館地下バックヤード	12月24日(月)		28
		《ワークショップ》ジュニア県展 連携ワークショップ お気に入りの1点を見つけよう!	博物館エントランスホール・立体展示スペース	1月12日(土)～14日(月) 1月19日(土)・20日(日)		225
		《スペシャルアートシアター》ゴッホ～最期の手紙～	博物館講堂	1月19日(土)	250	101
		《ギャラリートーク》コレクション展Ⅴ―鳥取の仏教美術を中心に	博物館展示室	1月26日(土)		5

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	期 日	定員	参加人数
普及講座	美術部門	《2週連続スペシャルアートシアター》デヴィット・リンチ：アートライフ	博物館講堂	2月 2日(土)	250	30
		《2週連続スペシャルアートシアター》デヴィット・リンチ：アートライフ	博物館講堂	2月 9日(土)	250	31
		《ギャラリートーク》企画展『Our Collections!』学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	2月16日(土)		50
		《トークセッション》企画展「Our Collections!」クロストーク 「これからの美術館は何をコレクションするのか？」	博物館講堂	2月23日(土)	250	30
		《ギャラリートーク》企画展「Our Collections!」学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	3月 2日(土)		22
		《トークセッション》企画展「Our Collections!」スペシャルトークセッション 「地方都市と現代美術」	博物館講堂	3月 9日(土)	250	32
		《ワークショップつくり隊!によるワークショップ》てづくり水引でお祝い	博物館会議室	3月16日(土)		24
		《アートシアター》プライスコレクション DVD 若冲と江戸絵画	博物館講堂	3月23日(土)	250	15
		《アートの種まきプロジェクト》(＝新しい美術館のためのワークショッププログラム) 「美術館ができるまで」を伝えるためのフリーペーパーをつくる。 —記事作成のためのミーティング	倉吉未来中心セミナールーム7	3月30日(土)	20	16
総計						8,787

5 博物館交流事業

〈中国河北省博物館との交流〉

平成 10 年 6 月に友好交流館として協定書を締結して以来、研修等の人的交流、企画展の開催などの友好交流を推進し、鳥取県と河北省の国際交流の一端を担っている。

平成 30 年度は、河北省博物館からの訪問を受け入れることとしていたが、先方の都合のため訪日はキャンセルとなった。

平成 30 年度は、7 月に当館職員 3 名が訪問し、平成 30 年 11 月～12 月に開催する交流 20 周年記念展の開催に関する協議等を行った。

また、交流 20 周年を記念し、河北博物院所蔵の「武強年画^{ぶきょうねんが}」、「蔚県^{いけん}の剪紙^{せんし}」、「唐山皮影芝居^{とうざんかげえしばい}」を当館で展示した。平成 31 年度には当館所蔵の民芸品（因州和紙）を河北博物院で展示する予定。

〈中国河北省博物院訪問団訪問の概要〉

(1) 日 程 平成 30 年 7 月 8 日（日）～7 月 12 日（木）

(2) 訪問団

職 名	氏 名
館 長	田中 規靖
副 館 長	上山 憲二
主 任 学 芸 員	大嶋 陽一

(3) 内 容

月 日	内 容
7 月 8 日（日）	・北京着、石家荘へ移動
7 月 9 日（月）	・石家庄市美術館視察 ・河北省博物院との交流協議 ・蔚県へ移動
7 月 10 日（火）	・鳥取県立博物館、河北博物院共催の社会公開講座・ワークショップで日本の正月行事、正月の遊びを紹介したほか小豆雑煮を振る舞った。 ・蔚県史跡視察（南安寺塔など）
7 月 11 日（水）	・首都博物館視察 ・故宮博物院視察
7 月 12 日（木）	・北京発

〈中国河北省博物院との交流 20 周年記念展の概要〉

- ・展覧会名 鳥取県立博物館・河北博物院交流 20 周年記念展
「中国河北省の伝統工芸^{せんし} 剪紙・年画^{かわかげ}・皮影芝居」
- ・会 期 平成 30 年 11 月 23 日（金・祝）～12 月 24 日（月・振休）
- ・会 場 鳥取県立博物館 第 3 特別展示室
- ・展示内容

(1)河北省の伝統工芸品

①武強年画：年画とは春節に家の門扉や窓などに貼る吉祥^{きつしやう}をあらわす刷物。
河北省武強県^{ぶきやう}がその産地のひとつ。

②蔚県の剪紙：河北省蔚県で行われる切紙細工。

③唐山皮影芝居：河北省唐山市で行われるロバ皮の人形を使った伝統的な紙芝居。

(2)唐山皮影芝居の映像展示（大スクリーンに投影）

(3)体験（武強年画体験＋切り絵体験。常時開催）

・関連イベント

開会式、切り絵ワークショップ、倉吉切り絵サークルとの交流会

〈韓国国立春川博物館との交流〉

平成14年度の春川博物館開館を契機に両館の相互訪問が始まり、平成16年度に交流内容について基本合意に至ったが、その後の政治情勢の影響で交流が中断した。

平成20年3月に春川博物館から交流再開についての具体的な提案を受け、同年5月に、平成16年の基本合意の内容で交流を進めたい旨回答したところ、平成21年9月に春川博物館から訪問団が来館され、再び交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年12月に春川博物館から訪問団を受け入れた際に交流協定を締結した。

平成30年度は、6月に春川博物館からの訪問を受け入れ、美術分野等の交流に関する協議を行った。

〈韓国国立春川博物館訪問団来県概要〉

(1) 日 程 平成30年6月6日（水）～6月8日（金）

(2) 訪問団

職 名	氏 名
学 芸 研 究 室 長	金 東宇（キム ドンウ）
学 芸 研 究 士	李惠敬（イ ヘギョン）

(3) 内 容

月 日	内 容
6月6日（水）	・来県
6月7日（木）	・博物館において交流協議 ・博物館の企画展（大大山展）及び常設展を観覧 ・県内文化施設等見学（鳥取市歴史博物館、水木しげる記念館、妖怪ロード）
6月8日（金）	・離県

〈ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流〉

平成21年9月、知事の「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」での訪露の際、ロシア側の提案を受け、交流に向けて情報交換等を進めることとなった。11月にはアルセーニエフ博物館職員等の訪問を受け、交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年9月には当館職員がアルセーニエフ博物館を訪問し、友好交流及び協力に関する協定を締結した。

平成30年度は、11月に当館職員3名が訪問し、教育普及分野等の交流に関する協議を行った。

〈ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館訪問団訪問概要〉

(1) 日 程 平成30年11月1日（木）～11月5日（月）

(2) 訪問団

職 名	氏 名
館 長	田中 規靖
主 幹 学 芸 員	清末 幸久
主 任 学 芸 員	一澤 圭

(3) 内 容

月 日	内 容
11 月 1 日 (木)	・ ウラジオストック着
11 月 2 日 (金)	・ アルセーニエフ博物館本館の視察 ・ アルセーニエフ博物館代表者との協議 ・ ウラジオストック市博物館等視察
11 月 3 日 (土)	・ ウラジオストック市内視察 ・ 沿海地方水族館視察
11 月 4 日 (日)	・ 沿海地方における 20 世紀の技術博物館視察 ・ ヴォロシロフ要塞等視察
11 月 5 日 (月)	・ ウラジオストック発

6 ボランティア活動

●広報ボランティア「ポスター貼ります隊」

当博物館の展覧会のPRのため、ポスターを店舗、事務所、自宅などの壁面や窓等に掲出。

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日（随時受付）

登録者数：241人（276か所）

（平成31年3月31日現在）

地 区	人 数	内 訳
県 東 部	156人	鳥取市：135 岩美郡：3 八頭郡：18（若桜・智頭・八頭）
県 中 部	78人	倉吉市：18 東伯郡：60（三朝・湯梨浜・琴浦・北栄）
県 西 部	4人	米子市：4 境港市：0 西伯郡：0
県 外	3人	兵庫県：2 岡山県：1

●古文書解読ボランティア

博物館が所蔵する「鳥取藩政資料」のうち「町奉行御用日記」、「御目付日記」を解読。会員各自が各1か月分を分担、コピーを受取り、自宅で解読、パソコン入力を行う。

期 間：登録した日（申込みした日）～平成31年3月31日

登録者数：48人

例 会：毎月第1土曜日午前9時30分から正午まで、博物館 会議室

毎月第1日曜日午前10時から正午まで、倉吉歴史民俗資料館研修室

毎月第1日曜日午後2時30分から4時30分まで、米子市旧庁舎 会議室

内容はいずれも、「古文書解読基礎講座」と解読原稿の読み合わせ。

特記事項：倉吉博物館、米子市山陰歴史館との共催事業

例会開催日	参加者	古文書解読基礎講座内容
4月7日(土)・8日(日)	39名	第154回 鳥取藩の法令を読む
5月5日(土)・6日(日)	39名	第155回 「普請部屋日記」を読む 普請方の一年
6月2日(土)・3日(日)	30名	第156回 「家老日記」を読む 大山牛馬市の周辺
7月7日(土)・8日(日)	36名	第157回 山陰道鎮撫使
8月4日(土)・5日(日)	35名	第158回 安陪恭庵と『因幡志』
9月1日(土)・2日(日)	30名	第159回 鳥取藩と刀
10月6日(土)・7日(日) ※台風のため7日は中止	15名	第160回 展示解説「志士から初代県知事へ 河田左久馬とその時代」
11月3日(土)・4日(日)	34名	第161回 武鑑を読む
12月1日(土)・2日(日)	34名	第162回 河田県政と絵図
1月12日(土)・13日(日)	35名	第163回 家老の菩提寺
2月2日(土)・3日(日)	34名	第164回 雪と生きる～史料からみた鳥取藩の雪害～
3月2日(土)・3日(日)	32名	第165回 黄檗と鳥取藩

※回数は博物館での開催数

7 県民との連携・地域への貢献

(1) 協力等対象団体の承認

平成 30 年度の新規団体の承認なし。

(2) 協力等の実績

ア 鳥取民俗懇話会

(ア) 総会・講演会

月 日 平成 30 年 4 月 7 日（土）

会 場 さざんか会館 アクティブ鳥取

概 要 総会では事務局から平成 29 年度の事業報告・会計報告の後、承認された。

また、平成 30 年度の事業計画と予算を提案し承認された。

この後、公開講座「新規の鳥取県指定無形民俗文化財について」（講師原島知子氏）を聴講。

(イ) 見学会

月 日 平成 30 年 5 月 19・20 日（土・日）

会 場 鳥取市

概 要 鳥取県指定無形民俗文化財「聖神社の御幸行列」を会員有志が見学。

(ウ) 月例会

6 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 6 月 3 日（日） 鳥取県立博物館 特別展示室、会議室 企画展「大いなる神仏の山 大山」見学、担当学芸員による民俗講座「大山と地藏菩薩」を聴講
7 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 7 月 1 日（日） さざんか会館 ボランティア室 岩谷東亜会員による「国府町における渡来人と神社」の発表を聴講
8 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 8 月 4 日（土） サルーテ（鳥取ガスグループショールーム） とっとり・民話を語る会主催「ふるさと民話の集い—大山開山 1300 年—大山周辺の伝説」に参加（後援）
9 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 9 月 2 日（日） さざんか会館 ボランティア室 田中靖夫氏（外部講師）による「時代とともに変遷する佐治町の獅子舞」の発表を聴講
10 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 10 月 7 日（日） さざんか会館 アクティブ 橋谷田岩男会員による「鳥取漆器について」の発表を聴講
11 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 11 月 4・5 日（土・日） 鳥取県立図書館研修室、国府町内 「国府町歴史遺産再発見」を企画（公開講座：4 日、見学会：5 日）
12 月	月 日 会 場 概 要	平成 30 年 12 月 2 日（日） さざんか会館 アクティブ 樫村賢二会員による「鳥取県の有形民俗資料と文化財化について」の発表を聴講
2 月	月 日 会 場 概 要	平成 31 年 2 月 3 日（日） 鳥取市歴史博物館 企画展「用瀬—MOCHIGASE—」を見学
3 月	月 日 会 場 概 要	平成 31 年 3 月 3 日（日） さざんか会館 アクティブ 巽新会員による「国府町の地名・社寺等から学ぶ」の発表を聴講

イ ホスピテイル・プロジェクト実行委員会

ア) アーティスト・イン・レジデンスプログラム

①アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2018 | 山下残

月 日 滞在制作／平成 30 年 8 月 10 日（金）～9 月 23 日（日）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 アーティスト／山下残。振付家・演出家の山下残を招聘し、マレーシア出身のファミリー・ファジールの選挙活動取材した素材をもとに、鳥取県内在住の専門家、アーティスト、市民等と対話をしながら様々な角度から創作活動にあたった。

関連事業

アーティストトークのほか、「GE14」の題材であるマレーシア第 14 回総選挙について、作品制作のためにリサーチを行なったマレーシアの選挙運動に関する映像や写真資料、山下本人による日記やメモなどの記録を公開、ゲストとの対話を通して思索を試みるパブリック・プログラムを全 9 回実施した。

(1)山下残アーティストトーク＋「G14」についての説明会 ・月日：2018 年 8 月 11 日（土） ・会場：ことめやプロジェクト・スペース
(2)パブリックプログラム 01 山下 残 × 渡邊 太（社会学） ・月日：2018 年 8 月 12 日（日） ・会場：旧横田医院
(3)パブリックプログラム 02 山下 残 × 家中 茂（環境社会学） ・月日：2018 年 8 月 13 日（月） ・会場：ことめやプロジェクト・スペース
(4)パブリックプログラム 03 山下 残 × 竹内 潔（文化政策） ・月日：2018 年 8 月 23 日（木） ・会場：トウフビル 3F バースペース
(5)パブリックプログラム 04 山下 残 × 渋谷 橙（詩人／俳優） ・月日：2018 年 8 月 26 日（日） ・会場：旧横田医院
(6)パブリックプログラム 05 山下 残 × 福住英行（日本共産党鳥取県常任委員） ・月日：2018 年 8 月 29 日（水） ・会場：トウフビル 3F バースペース
(7)パブリックプログラム 06 山下 残 × 中森圭二郎（映画監督） ・月日：2018 年 9 月 1 日（土） ・会場：旧横田医院
(8)パブリックプログラム 07 山下 残 × 木野彩子（ダンサー／振付家） ・月日：2018 年 9 月 2 日（日） ・会場：旧横田医院
(9)パブリックプログラム 08 山下 残 × 藤原勇輝（彫刻家） ・月日：2018 年 9 月 5 日（水） ・会場：旧横田医院
(10)パブリックプログラム 09 山下 残 × 野田邦弘（文化政策） ・月日：2018 年 9 月 8 日（土） ・会場：旧横田医院

②アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2018-2019 | mamoru

月 日 平成 30 年 12 月 17 日（月）～25 日（木）

平成 31 年 2 月 24 日（日）～27 日（水）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 サウンド・アーティストであり、アーティスティックリサーチの第一人者である mamoru を招聘し、鳥取県内で新しい知の生産方法についての先行研究のリサーチや、専門家へのインタビューを行った。

③アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2019 | 地主麻衣子

月 日 滞在制作／平成 31 年 3 月 7 日（木）～14 日（木）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 現代美術作家・地主麻衣子が鳥取砂丘をはじめ県内各地で新作制作（映画）のためのロケハン、移住者コミュニティへのインタビュー及び移住者によるイベントに参

加し、鳥取地域の状況や、移住先での暮らしの様子を観察、調査した。

関連事業

(1)アーティストトーク

・月日：平成31年3月8日（金） ・会場：旧横田医院（鳥取市栄町403）

・概要：これまでに制作した映像作品を上映し、制作プロセスを解説。

鳥取での制作予定の新作映画の構想についても話し、来場者と意見交換を行った。

(イ) ギャラリープログラム

①山下残 成果発表公演「GE14」

月 日 平成30年9月16日（日）、17日（月）、21日（金）、22日（土）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町403）

概 要 振付家・演出家の山下残による滞在制作の成果発表公演を開催。

(ウ) コミュニティガーデンプロジェクト

①ボランティアによるにわづくり「niwacoの庭づくり」

月 日 平成30年8月26日（日）、9月16日（日）、10月28日（日）、11月25日（日）、
平成31年3月2日（土）

会 場 旧横田医院 庭（鳥取市栄町403）

概 要 旧横田医院の庭づくり及び庭をテーマにしたワークショップを実施。

②ワークショップ「庭木で草木染めしてみる」

月 日 平成31年3月17日（日）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町403）

概 要 講師／三谷さやか

剪定した庭木をつかって布を染めるワークショップを実施した。

(エ) はじめてのアートプロジェクト・トークシリーズ

①「Art for a life worth living_ 価値ある生活のためのアート」

月 日 平成30年4月16日（月）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町403）

概 要 講師／アイセア・バルセニエラ（キュレーター）

フェミニスト経済学と地域におけるアートプロジェクト等の活動の共通点から、日本での調査活動のレポートとそこから見えてくるアートやキュレーションの可能性についてのトークを行なった。

②「アートが、どんな大人を作るか—そのための終わらない試行錯誤を続ける美術館」

月 日 平成30年8月20日（月）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町403）

概 要 講師／山本高之（アーティスト）

アーティストの視点から見た美術館の教育普及活動の現場について、日本やアメリカでの教育普及活動の経験やリサーチの様子を交えながらトークを実施した。

③「アーツカウンスル：アームズ・レングスの現実を超えて」

月 日 平成30年9月26日（木）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町403）

概 要 講師／太下義之（三菱UFJ リサーチ & コンサルティング芸術・文化政策センター長／主席研究員）

アーツカウンスル発祥地である英国の組織・活動概要を踏まえつつ、公共文化施設

の議会と行政の関係性、大学における自治と自立等において「アームズ・レングスの原則」がどのように機能しているかについてのトークを実施。芸術と行政の望ましい関係性について意見交換を行なった。

④「アートコミュニティの育て方？外側からの視線のはたらき」

月 日 平成 30 年 12 月 14 日（金）

会 場 旧横田医院

概 要 講師／下田展久（C.A.P.（芸術と計画会議）理事長）

C.A.P の実施してきた海外のアートコミュニティとの交流事業活動について、近年実施されたメキシコとの交流事業を中心に、活動が地域のアートコミュニティにどのように作用するかについてお話を伺った。

⑤スペシャルトーク「アーティストインレジデンスの実践」

月 日 平成 31 年 1 月 20 日（日）

会 場 旧横田医院

概 要 講師／小田井真美（さっぽろ天神山アートスタジオディレクター）、横内賢太郎（アーティスト）

さっぽろ天神山アートスタジオ（札幌）Artist Support Project（ジョグジャカルタ）、HOSPITALE（鳥取）の各ディレクターがそれぞれの土地で展開するレジデンスプログラムやプロジェクトについて事例紹介し、意見交換を行った。トーク終了後は参加者とともに「新しいアーティストインレジデンスを考える」ワークショップを実施。グループワークでディスカッションした後、出てきたアイデアを発表し、各自が意見感想を交換した。

⑥「表現を考える：人物が描かれるとき、語られるとき」

月 日 平成 31 年 2 月 21 日（木）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 講師／かないみき（アートジャーナリスト）

昨今欧米で議論を巻き起こした「人物」の表現について、観客のリアクションやアーティストたちの攻防、メディアでの論争などを振り返りながら、人種やジェンダー、階級にまつわる問題についてのトークを行った。

（オ）すみおれアーカイヴス | すみおれ図書室

①すみおれ図書室開室日

月 日 平成 30 年 4 月 29 日（日）、5 月 20 日（日）、7 月 29 日（日）、8 月 26 日（日）、9 月 16 日（日）、10 月 28 日（日）、11 月 25 日（日）、12 月 16 日（日）、
平成 31 年 1 月 26 日（日）、2 月 23 日（土）、3 月 17 日（日）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 地域の方々から寄贈された本による図書室の運営と本を通じた交流プログラムを実施。

②出張図書室@川端にぎわい市

月 日 平成 30 年 4 月 29 日（日）、11 月 3 日（金・祝）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 地域の方々から寄贈された本による図書室の運営と本を通じた交流プログラムを実施。

(カ) すみおれアーカイヴス | 8mm フィルムアーカイヴプロジェクト

① 8mm フィルム保存と活用プロジェクト in 大山

月 日 平成 30 年 6 月～8 月

場 所 西伯郡大山町内、米子市内

概 要 映像人類学者の松本篤とともに 8mm フィルムの保管状況を大山町内及び近郊で調査、情報収集した。

②出張フィルム上映会

月 日 平成 30 年 9 月 1 日（土）～4 日（火）

会 場 西伯郡大山町内、米子市内、鳥取市内

概 要 8mm フィルムの所有者のもとへ出張し、フィルム上映会を開催。
一部をデジタルデータとして保存した。

③ 8ミリフィルム映像ミニ展示

月 日 平成 30 年 9 月 1 日（土）～29 日（土）※休館日：9 月 13 日（木）

会 場 鳥取県立図書館 一階 一般図書室階段下 展示コーナー（鳥取市尚徳町 101）

概 要 鳥取県立図書館の協力のもと、鳥取県東部地区で集まった 8mm フィルム映像の中から、昭和 50 年代から平成初期の映像をモニター上映した。

④「発掘！家庭に眠っていた 8ミリフィルム公開鑑賞会 in 大山」

月 日 平成 30 年 11 月 7 日（水）

会 場 大山ガガガ学校（旧長田分校）

概 要 大山町周辺で集まった 8mm フィルム約 60 本の中から、会場近隣の風景の映像を選び、公開鑑賞会を開催。

⑤「8ミリフィルム映像蔵出し展@鳥取県立図書館」

会 期 平成 30 年 11 月 9 日（金）～29 日（木）

会 場 鳥取県立図書館 1F 展示コーナー・2F 郷土資料室

概 要 過去 3 年間でデジタル化した 29 本の映像のうち 12 本を図書館内に設置した複数台のモニターで上映展示した。

⑥「発掘！家庭に眠っていた 8ミリフィルム公開鑑賞会 in 米子」

月 日 平成 30 年 12 月 1 日（土）

会 場 米子市立図書館 2F

概 要 今年度大山町・米子市周辺で集めた 8mm フィルムの中から、米子高島屋、がいな祭り、神田神社など市民に馴染みのあるまちなかの風景を中心にデジタル化した映像を公開上映した。

⑦「8mm フィルム公開鑑賞会@鳥取県立図書館」

月 日 平成 30 年 12 月 2 日（日）

会 場 鳥取県立図書館 1F 展示コーナー・2F 郷土資料室

概 要 これまでにデジタル化した 29 本の映像のうち 12 本を厳選し、図書館内のあちこちにモニターを設置して上映した。

⑧「鳥取の 8ミリフィルムで即興作曲 & 演劇 試演会」

月 日 平成 31 年 2 月 23 日（土）

会 場 旧横田医院（鳥取市栄町 403）

概 要 デジタル化した 8ミリフィルムを上映しながら、パフォーマンスユニット「門限ズ」が即興で作曲、演劇をすることを試みた。

(キ) 知るのつくりかた

月 日 平成 31 年 2 月 24 日 (日)

会 場 旧横田医院 (鳥取市栄町 403)

概 要 出席者／mamoru (サウンド・アーティスト)、榊原充大 (建築家・リサーチャー)
「コレクティブな知」をテーマにそれぞれがこれまで携わったプロジェクトについて
プレゼンテーションを行なった。その後アーカイヴの方法や、チーム内での共有の
仕方、「コレクティブ」の意義など、キーワードを軸に議論を深めた。

ウ いわみガイドクラブ

(ア) オカヒジキもどってこいこいプロジェクト (現地下見)

月 日 平成 30 年 6 月 1 日 (金)

会 場 岩美町熊井浜

概 要 在来種のおかひじきと生育場所が競合する外来種のおにハマダイコンを抜き取り、
おかひじきを呼び戻す環境保全プロジェクトの現地下見

(イ) オカヒジキもどってこいこいプロジェクト

月 日 平成 30 年 6 月 3 日 (日)

会 場 岩美町熊井浜

概 要 在来種のおかひじきと生育場所が競合する外来種のおにハマダイコンを抜き取り、
おかひじきを呼び戻す環境保全プロジェクトを実施。

共 催 くまの自然を守る会、環境省近畿地方事務所浦富自然保護官事務所

エ 自然観察指導員鳥取連絡会

(ア) 自然観察会

第 1 回	月 日 平成 30 年 4 月 30 日 (月・祝) 会 場 米子市湊山公園 概 要 自然観察最初の一步 鳥取県立博物館・米子市教育委員会と共催
第 2 回	月 日 平成 30 年 5 月 26 日 (土) 会 場 鳥取市福部町箭浜～摩尼山～鳥取市覚寺 概 要 摩尼山道をたどる観察会
第 3 回	月 日 平成 30 年 6 月 16 日 (土) 会 場 米子市湊山公園 概 要 定点観察会
第 4 回	月 日 平成 30 年 9 月 2 日 (日) 会 場 鳥取城跡・鳥取県立博物館 概 要 やってみようプロと一緒にアリ調べ NACS-J 自然環境調査「アリ調べ」に参加
第 5 回	月 日 平成 30 年 9 月 15 日 (土) 会 場 米子湊山公園 概 要 定点観察会
第 6 回	月 日 平成 30 年 9 月 29 日 (金) 会 場 大山町大山寺地区 概 要 台風 24 号の接近を受けて講習会は中止。講師とスタッフで実施
第 7 回	月 日 平成 30 年 10 月 14 日 (日) 会 場 三朝町三徳山・三佛寺投入堂 概 要 新ルートで三徳山に登ろう (交流会の下見を兼ねる)

第8回	月 日	平成30年12月8日（土）
	会 場	米子湊山公園
	概 要	定点観察会
第9回	月 日	平成31年1月19日（土）
	会 場	若桜町つく米「響の森」周辺
	概 要	スノーシューによる雪上観察会（動物の足跡、樹木の冬芽）
第10回	月 日	平成31年2月23日（土）
	会 場	米子湊山公園
	概 要	定点観察会
第11回	月 日	平成31年3月23日（土）
	会 場	湯梨浜町八橋城跡
	概 要	さくら咲くかな観察会

(イ) 環境保全活動

月 日 平成30年6月3日（土）
 会 場 岩美町熊井浜
 概 要 オカヒジキもどってこいこいプロジェクト
 いわみガイドクラブ、くまやの自然を守る会、
 環境省近畿地方環境事務所浦富自然保護官事務所と共催

(ウ) 島根・鳥取自然観察指導員交流会

月 日 平成30年11月10日（土）～11日（日）
 会 場 倉吉市打吹山・三朝町三徳山
 概 要 倉吉市のシンボル打吹山と復興なった三徳山に登ろう

(エ) 中国地区自然観察指導員交流会

月 日 平成30年10月27日（土）～28日（日）
 会 場 岡山県蒜山高原・毛無山
 概 要 地域植生から見る人間活動の歴史 火入れ・放牧

(オ) 著作（短報）

タイトル 市民参加調査による鳥取県の海浜植物10年比較
 ー自然観察指導員鳥取連絡会と鳥取県立博物館の連携事例
 書 籍 植生情報第22号
 特 集 植生学と博物館～植生・植生学を「調べる」「伝える」「残す」 pp.12-17

(カ) 総 会

月 日 平成30年12月8日（土）
 会 場 米子市公会堂会議室
 概 要 会計報告、行事予定等

オ 鳥取地域史研究会

(ア) 研究報告書等の編集・発行

鳥取地域史研究第21号発行 2018年2月発行

(イ) 記念講演会

日 時 平成31年2月24日（日）
 会 場 鳥取県立博物館
 講 師 伊藤大貴氏（鳥根県教育庁世界遺産室）
 演 題 「室町期の因幡伯耆と山名氏」

(ウ) 月例会

6 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 6 月 9 日 (土) 鳥取県立博物館 佐々木孝文氏 「野の思想運動神代復古運動／安徳天皇陵承認運動」
7 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 7 月 14 日 (土) 鳥取県立博物館 西村芳将氏 「第一次県史編さん事業と公文書館」
8 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 8 月 11 日 (土) 鳥取県立博物館 須賀博樹氏 「因州鳥取藩財政と海岸警衛御用—安政 4 年の藩債整理を中心に—」
9 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 9 月 8 日 (土) 米子市立図書館 大嶋陽一氏 ※伯耆文化研究会との合同研究会 「江戸時代西伯耆の黄檗寺院」
10 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 10 月 13 日 (土) 鳥取県立博物館 八峠興氏 「鳥取城周辺から出土した江戸後期の「やきもの」考」
11 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 11 月 10 日 (日) 鳥取県立博物館 山本隆一朗氏 「因幡三上氏の岩井庄支配と山名氏」
12 月	日 会 報	時 場 告	平成 30 年 12 月 8 日 (土) 鳥取県立博物館 米谷均氏 「近世梵鐘銘から中世因幡の歴史を探る」
1 月	日 会 報	時 場 告	平成 31 年 1 月 19 日 (土) 鳥取県立博物館 小山富実男氏 「明治 42 年の韋駄天たち」
3 月	日 会 報	時 場 告	平成 31 年 3 月 9 日 (土) 鳥取県立博物館 坂本敬司氏 「鳥取藩寺社方日記について」

カ 鳥取県生物学会

(ア) 会誌の編集・発行

『山陰自然史研究』15 号の発行

(イ) 平成 30 年度《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 大山

月 日 平成 30 年 5 月 12 日 (土)

会 場 大山寺周辺 (西伯郡大山町)

概 要 参加者 45 名。一般参加者と鳥取県生物学会の会員が一緒に行う観察会。希少な動植物であるギフチョウの卵、ダイセンキスミレ、ダイセンクワガタ、ギンランなどをみることができ、現在の大山の自然環境を体験した。

(ウ) 平成 30 年度東部地区生物観察会

月 日 平成 30 年 10 月 27 日 (土)

会 場 氷ノ山周辺（若桜町）

概 要 参加者 16 名。氷ノ山自然観察コースと若桜弁財天において生物観察を行った。

(エ) **平成 30 年度研究発表会・講演会**

月 日 平成 30 年 12 月 1 日（土）

会 場 鳥取県立博物館 講堂

概 要 一般講演 10 題

公開シンポジウム『昆虫たちの現状から考える鳥取県の自然』

パネリスト：田村昭夫「鳥取県で新たにみつかった昆虫たち」

鶴 智之「新参者がみた鳥取の甲虫～カミキリムシからハナノミまで、
いろいろな甲虫をご紹介～」

福田侑記「鳥取のハンミョウ」

モデレーター：川上 靖

コメンテーター：鶴崎展巨

キ 鳥取地学会

(ア) **研究報告書等の編集・発行**

鳥取地学会誌第 22 号発行 2018 年 6 月発行

(イ) **第 40 回 現地研修会**

月 日 平成 30 年 5 月 26 日（土）

会 場 鳥取市百谷

概 要 「集めよう鉱物！一百谷鉱山跡一」（鳥取県立博物館と共催）

(ウ) **第 23 回総会**

月 日 平成 30 年 6 月 2 日（土）

会 場 鳥取県立博物館 2 階講堂

概 要 ・2017 年度事業および会計報告・会計監査報告・会計決算承認
・2018 年度事業案および予算案について
・2018 年度事業案および予算案承認
・役員改選

(エ) **記念講演会（一般公開・聴講無料）**

月 日 平成 30 年 6 月 2 日（土）

会 場 鳥取県立博物館 2 階講堂

概 要 講師：乙藤洋一郎氏

（NPO 法人 地球年代学ネットワーク（jGnet）地球史研究所 所長）

演 題 「大陸が裂ける現象を日本列島と日本海に見る」

(オ) **研究発表会（一般公開・聴講無料）**

月 日 平成 30 年 6 月 2 日（土）

会 場 鳥取県立博物館 2 階講堂

概 要 鳥取県の地形・地質に係る研究発表 12 件（展示 1 件、ポスター発表 4 件、口頭
発表 7 件）

(カ) **第 41 回現地研修会**

月 日 平成 30 年 10 月 21 日（日）

会 場 日野郡江府町周辺

概 要 「大山火砕流地形」

(キ) 年末講演会

月 日 平成 30 年 12 月 15 日（土）

会 場 とりぎん文化会館 2 階第二会議室

概 要 講師：林昭次氏（岡山理科大学）

演題 「最新 恐竜学」

ク 鳥取歴史振興会

(ア) 薩長因備シンポジウム「明治維新大激論」の開催

NHK 大河ドラマ西郷どん時代考証の原口泉氏の基調講演。原口氏、西郷隆盛のひ孫西郷隆夫氏などによるパネルディスカッションを行い、明治維新が薩長因備の力でなされたことを宣言し全国にアピールした。

日 時 平成 30 年 4 月 8 日（日）13～16 時

場 所 鳥取県立博物館講堂 参加者：鳥取県民 300 人

取材社 新日本海新聞、朝日新聞

(イ) 鳥取藩と京都山国隊「絆」フォーラムの開催

山国隊の活躍を映画化した映画「維新の魁エピソード 10 戊辰の魁～鳥取藩十三番隊山国隊～」を上映して、山国隊と鳥取藩の歴史を再認識するとともに、山国軍楽隊会員の方を交えたパネルディスカッションで鳥取・京都山国の 150 年来の絆を再確認。未来につなげるフォーラムで今後の友好交流を話しあった。

日 時 平成 30 年 9 月 29 日（土）13～16 時

場 所 鳥取県立博物館講堂 参加者：50 人（台風の影響あり）

取材社 日本海新聞

(ウ) 鳥取幕末維新映画祭を開催

鳥取藩が関わった「桜田門外ノ変」、鳥取藩の幕末維新史を映画化した「維新の魁～鳥取藩飛翔～エピソード 10 戊辰の魁～鳥取藩十三番隊山国隊～」の 2 本を一挙上映。監督、制作者によるトークを交えて幕末史を映像で勉強すると共に「歴史映画制作で地域活性化」をテーマに対談を行った。

日 時 平成 30 年 12 月 23 日（日）9～16 時

場 所 鳥取県立博物館講堂 参加者：県民 70 人

8 その他の事業

(1) 資料の貸出

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
自然	動物資料	14	剥製	H30. 4. 1 ～ H31. 3.31	氷ノ山自然ふれあい館 “ 響の森 ”	常設展示
	自然資料	88	化石 剥製 レプリカ 樹脂封入	H30. 4. 1 ～ H31. 3.31	山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館	常設展示
	化石資料	7	化石	H30. 6.26 ～ R 1. 6.25	鳥取環境大学 徳田研究室	調査研究
	動物標本	3	骨格標本 剥製	H30. 7. 3 ～ H30. 7.20	倉吉市立河北中学校	理科授業（2年）の教材
	地学資料	42	剥製	H30. 7.25 ～ H30. 9.14	鳥取県立図書館	特別資料展「魅力発見！山陰海岸ジオパーク ―日本海の形成とめぐみ―」での展示
	ダイオウイカ資料	4	プラスチック ーション標本 レプリカ	H30. 7.27 ～ H30. 8. 6	倉吉病院	病院納涼祭での「ミニ博物館」における展示
	ヒラメ剥製・オシドリ剥製	2	剥製	H30. 8.21 ～ H30.10.14	鳥取県立倉吉西高等学校	図書館での「県の魚・鳥」の展示
	哺乳類剥製	5	剥製	H30. 9.19 ～ H30.12.15	氷ノ山自然ふれあい館 “ 響の森 ”	特別展「しってるようで知らないとなりのアナグマ展」での展示
	骨格標本	4	骨格標本	H30.10.31 ～ H30.11.21	北栄町立北条中学校	理科授業（2年）の教材
	化石資料	4	化石	H30.11.10 ～ R 1.11.10	鳥取環境大学 徳田研究室	調査研究
	キノコ資料	14	キノコ造形物	H31. 1. 8 ～ H31. 2.27	咲くやこの花館	「POP なきのこ展」での展示
	生物標本	11	植物種子乾燥 標本 植物レプリカ 動物剥製	H31. 2.20 ～ R 1. 6.30	鳥根県立三瓶自然館	企画展「旅するいのち」での展示
人文	碧玉製勾玉など	3 件 17 点		H30. 4. 1 ～ H31. 3.31	鳥根県立古代出雲歴史博物館	常設展示室で展示するため
	因幡国庁出土墨書土器（「厨」）など	43 点		H30. 4. 1 ～ H31. 3.31	因幡万葉歴史館	常設展示室で展示するため
	立川遺跡出土資料	13 点		H30. 4.12 ～ H30. 5.11	鳥取県立公文書館県史編さん室	鳥取県史編さん事業に係る資料調査のため

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
人 文	蹴鞠靴・鞠	2 件 3 点		H30. 5.20 ～ H30. 8.15	鳥取市歴史博物館	鳥取市歴史博物館展覧会「鳥取のスポーツ／スポーツを科学する」に出品するため
	第 52 回 議会 速記 録など	15 点		H30. 6.15 ～ H30. 7.24	佐々木千代子	「赤とんぼの母 碧川かたのかたの生涯」手づくり資料展で展示するため
	赤羽刀（銘 伯耆國 倉吉住廣賀） 赤羽刀（銘 伯耆國 住吉幸）	2 点		H30. 7. 4 ～ H30. 8.31	米子市美術館	伯耆国「大山開山 1300 年祭」特別企画 平成 30 年度 米子市美術館 特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」へ出品のため
	免震台	4 点		H30. 7.24 ～ H30. 8.31	米子市美術館	伯耆国「大山開山 1300 年祭」特別企画 平成 30 年度 米子市美術館 特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝～『大山』ゆかりの刀を中心に～」展示のため
	「鳥取藩県日記写」 など	8 件 11 点		H30. 8.10 ～ H30.10.25	鳥取県立公文書館	明治 150 年特別企画展「明治時代の鳥取—維新から大正改元までの記録—」で出陳及び広報等に使用するため
	池田恒利像 池田恒興像 池田輝政像	3 点		H30. 8.27 ～ H30.11.30	岐阜県博物館	岐阜県博物館特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家—大御乳・池田恒興・輝政の戦い—」での展示のため
	古郡家 1 号墳出土 短甲および同展示 台	2 点		H30. 9.14 H30.11.29	広島県立歴史民俗資 料館	特別企画展「霧に包まれた古墳の謎—大応の時代と三次盆地—」において展示するため
	癸丑墨夷入津図な ど	17 件 18 点		H30. 9.21 ～ H30.11.20	鳥取市歴史博物館	平成 30 年度特別展「明治維新 150 年記念 鳥取の明治維新」に出品するため
	米子城内膳丸之石 垣破損絵図	1 点		H30. 9.28 ～ H30.11.30	米子市立山陰歴史館	企画展「米子城～城の歴史とその調査研究史～」出品のため
	子持勾玉（鳥取県 東伯郡東郷町大字 高辻出土）	1 点		H30.10. 5 ～ H30.12.28	東京都江戸東京博物 館、古代歴史文化協 議会	企画展「玉 —古代を彩る至宝—」での展示・公開のため

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
人 文	複製絵巻『因幡堂縁起絵巻』	1 巻		H30.10.12 ～ H30.11.30	鳥取県立倉吉高等学校	2年生・3年生「日本史B」の授業で使用するため
	刀（銘 美濃守藤原朝臣寿格 寛政八年丙辰十一月於武州以伯州印賀銅鉄造之）	1 点		H30.10.28 ～ H30.12. 9	日南町美術館	特別展「大山開山 1300 年祭 名刀展～森井父子三人の仕事～」へ出陳のため
	瓦（大権寺）など	35 点		H30.11. 2 ～ H30.12.28	鳥取県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター常設展（秋の企画展）の展示に使用するため
	サイの神藁馬など	9 点		H30.11.28 ～ H31. 3.28	米子市立山陰歴史館	企画展「石に刻まれた祈り 2 館蔵品資料より一サイの神一」出品のため
	カラーポジフィルム（岐阜県延算寺蔵木造薬師如来立像）	1 点		H30.12.28 ～ H31. 1.31	龍谷大学 龍谷ミュージアム	企画展「因幡堂 平等寺」の図録へ掲載するため
	開地谷古墳群出土土師器・須恵器	12 点		H31. 1.18 ～ H31. 2.15	鳥取県立公文書館県史編さん室	鳥取県史編さん事業に係る資料調査のため
	浜坂 1 号横穴墓出土 須恵器杯等	23 点		H31. 2.19 ～ H31. 3.15	鳥取県立公文書館県史編さん室	鳥取県史編さん事業に係る資料調査（図化）を行うため
	浜坂 1 号横穴墓出土 須恵器杯等	23 点		H31. 3.16 ～ H31. 4. 5	鳥取県立公文書館県史編さん室	鳥取県史編さん事業に係る資料調査（図化）を行うため
美 術	浜坂 6 号横穴墓出土 土師器甕等	25 点		H31. 3.27 ～ R 1. 5.10	鳥取県立公文書館県史編さん室	鳥取県史編さん事業に係る資料調査（図化）を行うため
	黒田稻皐《遊鯉図》他	4	絹本着色	H30. 2.20 ～ H30. 5.25	府中市美術館	「リアル 最大の奇抜」展に出品のため
	土方稻嶺《糸瓜に猫図》他	10	絹本着色	H30. 3.20 ～ H30. 5.31	千葉市美術館	「百花繚乱列島 ―江戸諸国絵師めぐり」展に出品のため
	芦澤五兵衛《達磨香合》他	28	陶器 他	H30. 11.1 ～ H30.11.30	石谷家住宅 1 号蔵展示室	「石谷コレクション展・香の薫り展」に出品のため
	根本幽峨《内裏雛図》	1	絹本着色	H31. 2. 1 ～ H31. 3. 3	石谷家住宅 1 号蔵展示室	「石谷家のお雛さま展」に出品のため
	黒田稻皐「群鯉図」他	2	絹本着色 他	H31. 3. 1 ～ R 1. 5.12	岡山県立美術館	「江戸の奇跡・明治の輝き ―日本絵画の 200 年」に出品のため

9 学芸員の業績（平成30年度：2018年4月～2019年3月）

業績は、原則、以下の基準に従って分類・掲載した。記載事項については、すべて各学芸員個人の申告による。

■印刷物

【著書・論文】…専門的著書、学会誌やそれに準ずる出版物に公表された原著論文。

【報告書・図録等】…報告書や展覧会図録等において、本人が編集等の中心的役割を担当したもの。

【短報・目録・その他】…上記に該当しない著書、短報、研究ノート、目録等。

【普及的著作】…新聞掲載コラム等、普及的著作物。

※掲載紙（紙）名は、斜体で掲載。

■研究発表：学会・研究会における口頭発表、ポスター発表及びそれに準ずるもの。

■博物館事業・その他：

【展示】…展覧会等の開催において、本人が中心的役割を果たしたもの。

【普及的事業】…学芸員講座やその他の普及的活動で、本人が中心的役割を果たしたもの。

川上 靖 KAWAKAMI, Yasushi

博士（農学）

主幹学芸員

学芸課 自然担当 担当：動物

■印刷物

【普及的著作】

川上 靖（2018）鳥取県立博物館だより：大山で生物観察会。日本海新聞（鳥取），2018/4/26。

川上 靖（2018）鳥取県立博物館だより：辰巳峠の昆虫化石。日本海新聞（鳥取），2018/7/12。

川上 靖（2018）鳥取県立博物館だより：シンポ「昆虫たちの現状から考える鳥取県の実然」。日本海新聞（鳥取），2018/11/29。

川上 靖（2018）舞妓さんが絶滅する？ーマイコアカネ（舞妓茜）という赤とんぼの話ー。鳥取県立博物館ニュース，26：5。

川上 靖（2019）企画展 手塚治虫のメッセージ：人と動物、共に生きるために。鳥取県立博物館ニュース，27：3。

■博物館事業・その他

【普及的事業（講師担当のみ）】

2018年 5月12日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 大山。大山寺周辺（西伯郡大山町）。

2018年 6月 8日 《講師》鳥取県立青谷高等学校「青谷学」～日置川の谷の環境と生きもの～。鳥取県立青谷高等学校。場所：鳥取市青谷町和紙工房および清宗院周辺（鳥取市）。

2018年 7月28日 《野外観察会》昆虫観察入門～街灯に集まる虫たち～。鳥取県立博物館周辺。

2018年 8月 5日 《講師》野外観察イベント「トンボ取りレース」。とっとり出合いの森。場所：とっとり出合いの森（鳥取市）。

2018年 8月19日 《自然講座》標本を調べる会 [昆虫担当]。鳥取県立博物館会議室。

2018年12月 1日 《シンポジウム》昆虫たちの現状から考える鳥取県の実然 [コーディネーター担当]。鳥取県立博物館講堂。

【その他】

2018年（任期：2021年6月30日まで）希少野生動植物種保存推進員（環境省）。

2018年 鳥取県生物学会「山陰自然史研究」編集委員長。

2018年度 山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局「学術部会」委員。

2018年10月16日 第62回「日本学生科学賞」鳥取県審査 審査員。読売新聞社鳥取支局（鳥取市）。

2018年 第10回鳥取砂丘検定問題作成委員会 委員。

2018年度 鳥取県高等学校文化連盟写真専門部講師・審査員（鳥取県高等学校文化連盟）。

一澤 圭 ICHISAWA, Kei

博士（学術）

主幹学芸員

学芸課 自然担当 担当：動物

■印刷物

【短報・目録・その他】

一澤 圭・矢田貝繁明（2018）鳥取県における外来種マツモトカイメンの初報告および希産種シロカイメンの確認記録。山陰自然史研究 15：46-48。

一澤 圭・太田悠造・田邊佳紀・鶴 智之・渡邊克典・小笠原淳子・川崎美苗・小倉裕平（2019）鳥取県琴浦町勝田川に迷入したジンベエザメおよびその鰓から得られた共生生物の記録。鳥取県立博物館研究報告，56：7-12。

中森泰三・一澤 圭・吉田篤人（2018） トビムシ目 Collembola. 神奈川県昆虫誌2018, pp. 20 - 24. 神奈川県昆虫談話会, 小田原.

【普及的著作】

- 一澤 圭（2018） 鳥取県立博物館だより：「骨」を楽しもう！. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 7 / 19.
一澤 圭（2018） 鳥取県立博物館だより：ムカデとヤスデ. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 10 / 25.
一澤 圭（2018） 鳥取県立博物館だより：カモのクチバシ. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 11 / 22.

■研究発表

- 一澤 圭（2018年5月26日） ザウテルアヤトビムシ *Homidia sauteri* (Börner, 1909) のカラーパターンと剛毛配列. 日本土壤動物学会第41回大会, 同志社大学京田辺キャンパス（京都府京田辺市）.

■博物館事業・その他

【展示】

2018年8月23日～2019年1月20日 自然の窓「コウノトリってどんなトリ??」. 鳥取県立博物館常設展示室.

【普及的事業（講師担当のみ）】

- 2018年 4月30日 《野外観察会》自然観察さいしょの一步 [講師役の一部を担当]. 米子市湊山公園.
2018年 5月12日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 大山 [講師役の一部を担当]. 大山寺周辺.
2018年 8月 5日 《自然講座》みて！さわって！ホネを楽しもう. 鳥取県立博物館会議室.
2018年 8月19日 《自然講座》標本を調べる会 [昆虫類およびその他の動物担当]. 鳥取県立博物館会議室.
2018年11月10日 《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！ in 倉吉. 倉吉市打吹公園.
2018年12月 9日 《野外観察会》はじめてのバードウォッチング. 湖山池青島.

【その他】

- 2018年 6月29日 《出前授業講師》鳥取県立青谷高校「2年生 青谷学：勝部川の谷の環境と生きもの」. 不動滝・子守神社・八葉寺周辺（鳥取市青谷町）.
2018年 7月 1日 《野外観察会講師》鳥取おやこ劇場「虫探しと朝摘みブルーベリー狩り」. 里仁ブルーベリー農園（鳥取市）.
2018年10月17日・24日 《出前授業講師》琴浦町立赤碕中学校「1・2・3年生理科 生物の移り変わり進化」. 琴浦町立赤碕中学校理科室（琴浦町）.
2018年10月28日 《野外観察会講師》とっとり出合いの森「落ち葉の中のモンスター」. とっとり出合いの森（鳥取市）.
2019年1月13日 《野外観察会講師》「湖山池の野鳥観察とフィギュア作り」（野鳥観察講師担当）. 湖山池情報プラザ（鳥取市）.
2019年 1月15日 《野外観察会講師》鳥取ルーテル幼稚園「バードウォッチング」. 湖山池情報プラザ（鳥取市）.
2019年 1月16日 《出前授業講師》鳥取市立西中学校「3年生理科 土の中の生物や微生物のはたらき」. 鳥取市立西中学校理科室（鳥取市）.
2015年 4月～ 希少野生動植物種保存推進員.

田邊 佳紀 TANABE, Yosihiki

学芸員

学芸課 自然担当 担当：地学

印刷物

【著書・論文】

- 一澤 圭・太田悠造・田邊佳紀・鶴 智之・渡邊克典・小笠原淳子・川崎美苗・小倉裕平（2019） 鳥取県琴浦町勝田川に迷入したジンベエザメおよびその鰓から得られた共生生物について. 鳥取県立博物館研究報告, 56, 7-12.

【普及的著作】

- 田邊佳紀（2018-2019）（連載）何でも発見、たのしい観察：日本海新聞日曜版（鳥取）. 2018 / 4 - （9回）.
田邊佳紀（2018） 鳥取県立博物館だより：百谷鉦山. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 5 / 10.
田邊佳紀（2018） 鳥取県立博物館だより：鳥取の化石. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 7 / 5.
田邊佳紀（2018） 鳥取県立博物館だより：三徳型植物群. 日本海新聞（鳥取）, 2018 / 8 / 9.
田邊佳紀（2018） 平成30年度企画展「とっとりの化石EXPO！2018」を振り返って. 鳥取県立博物館友の会会報（鳥取）, 2018 / 3.

■研究発表等

有村花菜・田邊佳紀・小野寺麻由・仲谷英夫（鹿児島大学）・國松豊（龍谷大学）・中務真人（京都大学）（2019）
ケニア北部後期中新世ナカリ層産齧歯類歯牙化石の三次元形態解析，日本地質学会西日本支部平成30年度
総会・第170回例会，長崎大学，長崎市，2019年3月2日。（ポスター発表）。

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 7月14日～ 8月26日 企画展「とっとりの化石EXPO！2018」 鳥取県立博物館第1特別展示室。
2018年10月13日～10月21日 「化石の日」関連企画「アンモ展！ミニ！」 鳥取県立博物館自然常設展示室。

【普及的事業（講師担当のみ）】

2018年 5月11日 《講師》「雨滝鉦山木原坑調査」 鳥取市国府町木原地内，鳥取市立大茅地区公民館。
2018年 5月26日 《野外観察会》集めよう鉦物！―百谷鉦山― 鳥取市百谷，百谷鉦山跡。（鳥取地学会との共
催事業）
2018年 7月15日、8月12日、26日「とっとりの化石EXPO！2018」ギャラリートーク 鳥取県立博物館第一
特別展示室。
2018年 7月22日 《自然講座》化石レプリカをつくろう！ 鳥取県立博物館会議室。
2018年 8月 3日 《講師》ワークショップ「もぐる？モグラ！」 渡辺美術館。
2018年 8月11日 《野外観察会》化石をさがせ！ 若桜町春米，氷ノ山自然ふれあい館響の森。
2018年 8月19日 《自然講座》夏休みの標本しらべ相談室〔地学担当〕 鳥取県立博物館会議室。
2018年10月19日 《講師》鳥取県立青谷高校，青谷学「青谷海岸の地形」 鳥取市青谷町。
2018年10月27日 《講師》「恐竜のおはなしとレプリカづくり」 湯梨浜中央公民館（主催：湯梨浜町図書館）。
2018年11月 3日 《講師》「石ころころころ」 大山ホワイトパレス（主催：森のようちえん全国フォーラム in とっ
とり）
2018年12月10日 《講師》「地質時代の生物たち ―古生代、中生代、新生代の化石の変遷―」 鳥取県立倉吉
農業高等学校。
2018年12月16日 《自然講座》キラキラ★標本アクセサリー！ 鳥取県立博物館会議室。
2018年 2月15日 《講師》鉦物・化石について 鳥取市立浜坂小学校。

清末 幸久 KIYOSUE, Yukihisa

主幹学芸員

学芸課 普及・自然担当 担当：植物

■印刷物

【報告書】

清末幸久・谷口真一・田中重樹・井原早紀・永松大（2019） 市民調査による鳥取県の海浜植物10年比較 ―
自然観察指導員鳥取連絡会と鳥取県立博物館との連携事例― 植生情報，22：12-17（東京）

【普及的著作】

清末幸久（2018） 鳥取県立博物館だより：調べてみよう、手元の標本 *日本海新聞（鳥取）*，2017/8/2
清末幸久（2018） 鳥取県立博物館だより：木材を分解するサルノコシカケ（猿の腰掛け）のなかま *日本海
新聞（鳥取）*，2018/10/4
北山大樹・清末幸久（2019） 博物館と藻類：山陰の海藻展示 藻類 Jpn.J.Phycol. (Sorui) 67：13-14（東京），
2019/3/10
清末幸久（2019） コラム「自転車で見に行く鳥取県のお宝（米子市和田海岸のハマナス群落）」 鳥取県立博
物館ニュース，27：5。
清末幸久（2019） come come Kids 調査隊！春のギモンなぜなに大解決 植物編。Come come mama 43：2，
come come・ママ事務局（鳥取）

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 3月24日～ 8月 5日 「ウルシはかぶれるが役に立つ」常設展示室小コーナー
2018年 5月11日～ 7月 6日 「光合成をやめた植物」常設展示室自然の窓コーナー
2018年 8月 6日～10月30日 「レトロな名前でイミフな植物・きのこ」常設展示室小コーナー
2018年10月31日～12月24日 「紅葉過ぎれば樹幹の森」常設展示室小コーナー
2018年12月26日～2019年 3月10日 「春の七草」常設展示室小コーナー
2019年 3月12日～ 5月13日 「ありがとう平成 ～生きものと自然を大切にしたい時代～」常設展示室小コーナー

【普及的事業（講師担当のみ）】

2018年 8月19日 《自然講座》夏休みの自由研究相談室〔植物担当〕 鳥取県立博物館会議室。

2018年10月20日 《野外観察会》きのこを調べる会〔講師役の一部を担当〕、大山町大山下山キャンプ場。
2018年 4月30日 《野外観察会》自然観察さいしょの一步、米子市湊山公園。

【その他】

2018年 4月29日 《講師》「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介（その1）、NPO 法人鳥の劇場、鳥の劇場（鳥取市）
2018年 5月 5日 《講師》「イワン食堂」と題した食のイベントでの野草紹介（その2）、NPO 法人鳥の劇場、鳥の劇場（鳥取市）
2018年 5月 7日 《講師》弓ヶ浜サイクリングロード施行に伴うハマナス群落保全の指導、鳥取県西部総合事務所米子県土整備局道路都市課、和田浜ハマナス生育地（米子市）
2018年 6月 3日 《野外観察講師》地域の保全活動「オカヒジキもどってこいこいプロジェクト」いわみガイドクラブ、くまの自然を守る会、熊井浜（岩美町）
2018年 6月 9日 《観察会観察講師》野外観察会「山陰海岸ジオハイキング（羽尾岬コース）」、鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館、羽尾岬（岩美町）
2018年 6月23日 《野外観察講師》伯耆国「大山開山1300年祭」大山講座～大山の自然とその魅力～、新日本海新聞社 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会、鳥取県社会福祉協議会、博労座～下渡り（大山町）
2018年 7月25日 《講師》親子でいっしょに楽しむ講座「押し花をつくろう」、鳥取市立中央図書館、鳥取市中央図書館（鳥取市）
2018年 8月 5日 《協力》教員免許状更新研修、鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 教員養成センター、鳥取県立博物館（鳥取市）
2018年 9月4日 《講師》学校内「動物村」にある樹木の同定（発疹等がでる恐れのある樹）、鳥取市立末恒小学校、末恒小学校「動物村」（鳥取市）
2018年 9月22日 《野外観察講師》久松山登山自然観察会、智頭町立智頭小学校3年親子会、久松山（鳥取市）
2018年 9月24日 《野外観察講師》万葉の庭散策講座「秋の庭散策」、鳥取市因幡万葉歴史館、鳥取市因幡万葉歴史館（鳥取市）
2018年10月16日 《パネリスト》「二十一世紀の森」展示館利用促進のための意見交換会、鳥取県木材協同組合連合会、鳥取県林業試験場「二十一世紀の森」展示館、（鳥取市）
2018年11月10～11日 《野外観察講師》鳥取・鳥根自然観察指導員交流会、自然観察指導員鳥取連絡会、打吹山（倉吉市）、三徳山（三朝町）
2019年 1月19日 《野外観察講師》氷ノ山スノーシュー自然観察会、自然観察指導員鳥取連絡会、鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館「響の森」（若桜町）
2019年 2月 1日 《講師》教職課程科目「理科教育法2：中学校理科教師と研究」、公立鳥取環境大学、公立鳥取環境大学（鳥取市）
2019年 3月23日 《観察会観察講師》自然観察会（タンポポ調査西日本2020）講師、自然観察指導員鳥取連絡会、八橋城跡公園、（琴浦町）
自然公園指導員（環境省）1984年5月～
鳥取県自然観察指導員（鳥取県）1991年～
鳥取県外来種検討委員会委員（鳥取県生活環境部）2006年～
希少野生動植物種保存推進員（環境省）2015年7月～
鳥取市こども科学館運営委員 2017～

福代 宏 FUKUSHIRO, Hiroshi

主幹学芸員

学芸課 人文担当 担当：民俗学

【報告書・図録等】

鳥取県立博物館（2018）企画展図録「大いなる神仏の山 大山」（編著）
鳥取県（2019）鳥取県史民具編（部分執筆）

【普及的著作】

福代 宏（2018）博物館だより：大山と役行者 日本海新聞（鳥取）、2018/6/7。
福代 宏（2018）博物館だより：まだ見ぬ「法験神」日本海新聞（鳥取）、2018/6/14。
福代 宏（2018）博物館だより：大山とその信仰 日本海新聞（鳥取）、2018/6/21。
福代 宏（2018）博物館だより：因幡錠のふくらみ 日本海新聞（鳥取）、2018/12/13。

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 6月 2日～2018年 7月 1日 企画展「大いなる神仏の山 大山」、鳥取県立博物館第1・第2特別展示室
2018年 7月29日～2018年 8月26日 特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝」のうち「大山の重宝」、米子市美術館第2展示室

2018年10月29日～2018年12月24日 常設展示室歴史の窓「因幡錠」. 鳥取県立博物館歴史・民俗展示室
2018年11月 1日～2018年11月11日 移動博物館「大山と牛馬守護の信仰」. 大山町名和公民館
2018年11月15日～2018年11月25日 移動博物館「大山と牛馬守護の信仰」. 江府町防災・情報センター

【普及的事業】

2018年 6月 3日 《ギャラリートーク》「大いなる神仏の山 大山」. 鳥取県立博物館 特別展示室
2018年 6月 3日 《民俗講座》大山と地藏菩薩. 鳥取県立博物館 会議室
2018年 8月19日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」. 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室
2018年12月23日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」. 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室

■その他

鳥取県史編さん専門部会（民俗）委員
福代 宏（2018年12月1日）平成30年度鳥取県退職校長会東部地区合同研修会「大山開山1300年！大山の民俗あれこれ」. 対翠閣（鳥取市富安）

来見田 博基 KURUMIDA, Hiroki

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【普及的著作】

来見田博基（2018）資料紹介「イノシシがデザインされた江戸時代の紙幣」鳥取県立博物館ニュース27号, 2019 / 3 / 28
来見田博基（2018）博物館だより：刀剣コレクション展 日本海新聞（鳥取）2018 / 4 / 12
来見田博基（2019）博物館だより：鳥取藩の藩札と亥 日本海新聞（鳥取）2019 / 1 / 17
来見田博基（2019）博物館だより：「鳥取こちずぶらり」アプリを配信 日本海新聞（鳥取）2019 / 3 / 21

【短報・目録・その他】

来見田博基 展示報告「鳥取県立博物館 企画展 鳥取入府四〇〇年池田光政展～殿、国替えにござります～」公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会『閑谷学校研究』第22号、2018 / 5
来見田博基「湖山鴨堀」と周辺環境の変化に関する試論―「高草郡湖山村御鴨堀絵図」一の紹介、鷹・鷹場・環境研究会『鷹・鷹場・環境研究』vol. 3, 2019 / 3 / 20
新鳥取県史編さん委員近世史部会（編著）（2019）鳥取県史ブックレット20「因府歴年大雑集を読む」, 鳥取県（鳥取）, 2019 / 3 / 25（分担執筆）

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 4月14日～ 5月17日 美術展示室「刀剣爛漫～県博の赤羽刀と新収蔵刀一」 県立博物館 美術展示室
2018年 9月26日～11月 9日 明治150年記念特集展示（第2期）志士から初代県知事へ 河田左久馬とその時代」歴史・民俗展示室
2018年11月10日～平成31年 1月 6日 明治150年記念特集展示（第3期）「地図にみる明治の鳥取」 歴史・民俗展示室
2019年 3月19日～ 4月21日 常設展示室歴史の窓「戊辰戦争終結150年 河田左久馬とその時代 リターンズ」, 歴史・民俗展示室

【普及的事業】

2018年 4月14日 ギャラリートーク「人文部門常設展示コレクション展「刀剣爛漫」ギャラリートーク、美術常設展示室
2018年 5月 3日 歴史講座「聞いてみよう！日本刀のアレコレ」美術常設展示室
2018年11月11日 明治150年「鳥取こちずぶらり」でまち歩き―近代編― 博物館および市内
2018年12月 1日 出前講座「門脇重綾家文書からみた郷土の歴史」 渡公民館（境港市）
2019年 3月10日 歴史講座 古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ― 県立博物館 会議室
2019年 3月17日 歴史講座 古文書講座―鳥取藩の古文書を楽しむ― 県立博物館 会議室
2019年 3月22日 企画展関連 OpenDialogue 02 トークイベント 学芸員との創造的対話 講堂

【その他】

2018年12月15日 松保地域づくり講演会「鳥取藩の参勤交代」 松保地区公民館研修室（鳥取市）
2018年11月18日 名刀展～森井父子三人の仕事～（日南町美術館）関連事業「刀剣の歴史講座」、旧木下家（日南町） ※主催者の事情により中止
2018年10月 4日 明倫歴史講座「ひまみてぶらり明倫紀行3 刀鍛冶」 明倫公民館（倉吉市）

2018年 6月23日 境港歴史楽会公開講座「鳥取藩の参勤交代」 上道公民館（境港市）
2018年度 新鳥取県史編さん専門部会近世部会委員
2018年度 池田家墓所保存委員会委員
2018年度 科学研究費補助金・基盤研究（A）「科学研究費基盤研究 A「日本列島における鷹・鷹場と環境に関する総合的研究」（研究代表者：福田千鶴 九州大学基幹教育院 人文社会科学部門）の研究協力者
2018年度 第十三回御守り刀展覧会審査会の審査員
2018年度 大雲院資料調査委員

大嶋 陽一 OOSHIMA, Yoichi

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史学（近世史）

■印刷物

【研究ノート】

大嶋陽一, 四井幸子, 芝田尚子, 松本美佐子, [共著] (2019) 「鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家『御用日記』翻刻 その5」. 鳥取県立博物館研究報告56号.

【普及的著作】

大嶋陽一 (2018) 鳥取県立博物館だより: 西園寺公望と山陰道鎮撫使. 日本海新聞 (鳥取), 2018 / 09 / 20.
大嶋陽一 (2018) 鳥取県立博物館だより: 伯耆往来を歩く, 2018 / 11 / 01.
大嶋陽一 (2019) 鳥取県立博物館だより: 江戸時代の一里松. 日本海新聞 (鳥取), 2019 / 03 / 14.
大嶋陽一 (2019) 鳥取県立博物館ニュース No. 27: 企画展 殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝, 2019 / 03.

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 7月24日～ 9月24日 明治100年記念特集展示幕末・明治の鳥取第1期「明治維新がやって来た 西園寺公望と山陰道鎮撫使」
2018年11月23日～2018年12月24日 鳥取県立博物館・河北博物院交流20周年記念「中国河北省の伝統工芸」. 鳥取県立博物館第3特別展示室.
2019年 1月 8日～ 3月10日 明治100年記念特集展示幕末・明治の鳥取第4期「絵師から政治家へ 沖守固とその時代」

【普及的事業】

2018年 5月5, 6日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2018年 6月 5日 湯梨浜町歴史講演会「伊王野坦」. 湯梨浜町中央公民館泊分館.
2018年 6月12日 三朝町古文書講座1. みささ図書館.
2018年 7月7, 9日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2018年 7月29日 歴史講座「オリジナルの和綴本を作ろう」. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2018年 7月24日 三朝町古文書講座2. みささ図書館.
2018年 8月 7日 三朝町古文書講座3. みささ図書館.
2018年 9月1, 2日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2018年 9月 8日 歴史講座「江戸時代西伯耆の黄檗寺院」. 米子市立図書館.
2018年 9月18日 三朝町古文書講座4. みささ図書館.
2018年 9月27日 河原高齢者大学「鳥取藩の献上品」. 河原町公民館.
2018年11月3, 4日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2018年11月18日 歴史講座「伯耆往来をあるく 浦安・赤碕」. 琴浦町内.
2019年 1月12, 13日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2019年 2月 3日 琴浦町古文書講座①. まなびタウン東伯.
2019年 2月17日 琴浦町古文書講座②. まなびタウン東伯.
2019年 3月2, 3日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2019年 3月24日 歴史講座「伯耆往来をあるく 赤碕・下市」. 琴浦～大山町内.

【その他】

2018年 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平石垣等保存修理・整備検討委員
2018年 鳥取大学非常勤講師（博物館資料論）
2018年 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館評議員
2018年 倉吉市文化財保護審議委員

酒井 雅代 SAKAI, Masayo

専門員兼学芸員

学芸課 人文担当 担当：考古学

■印刷物

【普及的著作】

- 酒井雅代 (2018) 鳥取県立博物館だより：青谷横木遺跡の「女子群像」板絵を展示, *日本海新聞* (鳥取) 2018 / 4 / 5
- 酒井雅代 (2018) 鳥取県立博物館だより：泥塔に込められた祈り, *日本海新聞* (鳥取) 2018 / 9 / 6
- 酒井雅代 (2018) コラム「改葬された伊福部徳足比売骨蔵器」鳥取県立博物館ニュース No.26 2018 / 9 / 28
- 酒井雅代 (2019) 鳥取県立博物館だより：炉の中に埋められた土器, *日本海新聞* (鳥取) 2019 / 1 / 31

■博物館事業・その他

【展示】

2018年12月26日～2019年2月24日 歴史の窓「縄文時代の石囲埋甕炉」鳥取県立博物館歴史・民俗展示室

【普及的事業】

- 2018年 4月22日 《歴史講座》「縄文土器をつくる」鳥取県立博物館会議室
- 2018年 9月21日・22日 《歴史講座》「泥塔クッキーをつくろう」久松地区公民館調理室
- 2018年12月23日 企画展「ミュージアムとの創造的対話02 空間／経験」Open Dialogue 03小山田徹×酒井雅代「観る悦楽！愛の視線としての実測図」鳥取県立博物館第2特別展示室
- 2019年 2月10日 《歴史講座》「炉から見る鳥取の縄文遺跡」鳥取県立博物館会議室

【その他】

- 2018年7月27日 智頭枕田縄文遺跡の保存活用を推進する会・智頭町教育委員会「縄文土器づくりと古代食体験」講師
- 岡山理科大学非常勤講師

山本 隆一郎 YAMAMOTO, Ryuichiro

学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史学（中世史）

■印刷物

【普遍的著作】

- 山本隆一郎 (2018) 博物館だより：大山寺中興の祖豪門, *日本海新聞* (鳥取) 2018 / 5 / 24掲載
- 山本隆一郎 (2018) 博物館だより：古代・中世の書物にみる大山の姿, *日本海新聞* (鳥取) 2018 / 5 / 31掲載
- 山本隆一郎 (2018) 博物館だより：東伯の覇者南条元統の活躍, *日本海新聞* (鳥取) 2018 / 8 / 23掲載

【論文】

- 山本隆一郎 (2018) 「在府期足利直冬政権の当知行安堵と闕所政策」(『年報太宰府学』12 2018年)

【コラム】

- 山本隆一郎 (2018) 「箱崎の板碑」(九州史学研究会編『アジアのなかの博多湾と箱崎』所収 2018年)

■博物館事業・その他

【展示】

歴史の窓「東伯の覇者 南条元統研究の最前線」(2018年8月28日～10月21日) 鳥取県立博物館歴史・民俗展示室

【普及的事業】

- 講演「大いなる神仏の山 大山—その歴史と民俗—」(6月24日 鳥取東部地区社会科研究 鳥取県立博物館講堂)
- 講座「鳥取城のひみつ」(7月29日 渡辺美術館)
- 歴史講座「自分の花押をつくろう」(9月9日 鳥取県立博物館会議室)
- 歴史講座「古戦場・山城・荘園をあるく—秋里氏と千代川下流域—」(11月4日 於鳥取市秋里・江津)
- 講演「名和長年とその一族」(12月2日 倉吉文化財協会 倉吉市成徳公民館)
- 展示解説「とっとりのお宝おひろめ IN 米子 ～鳥取県指定文化財展～」(平成31年1月12日 米子市美術館)
- 歴史講座「古文書に見る鳥取の武家と寺社」(平成31年2月10日・17日 鳥取県立博物館会議室)

【研究発表】

- 「豪門の寺院再興と近世大山寺の成立」(平成30年10月21日 第39回山岳修験学会 大山学術大会)
- 「因幡三上氏の岩井庄支配と山名氏」(平成30年11月10日 鳥取地域史研究会との共催 鳥取県立博物館講堂)
- 「豪門の寺院再興と近世大山寺の成立」(平成31年3月16日 岡山地方史研究会例会)

尾崎 信一郎 OSAKI, Shinichiro

副館長兼美術振興課長

担当：現代美術

■印刷物

【報告書・図録等】

尾崎信一郎（2018）「岩美現代美術展における友田多恵子の新作」『友田多恵子 岩美 2018』パンフレット 頁なし

尾崎信一郎（2018）「風景としての『ペインタリネス』」
『ペインタリネス』展 パンフレット ギャラリー白 頁なし

■博物館事業

【普及的事業】

2018年 2月23日 《クロス・トーク》「これからの美術館は何をコレクションするか」熊田司・外館和子・南雄介・丹羽晴美・守安収 鳥取県立博物館

2018年 3月 7日 《スペシャル・トークセッション》「地方都市と現代美術 原口典之」鳥取県立博物館

■その他

【普及的事業】

2018年 7月14日 「スペシャル・ギャラリートーク」広島市現代美術館

2019年 2月24日 講演「堀内正和と辻晋堂」神奈川県立近代美術館、葉山

三浦 努 MIURA, Tsutomu

主幹学芸員

担当：近現代美術

■印刷物

【普及的著作】

三浦 努（2018）「酒本敬子 ローケツ染展」に寄せて、*日本海新聞*（鳥取），2018/7/17.

三浦 努（2018）「Our Collections! ―鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから―」鳥取県立博物館ニュース 2018.NO.26（鳥取県立博物館）

三浦 努（2018）博物館だより：各館の逸品を持ち寄って 移動美術館＋北栄町コレクション展、*日本海新聞*（鳥取），2018/10/11.

三浦 努（2018）「有線七宝に魅せられて 橋詰峯子作品展」に寄せて、*日本海新聞*（鳥取），2018/11/6.

三浦 努（2019）博物館だより：新しいコレクションを求めて、*日本海新聞*（鳥取），2019/2/14.

三浦 努（2019）博物館だより：新しい美術館を訪れた子どもたちの未来をイメージして、*日本海新聞*（鳥取），2019/2/28.

■博物館事業・その他

【展示】

2018年 5月31日～ 7月 8日 美術部門コレクション展Ⅰ「新収蔵品展Ⅰ 洋画」鳥取県立博物館美術常設展示室.

2018年 7月11日～ 8月19日 美術部門コレクション展Ⅱ「新収蔵品展Ⅱ 恩田孝徳 ―大空襲後の東京を描く―」鳥取県立博物館美術常設展示室.

2018年 8月18日～ 9月17日 平成30年度移動美術館・若桜展「橋本興家木版画展 ―日本の城を訪ねて―」若桜町山村文化保存伝習施設 たくみの館.

2018年 8月22日～ 9月30日 美術部門コレクション展Ⅲ「新収蔵品展Ⅲ 版画・彫刻・工芸」鳥取県立博物館美術常設展示室.

2018年10月6日～10月21日 平成30年度移動美術館・北栄展「In Tokyo & Paris 前田寛治と、彼が出会った国内外の画家たち」北栄みらい伝承館（北条歴史民俗資料館）.

2019年 2月16日～ 3月10日 企画展「Our Collections! ―鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから―」鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

【普及的事業】

2019年 2月16日・3月 2日《学芸員によるギャラリートーク》「Our Collections! ―鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから―」鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

2019年 2月23日 《クロストーク》「これからの美術館は何をコレクションするのか」鳥取県立博物館講堂.

2019年 3月 9日 《スペシャルトークセッション》「地方都市と現代美術」（ゲスト・原口典之氏）鳥取県立博物館講堂.

【その他】

2018年度 鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業選定委員会委員（学識経験者）。

2018年度 第51回鳥根県総合美術展工芸部門県外審査員。

赤井 あずみ AKAI, Azumi

主任学芸員

美術振興課 美術担当 担当：近現代美術・写真

■印刷物

【普及的著作】

赤井あずみ（2018）博物館だより：「作品と人との関係性 シリーズ展【ミュージアムとの創造的対話】」．日本海新聞（鳥取），2018／11．8．

赤井あずみ（2018）博物館だより：「ミュージアム」を捉え直す試み．日本海新聞（鳥取），2018／12／6．

赤井あずみ（2018）博物館だより：「展示を読み解く楽しみ」．日本海新聞（鳥取），2019／3／7．

■博物館事業・その他

【展示】

2018年11月23日～12月24日 企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？」．鳥取県立博物館第2特別展示室

【普及的事業】

2018年 5月23日 《美術館を考え続けるプロジェクト#02》ミュージアムサロン07「アートと社会と未来について」．隼ラボ．

2018年 6月 3日 《美術館を考え続けるプロジェクト#02》ミュージアムサロン08「アートと社会と未来について」．モダン

2018年11月23日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ オープニングスペシャルトーク」．鳥取県立博物館講堂．

2018年11月24日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ ワークショップ」田口行弘「Particles'moment」．鳥取県立博物館講堂．

2018年11月24日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ イベント」小山田徹「『小さな火床』に集う」．鳥取県立博物館前庭．

2018年11月25日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ イベント」小山田徹「『小さな火床』に集う」．岩戸海岸海水浴場．

2018年12月 1日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ オープンダイアログ」「01 学芸員との創造的対話」．鳥取県立博物館第2特別展示室．

2018年12月 8日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ イベント」小山田徹「『小さな火床』に集う」．憩いの道．

2018年12月 9日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ イベント」小山田徹「『小さな火床』に集う」．東郷湖畔公園．

2018年12月15日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ オープンダイアログ」「01 学芸員との創造的対話」．鳥取県立博物館第2特別展示室．

2018年12月22日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ オープンダイアログ」「02梅田哲也×学芸員たち」．鳥取県立博物館講堂．

2018年12月22日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ ツアーパフォーマンス」「弥生人の脳を見に行くツアー」．鳥取県立博物館館内．

2018年12月23日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ オープンダイアログ」「03小山田徹×酒井雅代『観る快楽－愛の視線としての実測図』」．鳥取県立博物館第2特別展示室．

2018年12月23日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ ツアーパフォーマンス」「弥生人の脳を見に行くツアー」．鳥取県立博物館館内．

2018年12月23日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ パフォーマンス」梅田哲也パフォーマンス」．鳥取県立博物館エントランスホール．

2018年12月24日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ ツアーパフォーマンス」「弥生人の脳を見に行くツアー」．鳥取県立博物館館内．

2018年12月24日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話 vol.2 空間／経験 そこでは何が起きているのか？ イベント」小山田徹「『小さな火床』に集う」．大御堂廃寺跡．

2019年 3月 2日 《企画展「Our Collections! スクリーニング・プログラム」．鳥取県立博物館講堂．

2019年 3月 3日 《企画展「Our Collections! スクリーニング・プログラム」．鳥取県立博物館講堂．

2019年 3月10日 《企画展「Our Collections! スクリーニング・プログラム」．鳥取県立博物館講堂．

【その他】

2018年度 アート・プロジェクト「HOSPITALE」キュレーター／プログラムディレクター。
2018年度 「スクール・イン・プログレス2018」キュレーター／プログラムコーディネーター。
2018年 7月 6日 鳥取大学地域学部ボランティア論講義。鳥取大学。
2018年 9月 9日 《鳥取県文化団体連合会「芸術たのしみひろば」2018》シンポジウム「写真による抽象表現の楽しみ」講師。倉吉市文化活動センター。
2018年11月 3日 《SUPER OPEN STUDIO 2018》関連シンポジウム「美術のプレゼンスを確保するために」講師。アートラボはしもと（神奈川）。
2018年12月 2日 《SUAC アートの最前線3 days》「空間再創造とアートマネジメント」講師。万年橋パークビル（静岡）。
2019年 2月26日 《AIR 475 2018》シンポジウム「2024年鳥取県立美術館のオープンにあわせて、米子で芸術祭をやりませんか！」講師。米子市美術館。
2019年 3月19日～21日 《平成30年度アート市場活性化事業》「日本現代アートサミット（JCAS）2019」六本木アカデミーヒルズ、国立新美術館。
2019年 3月24日 《大阪市現代芸術創造事業 Breaker Project》ラウンドテーブル「アート×場づくり まちにひろがる小さな拠点」講師。大阪府立江之子島文化芸術創造センター。

友岡 真秀 TOMOOKA, Maho

博士（美術）

学芸員

美術振興課 美術担当 担当：西洋美術・彫刻

■印刷物

【報告書・図録等】

友岡 真秀（2018）「ヴァンチェンツォ・デ・ロッシの噴水計画：「ヘラクレスとケルベロスの犬の噴水」の計画案の位置づけ」『鹿島美術財団年報』第35号、鹿島美術財団、326-337頁。

【短報・目録・その他】

友岡 真秀（2018）「山本兼文《おんな》から《人間》へー抽象表現への展開」『芸術文化雑誌 紫明』第44号、紫明の会（丹波古陶館・篠山能楽資料館友の会）、35-45頁。

【普及的著作】

友岡 真秀（2018）鳥取県立博物館だより：「野外彫刻の町・鳥取を歩く」*日本海新聞（鳥取）*、2018/12/20。

山本 亮 YAMAMOTO, Tooru

専門員

美術振興課 美術担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

山本 亮（2018）鳥取県立博物館だより：本物と出会う醍醐味。*日本海新聞（鳥取）*、2018/5/17
山本 亮（2018）鳥取県立博物館だより：橋本興家の城シリーズ。*日本海新聞（鳥取）*、2017/8/16
山本 亮（2018）鳥取県立博物館だより：美術館づくりを新しいメディアで発信。*日本海新聞（鳥取）*、2018/9/13
山本 亮（2018）鳥取県立博物館ニュース No 26：若桜橋のモニュメントについてー山本兼文の野外彫刻を訪ねて。2018/9/28
山本 亮（2018）鳥取県立博物館だより：「生誕百年 山本兼文展」23日から。*日本海新聞（鳥取）*、2018/11/15

■博物館事業・その他

【展示】

2018年11月23日～2018年12月24日 美術部門テーマ展示Ⅱ「生誕百年 山本兼文展」。
鳥取県立博物館第一特別展示室。

【普及的事业】

2018年 4月28日 《ワークショップ》投げて描こう 鳥取県立博物館地下バックヤード
2018年 5月 5日 《ワークショップ》キラキラマントで変身！ 鳥取県立博物館会議室
2018年 5月25日 《館外普及事業》コレクション宅配便 in 倉吉 倉吉淀屋
2018年 6月 2日 《ワークショップ》カエルになろう！鳥取県立博物館会議室
2018年 6月12日 《館外普及事業》光る絵の具で不思議な世界！ 倉吉養護学校
2018年 6月30日 《ワークショップ》色水であそぼ！ 鳥取県立博物館中庭
2018年 7月28日 《ワークショップ》化石でフロッタージュ 鳥取県立博物館会議室、常設展示室
2018年 8月 4日 《ワークショップ》手づくりうちわで暑さを吹き飛ばせ！ 鳥取県立博物館会議室

2018年 8月 7日 《館外普及事業》巨大バルーンづくりに挑戦！ 湯梨浜町中央公民館
 2018年 8月 9日 《館外普及事業》紙コップ10000個でアート！ 中浜公民館
 2018年 8月11日 《ワークショップ》泥でアート！ 鳥取県立博物館地下バックヤード
 2018年 9月 5日 《館外普及事業》光のすみかをつくろう 大山青年の家（対象：日吉津小学校4年生27名）
 2018年 9月22日 《ワークショップ》彫刻家と巡る鳥取市内野外彫刻散策会 鳥取市内（博物館～鳥取駅前）
 2018年 9月29日 《オープンミーティング&ワークショップ》「美術館ができるまで」を伝える、新たなメディアを考える 倉吉市上灘地区公民館
 2018年10月27日 《館外普及事業》線の森に入っちゃお！ 若葉台小学校
 2018年10月28日 《館外普及事業》掛軸をつくろう（文房四宝まつり） 鳥取市文化センター
 2018年11月17日 《ワークショップ》結ぶー水引アート de 和の心 鳥取県立博物館会議室
 2018年11月24日 《ギャラリートーク》生誕百年山本兼文展スペシャルギャラリートーク 鳥取県立博物館第一特別展示室
 2018年12月16日 《館外普及事業》とっとり美術散歩（版画編）鳥取県立博物館展示室
 2018年 1月13日 《ワークショップ》ジュニア県展連携ワークショップ お気に入りの1点を見つけよう！鳥取県立博物館エントランスホール
 2019年 1月24日 《館外普及事業》紙コップ10000個で街をつくろう！ 岩美こども食堂
 2019年 2月16日 《館外普及事業》不思議な絵の具で描いてみよう！ 啓成小学校
 2019年 3月16日 《ワークショップ》 てづくり水引でお祝い。 鳥取県立博物館会議室
 2019年 3月30日 《館外普及事業》「鳥取県立美術館ができるまで」を伝えるためのフリーペーパーと一緒につくってみませんか？ 倉吉未来中心セミナールーム7

佐藤 真菜 SATO, Mana

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

佐藤真菜（2018） 博物館だより「ワークショップで一体感」日本海新聞（鳥取）2018/5/3
 佐藤真菜（2018） 博物館だより「画面から感じ取る 動・静」日本海新聞（鳥取）2018/7/26
 佐藤真菜（2018） 夢ひろば「土方稲嶺展で対話型鑑賞」2018/12/12
 佐藤真菜（2019） 博物館ニュース コラム「子どもたちとアートを繋ごう！出会う・感じる・表現する のサイクルで」

■博物館事業・その他

【展示】

2018年7月21日（土）～8月26日（日） 美術部門テーマ展示夏休み企画「動／静」鳥取県立博物館 近代美術展示室

【普及的事業】

2018年 4月14日 （土）～3月30日（土）ボランティア「ワークショップづくり隊！」活動 鳥取県立博物館
 2018年 4月28日 〔ワークショップ〕「投げて描こう！」鳥取県立博物館 搬入庫前
 2018年 5月26日 〔コレクション宅配便〕倉吉市 淀屋
 2018年 6月 2日 〔ワークショップ〕「カエルになろう！」鳥取県立博物館 会議室
 2018年 6月12日 〔ワークショップ〕「光る絵の具で不思議な世界！」倉吉養護学校
 2018年 6月20日 〔コレクション宅配便〕境港市立第三中学校
 2018年 6月30日 〔ワークショップ〕「色水で遊ぼう！」鳥取県立博物館 前庭
 2018年 7月21日 〔スペシャルワークショップ〕「Moving ーうごきとかたち」講師：武蔵野美大学 日本画学科 教授 内田あぐり氏、サポートスタッフ：武蔵野美術大学「旅するムサビ」学生7名、助手1名、ワークショップモデル：舞踏家 大竹宥熙氏 近代美術展示室
 2018年 7月23日、8月27日 〔旅ムサスティ ワークショップ〕「黒板ジャック」鳥取市立面影小学校 7教室
 2018年 7月26日 〔教員研修〕中部中学校教育振興会研修 会議室
 2018年 7月27日 〔教員研修〕鳥取市立面影小学校教員研修 会議室
 2018年 7月28日 〔ワークショップ〕「化石でフロッタージュ！」鳥取県立博物館 会議室
 2018年 7月30日 〔教員研修〕県教育センター小学校新規採用教員 2年目研修講師 倉吉体育文化会館
 2018年 8月 2日 〔レクチャー〕「教員の日」鳥取県立博物館 展示室他
 2018年 8月 4日 〔ワークショップ〕「手作りうちわで暑さを吹き飛ばせ！」鳥取県立博物館 会議室
 2018年 8月 8日 〔鳥取市図画工作部会研修会バックヤードツアー〕鳥取県立博物館
 2018年 8月 9日 〔ワークショップ〕「紙コップ10000個でアート！」境港市中浜公民館
 2018年 8月11日 〔ワークショップ〕「泥でアート！」鳥取県立博物館 搬入庫外
 2018年 8月18日 〔ワークショップ〕「館内バックヤードツアー」鳥取県立博物館
 2018年10月27日 〔ワークショップ〕「線の森に入っちゃお！」鳥取市立若葉台小学校

2018年10月28日〔ワークショップ〕「ミニ掛け軸を作ろう！」鳥取市文化センター
 2018年10月31日〔コレクション宅配便〕三朝町立西小学校
 2018年 9月－10月〔企画展「土方稲嶺」バス招待（県内7小学校）鳥取県立博物館 展示室
 2018年11月 3日〔ギャラリートーク〕「はじめての“とうれい”子ども編 鳥取県立博物館 展示室
 2018年11月 7日〔コレクション宅配便〕大山町立大山中学校
 2018年11月17日〔ワークショップ〕「結ぶ-水引アート de 和の心」鳥取県立博物館 会議室
 2018年12月26日〔ワークショップ〕「イノシシのお正月飾りをつくろう！」湯梨浜町障がい者地域活動支援センター
 2018年12月 3日、10日〔アーティストとつくろう〕「焼き物の茶碗をつくる」鳥取市立宮ノ下小学校
 2019年 1月12日〔ジュニア県展関連ワークショップ〕鳥取県立博物館 エントランス
 2019年 1月23日〔ワークショップ〕「不思議な絵の具で描いてみよう！」鳥取市教育センター
 2019年 1月24日〔ワークショップ〕「紙コップ10000個で街を作ろう！」岩美子ども食堂
 2019年 2月16日〔ワークショップ〕「不思議な絵の具で描いてみよう！」米子市立啓成小学校
 2019年 3月16日〔ワークショップ〕「手作り水引でお祝い」鳥取県立博物館 会議室

【その他】

2018年 7月26日〔中部中学校教育研究会美術部会 教員研修〕鳥取県立博物館 会議室
 2018年 8月 3日〔東部教育研究会図工部会造形展〕審査 福部未来学園
 2018年 9月 6日〔鳥取県美術展〕審査 鳥取県立博物館
 2018年10月18日〔鳥取県未来科学の夢絵画展〕審査 鳥取県産業振興機構
 2018年10月23日〔八頭郡図画工作部会 児童作品展〕審査・講評 八頭町立船岡小学校
 2018年10月24日〔県体育協会100周年記念絵画コンクール〕審査 鳥取県庁
 2018年11月 8日〔鳥取県ジュニア県展〕審査 倉吉体育文化会館
 2018年11月27日〔鳥取市小学校図画工作研究会 授業研究会〕指導助言 福部未来学園
 2019年 3月 9日－17日〔旅するムサビと子どもたち展〕ギャラリー330

山下 真由美 YAMASHITA, Mayumi

主任学芸員

美術振興課 調査担当 担当：近世絵画

■印刷物

【著書・論文】

山下 真由美 (2018) 概説 土方稲嶺. pp. 12 - 20. In: 山下真由美〔編〕企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」展覧会図録. 鳥取県立博物館, 232 pp.

【報告書・図録等】

山下 真由美〔編著〕(2018) 企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」展覧会図録. 鳥取県立博物館, 232 pp.

【短報・目録・その他】

山下 真由美 (2018) コラム「江戸時代における鳥取画壇の特質」. 企画展「百花繚乱列島」展覧会図録. 千葉市美術館, 166 - 167

【普及的著作】

山下 真由美 (2018) 企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」. 鳥取県立博物館ニュース, 26:2.

山下 真由美 (2018) 鳥取県立博物館だより: 鳥取画壇の祖 土方稲嶺展. 日本海新聞 (鳥取), 2018/9/27

山下 真由美 (2018) 鳥取県立博物館だより: 稲嶺展を10倍楽しむヒント. 日本海新聞 (鳥取), 2018/10/18

山下 真由美 (2019) 鳥取県立博物館だより: 鳥取県に伝わる仏教美術. 日本海新聞 (鳥取), 2019/01/24

山下 真由美 (2019) 新収蔵品紹介「沖一峨《寒山拾得図》」. 鳥取県立博物館ニュース, 27:7.

■博物館事業・その他

【展示】

2018年10月 6日～11月11日 企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」. 鳥取県立博物館第一～第三特別展示室、美術展示室.

2018年11月16日～2019年 1月 6日 美術常設展示「コレクション展Ⅳ 新収蔵品展Ⅳ 近世・近代日本画」. 鳥取県立博物館美術展示室.

2019年 1月10日～2019年 2月24日 美術常設展示「コレクション展Ⅴ 受け継がれし祈り—鳥取の仏教美術を中心に」. 鳥取県立博物館美術展示室.

2019年 2月27日～ 4月14日 美術常設展示「コレクション展Ⅵ 春の訪れ、季節のめぐり」. 鳥取県立博物館美

術展示室.

【普及的事業】

2018年10月 6日 《ギャラリートーク》「はじめての“とうれい”―大人編―」. 鳥取県立博物館第一～第三特別展示室.

2018年10月27日 《スペシャルギャラリートーク》「稲嶺の魅力を語る！」. 鳥取県立博物館第一～第三特別展示室.

2018年11月 3日 《ギャラリートーク》「はじめての“とうれい”―こども編―」. 鳥取県立博物館第一～第三特別展示室.

2018年11月10日 《体験型ミニレクチャー》「掛軸を巻いてみよう！」. 鳥取県立博物館第一～第三特別展示室.

2019年 1月26日 《ギャラリートーク》美術常設展示「コレクション展Ⅴ 受け継がれし祈り―鳥取の仏教美術を中心に」. 鳥取県立博物館美術展示室.

【その他】

2018年10月14日 倉吉市生涯学習講座「美の匠 ～つながる美の系譜」講師. 倉吉市上灘公民館.

鳥取県立美術館の整備運営の検討について

1 概 要

平成30年3月に、美術館の整備・運営手法以外についての考え方を整理し、基本計画（中間まとめ）としてとりまとめ、5月に「鳥取県PPP／PFI手法活用の優先的検討方針」による「県有施設・資産有効活用戦略会議」で、民間の経営ノウハウや資金の活用によるPFI・BTO方式を導入するとの検討結果が示されたことから、その結果を盛り込んで、7月に鳥取県立美術館の整備基本計画を策定した。

「県有施設・資産有効活用戦略会議」では、PFI手法を導入することで、美術館自体の魅力の向上、周辺施設との連携等による利用者の増加、設計・建設から維持管理・運営を含めたトータルでの財政負担の縮減が同時に訴求できる効果が認められるが、美術館の整備運営の特徴を踏まえ、民間との役割分担を「管理部門（総務・施設管理等）」については、民間企業に委ねる。学芸部門については、美術作品の収集、保存、調査・研究、展示、教育普及等を中心とする中核業務は県業務として引き続き実施することとし、周辺業務である広報・宣伝・賑わい創出機能等については、県と連携することを前提に民間企業に委ねる。」こととし、更には留意事項として、「コストを抑制しつつ、建築デザインを重視できる方法を取り入れるとともに、県民とのコミュニケーションが図れる手法を検討する。」こととされた。

これを受け、平成30年6月議会で、PFI法に基づく事業者選定に向けた実施方針の策定、要求水準書の作成、事業者選考審査会等の業務を進めるための予算が承認された。

PFI法事業者の選定に関しては、法務、金融、建築技術等の専門的な知見・能力が必要となることから、一連の支援業務を専門コンサルタントに委託し、知事部局関係所属との協議等を踏まえながら検討を進め、平成31年3月に実施方針を公表するとともに本事業に参画を検討している民間事業者を対象とした説明会を開催した。

また、本事業では事業者と連携しながら基本計画の実現を目指すことから、設計・建設、開館準備、維持管理及び運営の各業務を通じて、事業者の広範囲かつ高度な能力やノウハウと効率的かつ効果的な事業実施を期待し、事業者提案について、県の想定を超えて積極的な提案を行う者については、基本計画の実現可能性を踏まえたうえで評価していく方針とした。

そして、事業者提案にかかる専門的かつ客観的な視点からの検討等を行うため、平成30年11月に審査会を設置し、落札者決定基準等の検討に着手した。

昨年度に継続して、機運醸成を図る普及啓発としてのアートの種まきプロジェクト（美術館づくりワークショップ）等を積極的に行うとともに、県内の美術系文化施設との協力連携の取組の検討、更には、「美術ラーニングセンター」機能の充実に向けた検討も進めた。

「県民立美術館」の実現に向けて、平成29年12月に発足した県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会（官民58団体で組織、平成31年3月現在）と美術館整備に関する情報共有、連携を図り、より多くの県民に美術館づくりへの関心を高めていただく取組みを進めた。

2 検討状況

（1）鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）

①委員名簿

	氏名	役職等
委員長	林 田 英 樹	日本工芸会理事長、元・文化庁長官、元・基本構想検討委員会会長、元・基本計画策定アドバイザー委員会座長

委 員	衣 笠 幸 雄	TBSテレビ社長室顧問、前・TBSサービス社長、元・基本構想検討委員会委員
委 員	山 梨 俊 夫	国立国際美術館館長、前・神奈川県立近代美術館館長
委 員	佐 治 ゆかり	郡山市立美術館館長、美術館連絡協議会理事
委 員	光 多 長 温	公益財団法人都市化研究公室理事長、元・鳥取大学地域学部教授
委 員	堀 越 英 嗣	芝浦工業大学建築学部長、堀越英嗣ARCHITECT5代表、元・鳥取環境大学教授
委 員	遠 藤 由美子	公立鳥取環境大学副学長・環境学部教授（建築）
委 員	根 鈴 智津子	倉吉市教育委員会事務局文化財課長
委 員	池 上 祥 子	鳥取県地域振興部文化振興監兼文化政策課長

②開催状況

- ・第1回 平成30年11月20日 審査会の設置、事業者選定方法等
- ・第2回 平成31年2月12日 審査方法、評価項目等

（2）県民意見の聴取、機運醸成等

①出前説明会等 10回

- ・倉吉博物館協会（平成30年4月21日）ほか

②美術館フォーラム 1回

- ・平成30年12月5日（土） 倉吉未来中心小ホール
- ・主催：県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会 共催：鳥取県、鳥取県教育委員会
- ・参加者 約350人
- ・基調講演「美術館から感性を磨く」 蓑 豊氏（兵庫県立美術館長・金沢21世紀美術館特任館長）
- ・パネルディスカッション「作ろう！支えよう！みんなの県立美術館」
- ・大会アピール
- ・美術館紹介パネル展示コーナー

③アートの種まきプロジェクトやミュージアムサロン（芸術文化関係者とのディスカッション）、コレクション宅配便（当館の美術コレクションの展示・解説等）は、美術普及事業欄に記載。

◎ 附 録

1 沿 革

昭和22年 4月 1日	鳥取県立公民館規程の制定により鳥取県立鳥取図書館内に鳥取県立公民館が併置され、図書部、科学部、集会部がおかれる。 科学部は「科学研究館」として運営。
昭和24年 7月 1日	鳥取県立公民館規程が廃止され、鳥取県立科学館設置条例に基づき「鳥取県立科学館」が設置される。
昭和24年 7月23日	仁風閣に移転。物理、電気、化学、地学、生物の5部門からなる指導研究室を設置。
昭和27年 7月 1日	昭和27年 7月博物館法の施行により、同法に基づく博物館相当施設として文部大臣の指定を受ける。
昭和29年 7月 1日	登録博物館となる。
昭和29年 7月 1日	鳥取県立科学博物館規程の制定により「鳥取県立科学博物館」と改称。
昭和30年 5月	考古指導研究室設置。
昭和30年 7月	教育研究所等の転出により仁風閣を全館使用。
昭和31年 7月 1日	鳥取県立科学博物館に庶務係及び指導調査係を設置。
昭和38年 3月31日	理工学部門（物理、電気、化学）の廃止。
昭和38年 4月 1日	民俗部門の設置により生物、地学、考古、民俗の4部門となる。
昭和39年 9月 6日	文化センター建設調査費を計上し、施設構想を検討。
昭和43年 9月10日	文化センター敷地について、鳥取市公設運動場と二の丸公園を充てることで知事と鳥取市長が合意。
昭和44年 4月 2日	文化施設の建設促進のため、県に鳥取県立文化施設促進協議会を設置。
昭和44年 5月30日	株式会社日建設計に建設構想図の作成を依頼。
昭和45年 9月15日	鳥取県立博物館の実施設計完了。
昭和45年10月20日	建設工事着工（建設費総額 11億2,904万 6 千円）。
昭和46年 4月 1日	鳥取県立科学博物館に美術係を設置。
昭和47年 4月 1日	鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改称、組織も、管理課（庶務係、設備係）、学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
昭和47年 4月 1日	西本真一 県立鳥取東高等学校長が 館長に就任。
昭和47年 5月31日	建設工事竣工。
昭和47年10月 1日	鳥取県立博物館竣工式、開館式挙行。
昭和48年	仁風閣を鳥取市に委譲。
昭和50年 4月 1日	木代彰 県教育長が館長に就任。
昭和51年12月14日	西尾優 県教育長が館長事務取扱。
昭和52年 4月 1日	前田壽男 県教育次長が館長に就任。
昭和56年 4月 1日	山根幸恵 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年 4月 1日	河田晃 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年 4月 1日	学芸課の係を再編成し、自然係、美術係、人文係とする。
昭和58年 4月 1日	考古・民俗展示室を歴史・民俗展示室に改編。
昭和60年 4月 1日	松本兵衛 県立鳥取図書館長が館長に就任。
昭和60年 6月11日	近代美術展示室を開設。
昭和60年11月 3日	皇太子殿下・同妃殿下が、第21回全国身体障害者スポーツ大会行啓の際当館を御視察。
昭和61年 6月 8日	中国河北省友好訪日団（河北省長ほか5名）来館視察。

昭和62年4月1日	長石肇 県教育次長が館長に就任。
平成4年4月1日	國岡靖夫 県立倉吉東高等学校長が館長に就任。
平成5年11月15日	文化課に県立美術館基本構想検討委員会を設置。
平成6年6月8日	鳥取県立博物館改修計画策定委員会を設置。
平成8年3月28日	鳥取県立博物館の改修について教育長へ提言。
平成9年4月1日	西垣幸信 県立鳥取盲学校長が館長に就任。
平成10年6月16日	中国河北省博物館友好交流団（李吉樹館長ほか4名）が来館。 鳥取県立博物館において、河北省博物館と「友好交流館締結協定書」に調印。
平成10年8月7日～11日	第22回全国高等学校総合文化祭（美術・工芸部門）開催。
平成11年2月8日	熱源機器改修工事完成（平成10年6月着工）。
平成12年9月12日	中国河北省博物館友好交流団（李宏傑副館長ほか5名）が来館。
平成13年4月1日	渡瀬由章 県立鳥取農業高等学校長が館長に就任。
平成13年10月4日	バリアフリー工事着工。
平成14年4月1日	機構改革により美術振興課設置。（文化課・美術館整備調査室及び学芸課美術係の組織再編）
平成14年4月10日	バリアフリー工事完成。 ①玄関アプローチ手すり及び屋内階段の両方に手すり設置 ②喫茶室出入口及び屋内段差をスロープに改修 ③休憩室内手洗い改修（車イス対応） ④身障者用便所を多目的便所に改修（折りたたみシート、オストメイト設置） ⑤視覚障害者誘導用床材設置（玄関アプローチ→正面玄関入口→ホール） ⑥玄関先及び駐車場入口の側溝改修 ⑦エレベーター（身障者対応）及び段差解消リフト設置（2台） ⑧車イス用駐車場整備（駐車場の区画整備） ⑨既設スロープ出隅部面取り ⑩園路出入口段差解消（スロープに改修）及び園路（砂利道）を透水性真砂土に改修
平成14年4月25日	音声誘導設置及びパトランプ設置完成。
平成14年10月13日～27日	第17回国民文化祭・とっとり2002「美術展（日本画・洋画）」開催。
平成14年11月2日	開館30周年記念事業実施。
平成15年3月16日	高円宮妃殿下が故高円宮さま「素顔の一瞬」（仁風閣）鳥取展の際御来館、御視察。
平成15年4月1日	谷口博繁 国民文化祭推進局長が館長に就任。
平成16年4月1日	管理課を総務課に改称。
平成17年4月1日	本庁化となる。併せて、学芸課、美術振興課の係を廃し、担当制となる。
平成18年4月1日	三田清人 文化観光局長が館長に就任。
平成18年4月1日	山陰海岸学習館及び遠山正瑛資料室が新たに附置される。
平成19年7月	久松山、建物及びお堀をイメージしたロゴ・マークを作成。
平成21年4月1日	森谷邦彦 県立県民文化会館館長が館長に就任。
平成21年4月1日	開館時間延長を始める。
平成21年10月	山陰海岸学習館リニューアル整備の着工。
平成22年4月1日	運転監視及び設備保全業務の外部委託開始に伴い、設備係を2名削減する。
平成22年4月24日	山陰海岸学習館リニューアルオープン。
平成22年9月12日	ロシアアルセーニエフ名称沿海地方博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成22年12月10日	韓国江原道国立春川博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成23年7月	博物館カフェリニューアルオープン。

平成23年12月1日	韓国江原道国立春川博物館と「職員相互派遣に関する合意書」を締結。
平成24年3月	山陰海岸学習館屋外トイレ棟増築。 山陰海岸学習館ハートフル駐車場の屋根及び玄関までの通路上屋設置。
平成24年4月1日	山内有明 県立鳥取工業高等学校長が館長に就任。
平成25年1月14日	山陰海岸学習館で3D映像「大地と海の物語」上映開始。
平成25年2月2日	開館40周年記念事業実施。
平成25年10月9日	秋篠宮同妃両殿下が平成25年度全国都市緑化祭の際山陰海岸学習館御来館、御視察。
平成26年1月	山陰海岸学習館屋外倉庫新築。
平成26年3月4日	山陰海岸学習館で3D映像「神秘と生命（いのち）の物語」上映開始。
平成26年3月17日	「山陰海岸学習館の在り方について」の報告書を教育長に提言。
平成26年4月1日	大場尚志 東京本部長が館長に就任。
平成26年6月	山陰海岸学習館EV充電器設置。
平成26年6月27日	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会を設置。
平成26年11月1日～2日	秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下が第14回全国障がい者芸術・文化祭ととり大会の際御来館
平成27年12月	山陰海岸学習館屋上防水他工事完成。
平成27年1月	県立博物館第3展示室改修工事完成。
平成27年2月	県立博物館1階休憩コーナー造作改修工事、1階喫茶室ガラス取替え工事完成。
平成27年3月	鳥取県立博物館劣化診断・改修計画策定業務完了。
平成27年3月26日	「山陰海岸学習館の機能充実に向けた対策基本計画」策定
平成27年4月7日	「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」を教育長に提言。
平成27年6月26日	博物館等地方独立行政法人制度研究会を設置。
平成27年7月1日	総務課に「美術館整備推進担当」を設置。
平成27年7月17日	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会を設置。
平成28年2月2日	山陰海岸学習館でダイオウイカ標本の展示公開。
平成28年2月17日	鳥取県立美術館整備基本構想における建設候補地について、鳥取県立美術館候補地評価等専門委員による現地調査及び条件適合性の評価を開始。
平成28年3月29日	「山陰海岸学習館の展示更新等の計画」策定。
平成28年4月1日	山陰海岸学習館を生活環境部に移管。山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館として、新生岩美町立渚交流館と一体的な運営を開始。
平成28年10月	美術館整備に関する県民意識調査を実施。
平成28年12月	外壁等改修工事完成。
平成29年1月	美術館の建設場所に関する県民意識調査を実施。
平成29年3月3日	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本構想を決定。
平成29年3月	県議会において、建設場所（倉吉市営ラグビー場）を含む基本構想を基にした基本計画策定及びPFI手法導入可能性調査等の実施経費予算が議決。
平成29年4月1日	田中規靖 県教育委員会次長が館長に就任。
平成29年4月1日	総務課美術館整備推進担当を総務課から切り離し、「美術館整備準備室」を設置。
平成29年8月	鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会を設置。
平成30年3月	鳥取県立美術館整備基本計画（中間まとめ）を策定。
平成30年7月	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本計画を策定。
平成30年11月20日	鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）を設置。
平成31年3月19日	鳥取県立美術館（仮称）整備運営事業実施方針の策定、公表。

2 施設の概要

(1) 鳥取県立博物館

〈規模〉

構 造 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、一部3階

面積 敷地面積 14,228m²

建築面積 3,576m²

延床面積 9,699m²

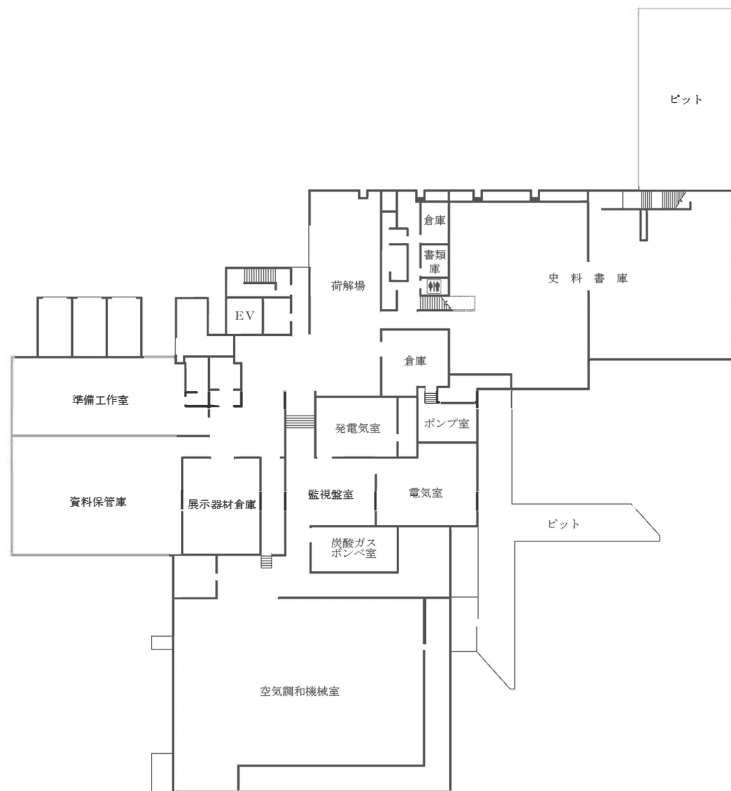
地階 2,668m² 1階 3,623m² 2階 2,606m² 3階 706m²

屋上階 58m² 屋外倉庫（別棟） 38m²

〈主要設備〉

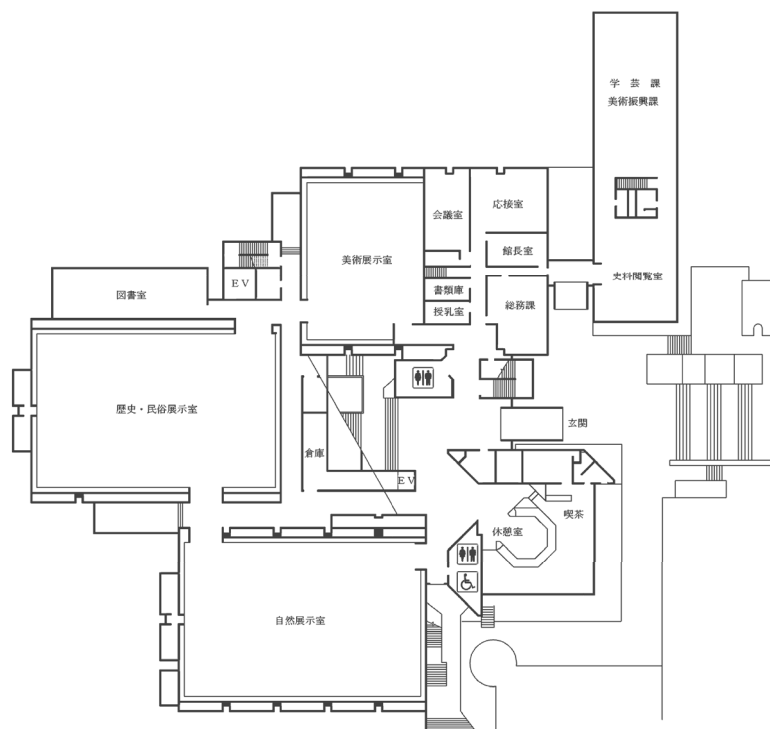
- ① 空気調和設備（温湿度調整）
- ② 収蔵庫、常設・特別展示室、炭酸ガス消火設備 50kgボンベ 112本
- ③ 予備発電設備 6,600V・250KVA
- ④ エレベーター設備 人荷用：定員 59名、積載荷重 3,900kg、1基
乗用：定員 11名、積載荷重 750kg、1基

地階平面図



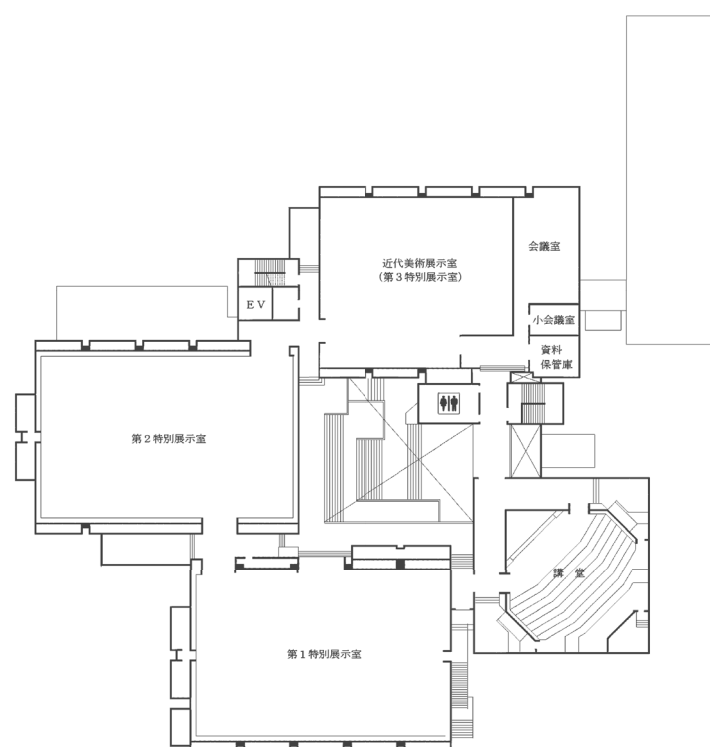
資 料 保 管 庫	217㎡
史 料 書 庫	496㎡
展 示 器 材 倉 庫	97㎡
準 備 工 作 室	159㎡
倉 庫 (2)	82㎡
荷 解 場	99㎡
暗 室	13㎡
監 視 盤 室	118㎡
発 電 機 室	71㎡
電 氣 室	67㎡
空 気 調 和 機 械 室	727㎡
炭 酸 ガ ス ボ ン ベ 室	43㎡
ポ ン プ 室	50㎡
警 備 関 係 室	31㎡
書 類 庫	10㎡
従 業 員 控 室	9㎡
ト イ レ	5㎡

1階平面図



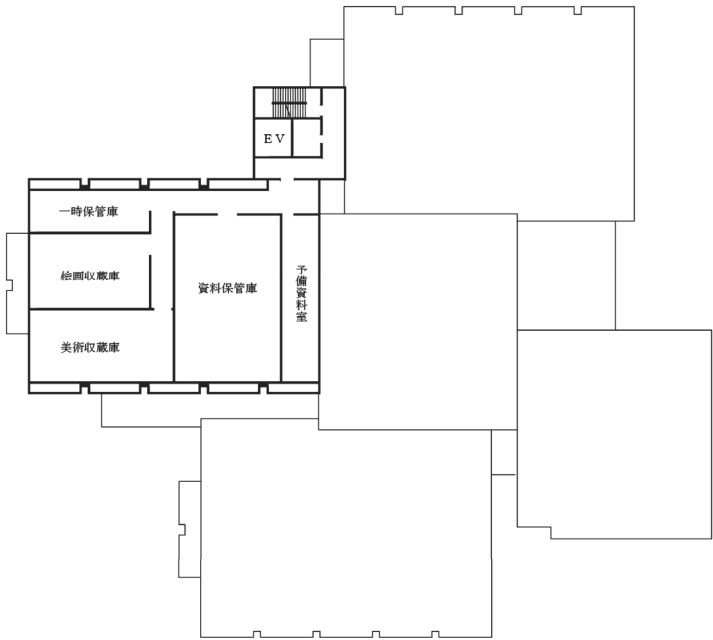
自然展示室	515㎡
歴史・民俗展示室	515㎡
美術展示室	260㎡
喫茶・休憩室	182㎡
休憩室(2)	66㎡
応接室	60㎡
館長室	26㎡
総務課	68㎡
学芸・美術振興課	170㎡
史料閲覧室	111㎡
図書室	108㎡
会議室	50㎡
書類庫	10㎡
授乳室	14㎡
倉庫(階段下)	110㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
トイレ(2)	49㎡

2階平面図



第1特別展示室	515㎡
第2特別展示室	515㎡
近代美術展示室 (第3特別展示室)	374㎡
講堂・映写室	206㎡
会議室・小会議室	107㎡
資料保管庫	22㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
休憩室(2)	66㎡
トイレ	30㎡

3階平面図



収	蔵	庫	258m ²		
資	料	保	管	庫	172m ²
予	備	資	料	室	60m ²

3 昭和47年度～平成30年度利用統計

年度	区分	常 設 展			特 別		展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般	計	展 覧 会 名	開館 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講 堂	計	
昭和47年度 (148日)	個人				人					人		人	人	人	人	人	人
	16,804	4,231	44,662	65,697		開館記念											
	団体	23,831	4,714	6,947	35,492	郷土美術名作展 (10.1～10.22)	22	(28,563)	(6,437)	(28,213)	(63,213)	1,686	83	32,954	1,431	34,385	137,748
	計	40,635	8,945	51,609	101,189												
昭和48年度 (306日)	個人					第4回 日 展 (4.7～4.29)	23	9,072	6,148	15,126	30,346						
	10,083	2,109	23,891	36,083		日本伝統工芸秀作展 (5.8～5.21)	14	964	309	3,953	5,226						
	団体	14,289	214	5,137	19,640	郷土の美術展 } 世界の蝶展 }	22	5,792	1,464	4,751	12,007	1,700	608	58,311	4,009	62,320	169,181
	計	24,372	2,323	29,028	55,723			15,828	7,921	23,830	47,579						
昭和49年度 (307日)	個人					前田寛治とその仲間展 (4.28～5.19)	22	2,804	1,631	3,666	8,101						
	8,858	1,539	21,225	31,622		人類の進化と旧石器展 (7.28～8.26)	30	4,341	831	5,018	10,190	2,855	621	56,738	3,603	60,341	144,650
	団体	12,967	582	5,283	18,832	日本近世の美術工芸展 (10.13～11.4)	23	3,360	1,732	5,747	10,839						
	計	21,825	2,121	26,508	50,454			10,505	4,194	14,431	29,130						
昭和50年度 (310日)	個人					郷土名刀展 (5.11～6.1)	22	745	255	3,092	4,092						
	8,594	1,430	22,815	32,839		鳥取の明治風俗展 (8.2～8.31)	30	2,783	407	4,951	8,141	2,975	755	23,212	2,904	26,116	103,643
	団体	11,246	1,287	5,362	17,895	鉄 斎 展 (10.18～11.9)	23	2,902	1,171	5,774	9,847						
	計	19,840	2,717	28,177	50,734			6,430	1,833	13,817	22,080						
昭和51年度 (311日)	個人					世界の貝展 (4.16～5.30)	45	11,047	1,932	10,369	23,348						
	7,097	1,088	18,097	26,282		松方コレクション展 (10.9～11.7)	30	15,804	10,202	26,290	52,296	2,231	618	83,822	4,803	88,625	212,031
	団体	10,102	274	7,157	17,533												
	計	17,199	1,362	25,254	43,815			26,851	12,134	36,659	75,644						

年度	区分	常 設 展			特 別			展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館 日数	展 覧 会 名	開館 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講 堂 会議室	計	
昭和52年度 (314日)	個人	6,633	1,072	21,001	人	21	第8回日展 (4.29～5.19)	21	6,219	2,557	13,035	21,811	人	人	人	人	人	114,720
	団体	9,983	1,443	5,606	28,706	22	文化庁買上 優秀美術作品展 (8.6～8.26)	22	1,338	339	3,454	5,131	973	984	7,594	5,425	13,019	
	計	16,616	2,515	26,607	45,738	30	失われた生物展 (10.8～11.6)	30	16,233	1,604	7,746	25,583						
							計		23,790	4,500	24,235	52,525						
昭和53年度 (312日)	個人	6,885	1,062	22,959	30,906	23	近代日本画名作展 (4.29～5.21)	23	4,064	1,519	6,585	12,168						126,878
	団体	11,454	1,974	6,629	20,057	29	世界の現代陶芸展 (7.20～8.17)	29	782	360	2,091	3,233	2,008	1,150	37,614	6,600	44,214	
	計	18,339	3,036	29,588	50,963	30	縄文の文化展 (10.7～11.5)	30	6,793	1,085	3,839	11,717						
							計		11,639	2,964	12,515	27,118						
昭和54年度 (312日)	個人	6,676	924	25,049	32,649	23	山陰の仏教美術展 (4.28～5.20)	23	2,741	671	5,636	9,048						167,365
	団体	10,412	1,331	7,607	19,350	23	科学者レオナルド・ダ・ビンチ展 (8.4～8.26)	23	4,459	656	5,380	10,495						
	計	17,088	2,255	32,656	51,999	30	日本海100万年展 (10.6～11.4)	30	8,744	775	4,624	14,143	2,576	545	65,403	7,918	73,321	
						15	現代美術選抜展 (12.8～12.22)	15	1,130	455	2,171	3,756						
昭和55年度 (309日)	個人	7,768	919	22,776	31,463	30	日本の人形文化展 (4.26～5.25)	30	2,504	442	3,980	6,926						115,055
	団体	10,135	2,927	4,970	18,032	23	第11回日展 (6.14～7.6)	23	2,390	742	9,170	12,302	850	456	32,357	4,729	37,086	
	計	17,903	3,846	27,746	49,495	22	関西洋画の名作展 (10.18～11.9)	22	2,970	495	3,063	6,528						
							計		7,864	1,679	16,213	25,756						
昭和56年度 (309日)	個人	10,674	959	26,525	38,158	23	近世の衣裳美術展 (4.25～5.17)	23	960 (7,393)	537 (352)	3,566 (7,696)	5,063 (15,441)						144,625
	団体	13,210	1,885	5,831	20,926	16	鳥取県1000年展 (9.12～9.27・10.4～10.11・10.21～10.28)	16	20,346 ※()内は、鳥取会場(県立博物館)の入場者数	552	12,049	32,947	800	1,012	30,606	4,000	34,606	
	計	23,884	2,844	32,356	59,084	21	日本美術展 (10.25～11.15)	21	4,315	961	4,246	9,522						
							計		25,621	2,050	19,861	47,532						

年度	区分	常 設 展			特 別			展 覧			普及活動			研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般	計	展 覧 会 名	開館 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講 堂 会議室	計	
昭和57年度 (297日)	個人	7,142	625	20,152	27,919	生きてゐる化石展 (4.28～5.23)	26	10,117	583	7,731	18,431	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	7,078	1,058	4,180	12,316	藩政時代の写生画と文人画展 (8.7～8.29)	23	655	70	3,542	4,267	879	551	1,352	73,884	26,760	5,850	32,610	106,494
	計	14,220	1,683	24,332	40,235	内外美術名作展 (10.1～10.17)	17	3,405	494	4,270	8,169	15,543	30,867						
						計		14,177	1,147										
昭和58年度 (298日)	個人	4,641	450	15,817	20,908	世界の児童画展 (4.29～5.29)	27	7,120	130	3,106	10,356								
	団体	7,914	1,332	3,783	13,029	地球のふしぎ展 (7.16～8.21)	32	3,966	218	3,921	8,105	559	3,656 (3,110)	936	63,316 (3,110)	20,186	5,980	26,166	89,482 (3,110)
	計	12,555	1,782	19,600	33,937	辻 晉 堂 展 (9.23～10.23)	27	2,929	415	2,423	5,767								
						計		14,015	763	9,450	24,228								
昭和59年度 (306日)	個人	5,134	578	17,227	22,939	は に わ 展 (4.28～5.27)	27	7,519	292	3,266	11,077								
	団体	5,878	646	3,953	10,477	京 の 染 展 (7.7～7.29)	20	231	278	1,592	2,101	848	2,785 (2,115)	1,057	59,884 (2,115)	11,636	6,435	18,071	77,955 (2,115)
	計	11,012	1,224	21,180	33,416	近代日本美術の巨匠展 (10.6～11.4)	26	3,997	284	4,319	8,600								
						計		11,747	854	9,177	21,778								
昭和60年度 (301日)	個人	4,957	642	21,486	27,085	神 々 の 美 術 展 (4.27～5.26)	27	1,412	197	3,206	4,815								
	団体	5,594	853	4,344	10,791	昆 虫 の 世 界 展 (7.26～8.25)	27	6,238	146	6,083	12,467	935	2,820 (2,562)	1,117	60,030 (2,562)	28,773	5,240	34,013	94,043 (2,562)
	計	10,551	1,495	25,830	37,876	計		7,650	343	9,289	17,282								
						山 陰 の 大 名 展 (4.26～5.25)	27	4,035	465	7,386	11,886								
昭和61年度 (303日)	個人	5,550	621	22,631	28,802	日本近代洋画の歩み展 (10.7～11.3)	26	2,961	756	4,724	8,441	1,449	4,501 (4,170)	1,211	68,727 (4,170)	35,379 (2,462)	6,020	41,399 (2,462)	110,126 (6,632)
	団体	6,166	939	5,332	12,437	計		6,996	1,221	12,110	20,327								
	計	11,716	1,560	27,963	41,239														

年度	区分	常 設 展			特 別		展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館 日数	展 覧 会 名	小・中学生	高校生	一般	計			館内	館外	展示室	
昭和62年度 (305日)	個人				人		狩 野 派 の 名 宝 展 (4.25～5.24)	人	611	6,695	8,874	人		人		人	人
	団体	4,960	562	23,181		27	恐 竜 と 鳥 獣 の 歴 史 展 (8.1～8.30)	1,568	258	9,813	18,377	1,766	1,064 (761)	21,757 (4,959)	8,936	30,693 (4,959)	114,205 (5,720)
	計	7,335	954	9,091		26	開 港 へ の 序 曲 展 (9.6～9.23)	8,306	142	3,612	6,147						
		12,295	1,516	32,272		18	計	2,393	1,011	20,120	33,398						
昭和63年度 (301日)	個人					26	近代版画のあけぼの展 (4.23～5.22)	人	42	2,166	3,787						
	団体	7,976	750	30,344		28	くらしを支える匠の世界展 (10.7～11.6)	1,579	120	3,140	6,386	1,347	6,228 (6,071)	33,827 (1,952)	9,178	43,005 (1,952)	115,547 (8,023)
	計	5,583	841	8,091			計	3,126	162	5,306	10,173						
		13,559	1,591	38,435				4,705									
平成元年度 (306日)	個人					28	山 陰 の 海 展 (7.28～8.27)	人	155	4,757	7,866						
	団体	5,303	702	27,696		27	現代美術の創造者たち展 (10.10～11.9)	2,954	87	2,728	4,957	1,263	14,942 (14,834)	28,743 (1,664)	11,010	39,753 (1,664)	122,326 (16,498)
	計	8,720	807	9,123			計	2,142	242	7,485	12,823						
		14,023	1,509	36,819				5,096									
平成2年度 (304日)	個人					21	濱 田 台 児 展 (4.28～5.20)	人	77	3,626	4,318						
	団体	5,011	700	25,818		28	車弥呼の時代をさぐる展 (7.27～8.26)	615	244	5,743	8,873	1,592	7,462 (7,265)	36,522 (3,100)	9,224	45,746 (3,100)	122,169 (10,365)
	計	6,002	677	6,722		27	石 橋 美 術 館 名 品 展 (10.5～11.4)	2,886	129	5,547	8,121						
		11,013	1,377	32,540			計	5,946	450	14,916	21,312						
平成3年度 (305日)	個人					28	マンモスと人類の時代展 (7.26～8.25)	人	356	10,470	18,321						
	団体	4,534	702	27,667		28	谷文晁とその周辺の画家たち展 (10.5～11.4)	7,495	13	3,278	4,597	1,354	6,161 (5,888)	45,397	9,744	55,141	134,800 (5,888)
	計	6,790	1,106	7,139			計	1,306	369	13,748	22,918						
		11,324	1,808	34,806				8,801									

年度	区分	常 設 展			特 別		展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般	計	展 覧 会 名	開館 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講 堂 会議室	計	
平成4年度 (298日)	個人	4,832	627		人	まつり・獅子と龍 (7.24～8.23)	28	1,096	90	2,847	4,033	人	人	人	人	人	人
	団体	5,757	992	6,020	12,769	近代の日本画 (10.9～11.8)	28	1,096	35	3,882	5,013	1,238	3,698 (3,550)	45,683	8,910	54,593	115,277 (3,550)
	計	10,589	1,619	33,334	45,542	計		2,192	125	6,729	9,046						
平成5年度 (303日)	個人	4,836	679	26,943	32,458	大海獣 (7.30～8.29)	28	3,858	233	6,625	10,716						
	団体	6,276	628	5,710	12,614	工芸美術の華 (10.9～11.8)	28	665	12	2,257	2,934	1,101	5,616 (5,415)	43,970	6,905	50,875	117,338 (5,415)
	計	11,112	1,307	32,653	45,072	計		4,523	245	8,882	13,650						
平成6年度 (307日)	個人	3,343	477	20,296	24,116	水木しげると日本の妖怪 (4.23～5.22)	28	3,816	241	8,558	12,615						
	団体	7,193	224	4,701	12,118	明治維新と鳥取 (10.7～11.6)	28	2,418	43	3,913	6,374	829	2,305 (2,180)	31,633	4,767	36,400	95,619 (2,180)
	計	10,536	701	24,997	36,234	計		6,234	284	12,471	18,989						
平成7年度 (305日)	個人	3,010	480	20,626	24,116	生命40億年のあゆみ (7.28～8.27)	28	4,669	204	6,929	11,802						
	団体	3,607	364	4,582	8,553	生涯100年記念・里見勝蔵 (10.6～11.5)	28	74	40	1,546	1,660	931	1,626 (1,466)	28,764	4,425	33,189	83,257 (1,466)
	計	6,617	844	25,208	32,669	計		4,743	244	8,475	13,462						
平成8年度 (311日)	個人	3,646	431	20,677	24,754	大國主と大黒天 (4.26～5.26)	28	3,05	31	3,210	3,546						
	団体	4,532	792	2,541	7,865	中西国の画家たち展 (6.8～6.30)	20	54	94	1,967	2,115	1,393 (1,115)	7,774 (7,607)	25,915	3,694	29,609	86,329 (1,115) (7,607)
	計	8,178	1,223	23,218	32,619	大唐王朝の華 (7.14～8.18)	32	342	34	3,692	4,068						
						前田寛治 (9.29～11.4)	32	1,060	222	12,912	14,194						
						計											

年度	区分	常 設 展			県 展	特 別			展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		小・中学生	高校生	一般		計	開館 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講義 会議室	人	
平成9年度 (318日)	個人					31	1,686	97	3,052	4,835									人
	団体	2889	430	19934	23253 (第41回)	26	47	27	4176	4250	1541 [205]	9109 (8,767)	837	61364 [205] (8,767)	48595	3423	52018	113382 [205] (8,767)	
	計	3495	219	2273	5987 5441	26	449	115	5547	6111									
		6384	649	22207	29240		2182	239	12775	15196									
平成10年度 (305日)	個人					29	733	233	3260	4226									
	団体	4824	499	19948	25271 (第42回)	27	164	148	3171	3483	1385 [149]	4918 (4,717)	1021	54257 [149] (4,717)	36098	3445	39543	93800 [149] (4,717)	
	計	3663	1416	2962	8041 5912		897	381	6431	7709									
		8487	1915	22910	33312														
平成11年度 (308日)	個人					30	4673	132	8324	13129									
	団体	2829	301	17234	20364 (第43回)	28	25	12	2157	2194	1337 [278]	15007 (14,762)	1138	65188 [278] (14,762)	42667	4110	46777	111965 [278] (14,762)	
	計	3370	703	2827	6900 5119		4698	144	10481	15323									
		6199	1004	20061	27264														
平成12年度 (312日)	個人					29	1351	140	4690	6181									
	団体	2971	313	15778	19062 (第44回)	27	71	140	2889	3100	2878 [198]	13039 (12838)	902	57945 [198] (12838)	29526	3471	32997	90942 [198] (12,838)	
	計	3136	958	3540	7634 5149		1422	280	7579	9281									
		6107	1271	19318	26696														
平成13年度 (312日)	個人					28	1642	51	3342	5035									
	団体	4322	704	27622	32648 (第45回)	29	382	101	3101	3584	2073 [180]	11773 (11,566)	621	67631 [180] (11,566)	49917	3321	53238	120869 [180] (11,566)	
	計	2976	651	3411	7038 4859		2024	152	6443	8619									
		7298	1355	31033	39686														

年度 区分	常 設 展					県 展	特 別 展					普及活動			研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
	幼児	小・中・高・大	学生	一般	計		幼児	小・中・高・大	学生	一般	計	館内	館外	人			展示室	講堂・会議室	人	
平成14年度 (322日)	個人	4,829	908	20,886	26,623	(第46回) 4,426	人	275	261	3,082	3,618	人	人	人	780	76,315 (1,745) (5,832)	36,793	3,029	39,822	116,137 (1,745) (5,832)
	団体	1,621	850	3,132	5,603	4,426	人	950	256	6,274	7,480	23,48 (1,745)	7,382 (5,832)	人						
	計	6,450	1,758	24,018	32,226	4,426	人	2,333	348	8,210	10,891	23,48 (1,745)	7,382 (5,832)	人						
平成15年度 (323日)	個人	1,464	2,813	18,277	23,027	(第47回) 4,918	人	709	477	11,365	24,087	人	人	人	626	79,715 (1,745) (5,832)	41,211	4,095	45,306	125,021 (1,745) (5,832)
	団体	0	2,357	2,783	5,319	4,918	人	1,023	18	3,323	4,393	22,92 (1,745)	11,521 (5,832)	人						
	計	1,464	5,170	21,060	28,346	4,918	人	399	30	3,019	3,532			人						
平成16年度 (333日)	個人	1,911	3,955	18,893	25,185	(第48回) 4,673	人	3,914	512	9,357	15,151	人	人	人	918	67,855 (463) (4,240)	29,639	2,822	32,461	100,316 (463) (4,240)
	団体	0	3,127	2,161	5,915	4,673	人	1,312	569	6,054	8,048	3,145 (463)	4,820 (4,240)	人						
	計	1,911	7,082	21,054	31,100	4,673	人	5,226	1,081	15,411	23,199			人						
平成17年度 (338日)	個人	1,045	2,489	17,614	21,707	(第49回) 3,806	人	864	422	13,404	27,111	人	人	人	1,127	94,888 (465) (24,298)	27,738	3,408	31,146	126,014 (465) (24,298)
	団体	317	2,306	2,119	5,468	3,806	人	844	960	2,601	4,719	22,71 (465)	24,926 (24,298)	人						
	計	1,362	4,795	19,733	27,735	3,806	人	9,669	1,743	18,327	35,003			人						
平成18年度 (334日)	個人	3,906	7,034	17,932	30,403	(第50回) 4,121	人	61	97	2,153	2,371	人	人	人	472	79,208 (160) (23,731)	26,682	2,047	28,729	107,937 (160) (23,731)
	団体	335	2,648	1,569	5,324	4,121	人	686	169	6,367	7,609	16,56 (160)	24,276 (23,731)	人						
	計	4,241	9,682	19,501	35,727	4,121	人	1,350	725	10,235	12,956			人						

年度 区分	常 設 展					展 覧 名	特 別					展 覧				普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
	幼児	小・中学生	高校生	学生	一般		計	幼児	小・中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	展示室	講堂 会議室			計			
平成19年度 (280日)	個人	2079	3832	568		中ハシ 克シゲ展 (4.28～5.27)	35	403	108	64	1138	1748											
	団体					石谷コレクション展 (6.2～7.1)	38	65	20	27	2546	2696											
	計	435	1780	101	40	挑戦者たち (7.14～8.26)	2101	4074	375	311	5900	12761											
						万里の長城写真展 (10.3～10.24)	(121)	(185)	(12)	(28)	(2070)	(2416)											
		2514	5612	669	630	ヴェネツィア絵画のきらめき (11.3～12.9)	107	1080	1217	278	5170	7852	2093 [376]	38759 (19590)	577	98602 [376] (19590)	24920	1272	26192	124794 [376] (19590)			
平成20年度 (334日)	個人	3251	6115	1119	965	前田寛治のバリ (5.19～6.22)	90	173	197	160	3583	4203											
	団体	86	2188	413	16	ようこそ恐竜ラボへ！ (7.19～8.24)	4073	7730	382	340	9991	22516											
	計	3337	8303	1532	981	はじまりの物語 (10.4～11.9)	34	757	92	100	3820	4803	2322 [614]	7598 (971)	404	82858 [614] (971)	29924	1701	31625	114483 [614] (971)			
						シュルレアリスムとその周辺 (11.22～12.23)	60	271	935	289	2143	3698											
						郷土作家展 海の刻	7	18	6	17	663	711											
平成21年度 (332日)	個人	1370	3031	566	918	京の日本画 (4.4～5.10)	88	554	459	193	5064	6358											
	団体	246	2105	532	163	印象派からフォーヴへ (7.22～8.30)	88	638	520	445	3996	5687											
	計	1616	5136	1098	1081	挑戦！頭脳パズルボックス (10.10～11.8)	922	3472	723	259	3695	9071	2551 [761]	8702 (2184)	416	65426 [761] (2184)	38331	1800	40131	105557 [761] (2184)			
						前田昭博 (11.21～12.20)	30	509	84	75	2888	3586											
						新収蔵品展 (1.16～2.14)	112	154	39	45	2267	2617											
					計	1240	5327	1825	1017	17910	27319												

年度	区分	常設展					特 別					展 望					普及活動			許可利用		合 計
		幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	展覧会名	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	研究相談	小計	展示室	講堂 会議室	計	
平成22年度 (336日)	個人	1,990	4,276	622	789	16,551	24,228	楊谷と元旦 (5.22～6.20)	36	60	132	156	3,346	3,730	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	191	1,476	114	36	844	2,661	シーラカンス (7.17～8.29)	1,235	3,529	532	414	5,382	11,092								
	計	2,181	5,752	736	825	17,395	26,889	海と生きる (10.9～11.14)	49	447	30	102	2,053	2,681	1,943 〔432〕	3,452	295	57,990 〔432〕	47,808	1,648	49,456	107,446 〔432〕
								彫刻家辻菅堂展 (11.27～1.10)	42	468	211	129	1,668	2,518								
平成23年度 (338日)	個人	3,039	5,639	586	779	19,305	29,348	森岡柳蔵 (4.9～5.22)	51	709	61	147	2,998	3,966								
	団体	327	2,706	182	111	1,854	5,180	O C E A N ! (7.16～8.28)	2,489	4,985	611	498	7,899	16,482								
	計	3,366	8,345	768	890	21,159	34,528	大久保英治 (11.16～12.25)	69	463	16	59	1,144	1,751	1,745 〔414〕	10,191	236	75,637 〔414〕	22,169	2,200	24,369	100,006 〔414〕
								鳥取鉄道物語 (2.11～3.20)	751	883	102	172	4,830	6,738								
平成24年度 (334日)	個人	2,541	4,975	856	1,371	24,819	34,562	柳宗悦展 (4.7～5.20)	165	674	81	218	6,970	8,108								
	団体	343	2,946	467	67	1,472	5,295	大きのこ展 (7.14～9.2)	2,222	5,028	703	1,126	11,011	20,090								
	計	2,884	7,921	1,323	1,438	26,291	39,857	須田国太郎展 (10.20～11.25)	26	419	206	94	2,171	2,916	2,807 〔462〕	2,852	182	82,687 〔462〕	22,806	1,609	24,415	107,102 〔462〕
								発掘された日本列島 (1.12～2.24)	153	379	52	85	2,699	3,368								
平成25年度 (354日)	個人	2,138	3,532	547	700	19,018	25,935	サルとヒト (7.13～8.25)	916	2,226	262	322	4,032	7,758								
	団体	479	1,899	276	40	2,304	4,998	ファインバーグ展 (10.5～11.10)	88	472	256	160	8,065	9,041								
	計	2,617	5,431	823	740	21,322	30,933	鳥取藩二十二年 (11.23～12.23)	60	262	37	74	2,677	3,110	2,794 〔207〕	4,397	350	63,756 〔207〕	33,354	1,302	34,656	98,412 〔207〕
								Variations—絵画の光景 (1.11～2.14)	47	228	27	59	1,289	1,650								
平成25年度 (354日)	個人	2,138	3,532	547	700	19,018	25,935	菅 楠彦展 (2.22～4.6)	48	199	99	133	3,244	3,723								
	団体	479	1,899	276	40	2,304	4,998		1,159	3,387	681	748	19,307	25,282								
	計	2,617	5,431	823	740	21,322	30,933															

年度	区分	常 設 展					特 別					展 望					普及活動			研究 相談	小 計	許 可 利 用			合 計
		幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	展示室	講堂 会議室	計							
平成26年度 (331日)	個人	人				人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	2,344	3,988	592	1,239	19,169	27,332	60	325	295	217	3,147	4,044													
	176	2,524	523	28	1,327	4,578	169	230	95	59	2,353	2,906													
	計	2,520	6,512	1,115	1,267	20,496	31,910	1,468	3,198	265	633	6,162	11,726	2,263 〔481〕	8,537	14,193	1,541	15,734	66,504 〔481〕	485	66,504 〔481〕	15,734	82,238 〔481〕		
平成27年度 (336日)	個人	5,486	8,541	889	1,095	32,320	48,331	92	432	584	157	5,439	6,704												
	156	1,799	564	57	1,288	3,864	6,198	8,978	525	550	14,253	30,504													
	5,642	10,340	1,453	1,152	33,608	52,195	29	412	52	135	3,556	4,184	2,727 〔757〕	6,972	24,809	2,497	27,306	109,839 〔757〕	437	109,839 〔757〕	27,306	137,145 〔757〕			
	計							76	353	57	101	2,707	3,294												
平成28年度 (331日)	個人	2,208	4,431	504	714	19,406	27,263	54	168	67	265	2,932	3,486												
	173	1,987	281	218	1,660	4,319	1,602	4,259	172	-	7,327	13,360	2,157 〔443〕	7,653	22,433	998	23,431	66,311 〔443〕	552	66,311 〔443〕	998	89,742 〔443〕			
	2,381	6,418	785	932	21,066	31,582	87	747	407	192	2,889	4,322													
	計							21	17	-	-	1,656	1,694												
平成29年度 (330日)	個人	3,044	4,294	751	932	20,628	29,649	78	208	59	173	5,519	6,037												
	236	1,778	294	38	1,769	4,115	2,276	3,493	233	392	6,124	12,518													
	3,280	6,072	1,045	970	22,397	33,764	63	598	29	-	3,315	4,005	3,092 〔627〕	5,897	22,736	1,740	24,476	74,564 〔627〕	597	74,564 〔627〕	1,740	99,040 〔627〕			
	計							51	332	111	-	2,467	2,961												

区分 年度	常 設 展					特 別	展 覧 会 名					展 覧 場 所				普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用		合 計
	幼 児	小・中 学 生	高 校 生	学 生	一 般		計	館 内	館 外	講 堂 會議室	計											
平成30年度 (328日)	個人	1,927	3,376	501	658	21,909	大山 (6.2～7.1) 展	人	37	80	53	-	2,423	2,593	人	人	人	人	人	人	人	
	団体	206	1,657	135	32	3,941	とっとりの化石EXPO! (7.14～8.26)	1,717	3,773	239	-	6,144	11,873									
	計	2,133	5,033	636	690	25,850	土方 稲嶺 (10.6～11.11) 展	34	826	154	-	3,641	4,655	2,717 [799]	5,358	36,253	2,711	38,964	95,634 [799]	人		
							ミュージアムと創造的対話02 (11.23～12.24) Our Collections! (23～318) 計	63	201	88	130	1,194	1,676									
								73	61	26	67	1,285	1,512									
								1,924	4,941	560	197	14,687	22,309									

- (1) 普及活動・館内欄の〔 〕は、常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、同欄においては外数、館外欄の()は巡回展入場者数で内数
- (2) 許可利用・展示室欄の()は共催展入場者数で内数
- (3) 平成19年度から「特別展」を「企画展」に名称変更
- (4) 平成28年度企画展「宇治への挑戦」及び「大◎荒神展」に係る、高校生・学生の「-」は一般へ計上
- (5) 平成29年度企画展「池田光政展」に係る、学生の「-」は一般へ計上
- (6) 平成30年度企画展「大山展」、「とっとりの化石EXPO!」、「土方稲嶺展」に係る、学生の「-」は一般へ計上

4 昭和47年度～平成18年度催物展（企画展）開催状況

年度	展 覧 会 名	期 間	会 場	摘 要
S47	鳥取県の民俗年中行事写真展	S48. 3. 3 ～ S48. 3.25	第2展示室	
48	博物館美術資料館蔵品展	S48. 7.31 ～ S48. 8.19	第3展示室	
49	日 本 の 野 鳥 展	S49. 5.21 ～ S49. 6. 9	〃	
	大 工 道 具 展	S50. 3.15 ～ S50. 3.30	〃	
50	日 本 の 野 鳥 展	S50. 4.26 ～ S50. 5. 9	〃	
	美 術 収 蔵 品 展	S50. 6.17 ～ S50. 7.13	〃	
	空 から 見 た 郷 土 写 真 展	S50. 9.13 ～ S50. 9.24	第2展示室	
	島 田 元 旦 展	S51. 2.24 ～ S51. 3.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 絵 図 展	S51. 3.27 ～ S51. 4.11	〃	
51	郷 土 に 伝 わ る 仏 画 展	S51. 6.22 ～ S51. 7.11	〃	
	博 物 館 資 料 鉤 物 展	S51. 7.27 ～ S51. 8.18	〃	
	発掘展 因伯の古代を掘る	S51. 8.24 ～ S51. 9.12	〃	
	失 わ れ た 漁 具 展	S51.11.14 ～ S51.11.28	〃	
	公 募 科 学 写 真 展	S52. 3.13 ～ S52. 3.27	第2展示室	
52	日 本 列 島 の 野 鳥 展	S52. 5.28 ～ S52. 6.19	第3展示室	
	冬 の 民 具 展	S52.11.12 ～ S52.11.27	〃	
53	山 陰 海 岸 の 生 物 展	S53. 5.27 ～ S53. 6.18	〃	
	美 術 資 料 館 蔵 品 展	S53. 6.22 ～ S53. 7. 9	第1展示室 第3展示室	
	秋 の キ ノ コ 展	S53.11.11 ～ S53.12. 3	第3展示室	
	民 俗 行 事 写 真 展	S54. 3.10 ～ S54. 3.25	〃	
54	発掘資料展 ―秋里遺跡を掘る―	S54. 6. 1 ～ S54. 6.15	〃	
	古 文 書 展 と 古 地 図 展	S54. 6.23 ～ S54. 7. 8	〃	
	石 谷 美 術 コ レ ク シ ョ ン 展	S55. 1. 8 ～ S55. 1.27	第1展示室 第2展示室 第3展示室	
	空 から 見 た 郷 土 写 真 展	S55. 3. 1 ～ S55. 3.16	第2展示室	
	ア イ ン シ ュ タ イ ン 生 誕 1 0 0 年 記 念 写 真 展	S55. 3. 1 ～ S55. 3.16	第3展示室	京都ドイツ文化センター共 催、鳥取大学協賛
55	古 文 書 展 ～ 因 ・ 伯 の 木 綿 ～	S55. 7.13 ～ S55. 7.20	〃	
	自 然 資 料 展	S55. 8. 2 ～ S55. 8.31	〃	
	旧 鳥 取 駅 資 料 展	S56. 3. 7 ～ S56. 3.22	〃	
56	シカゴ・ランドフォールプレス版画展 ～ 現代アメリカの版画～	S56. 6.16 ～ S56. 6.28	〃	
57	自 然 資 料 展	S57. 7.17 ～ S57. 7.31	〃	
	館 蔵 美 術 資 料 展	S57.11. 3 ～ S57.11.23	第1展示室	
	鳥 取 城	S58. 3.20 ～ S58. 4. 3	第3展示室	
58	前 ～ 田 彩 と 寛 素 描 ～ 堀 家 資 料 展 ～ 儒家堀家をめぐる人々～	S58. 4. 9 ～ S58. 6.26	〃	
		S58.11. 1 ～ S58.11.20	〃	
59	生 駒 標 本 展	S59. 8. 7 ～ S59. 8.30	〃	
	空 から 見 た 郷 土 写 真 展	S60. 3. 1 ～ S60. 3.17	第2展示室	
60	近世のやきものとぬりもの展	S60. 6.18 ～ S60. 6.30	第1展示室	
	中 島 菜 刀 展	S60. 9. 3 ～ S60. 9.16	第1展示室 第3展示室	

年度	展 覧 会 名	期 間	会 場	摘 要
61	自 然 資 料 展	S61. 8. 1 ～ S61. 8.28	第2展示室	
62	因 伯 の 古 地 図 展	S62. 3.28 ～ S62. 4.19	第1展示室	
	考 古 資 料 展 ～発掘された古代の情報～	S62.10.21 ～ S62.11.15	第3展示室	
	尾 崎 悌 之 助 遺 作 展	S62.10.31 ～ S62.11.11	第1展示室 第2展示室	
63	自 然 標 本 展 ～夏休みに学ぶ自然のいろいろ～	S63. 7.27 ～ S63. 8.21	第2展示室	
	君 野 コ レ ク シ ョ ン 展	S63. 8. 7 ～ S63. 8.21	第1展示室 第3展示室	
	第31回日本伝統工芸中国支部展	S63. 9.18 ～ S63. 9.25	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	絵 馬 と 信 仰 ～ 鳥 取 県 の 絵 馬 ～	S63.11.15 ～ S63.12. 4	〃	
H 1	橋 本 興 家 版 画 展	H 1. 3.11 ～ H 1. 4.16	第1展示室 第3展示室	
	オ ラ ン ダ 現 代 美 術 展	H 1. 4.23 ～ H 1. 5. 7	第2展示室	オランダ・トットリ現代 美術交流展実行委員会ほか 共催
	因・伯と但馬の襖絵	H 1. 7. 8 ～ H 1. 7.30	第3展示室	
	空から見た郷土のすがた展	H 1.11.16 ～ H 1.12.13	第2展示室	
2	第33回日本伝統工芸中国支部展	H 2. 9.22 ～ H 2. 9.30	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	川と池の自然の暮らし	H 2.11.23 ～ H 2.12.16	第2展示室	
3	山 地 の 自 然 の く ら し	H 3.12. 4 ～ H 4. 1.19	〃	
4	身 近 な 鳥・珍 しい 鳥	H 4. 5. 2 ～ H 4. 5.17	第1展示室	
	池 田 光 伸 展	H 4. 7. 1 ～ H 4. 7.12	第3展示室	
	第35回日本伝統工芸中国支部展	H 4. 7. 2 ～ H 4. 7. 8	第1展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	海 岸 地 域 の 自 然 と く ら し	H 4.11.19 ～ H 4.12.13	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 I ～ 江 戸 時 代 の 絵 画 ～	H 5. 2.13 ～ H 5. 3. 7	〃	
5	夭折の画家・前田寛治と 異色の彫刻家・辻晉堂	H 5. 4.25 ～ H 5. 5.30	第1展示室 第2展示室	
	画家 伊谷賢蔵と尾崎悌之助	H 5.12.16 ～ H 6. 1.23	第1展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 II ～ 考 古 資 料 ・ 工 芸 資 料 の 美 ～	H 6. 2.15 ～ H 6. 3.13	〃	
6	空から見た郷土のすがた	H 6. 6.14 ～ H 6. 7. 3	第2展示室	
	鳥 た ち の 世 界	H 6. 7.22 ～ H 6. 8.21	第1展示室	
	山 本 兼 文 遺 作 展 ～ 描 き ・ 彫 り ・ 刻 み 続 け た 半 世 紀 ～	H 6. 8. 2 ～ H 6. 8.15	第2展示室 第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 III ～ 書 と 人 物 ～	H 7. 2.14 ～ H 7. 3.12	第1展示室	
7	～信仰の造形～郷土に伝わる仏画展～	H 7. 4.22 ～ H 7. 5.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 地 図	H 7. 4.28 ～ H 7. 5.21	第1展示室	
	戦 後 5 0 年 ・ 戦 争 と 美 術	H 7. 7.20 ～ H 7. 8.20	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 総 合 展	H 8. 2.10 ～ H 8. 3.10	第1展示室	
8	山 陰 海 岸 と カ ニ ～ カ ニ と 一 緒 に 記 念 写 真 ～	H 8. 7.19 ～ H 8. 8.25	第3展示室	

年度	展 覧 会 名	期 間	会 場	摘 要
9	鳥 取 東 照 宮 の 宝 物	H 9. 3.27 ～ H 9. 4.20	第 1 展示室	
	絵 図 と 郷 土 で み る 鳥 取 城	H10. 2.13 ～ H10. 3.15	〃	
10	岡村吉右衛門コレクション展 — ア ジ ア の 染 織 —	H10. 4.18 ～ H10. 5.17	〃	
	ロストワールド 太古の生きもの	H10. 7. 2 ～ H10. 8. 1	〃	
11	空 から 見 た 郷 土 の す が た	H11. 4.16 ～ H11. 5.16	第 2 展示室	
	鳥 取 県 民 の 明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和	H11.11.12 ～ H11.12.23	第 1 展示室	
	河 北 省 の 文 物 と 人 々 の 暮 ら し	H12. 3.10 ～ H12. 4.16	〃	
12	河 北 省 の 文 物 と 人 々 の 暮 ら し	H12. 3.10 ～ H12. 4.16	〃	
	ふ し ぎ 大 陸 南 極 展	H12. 4.21 ～ H12. 5.21	第 2 展示室	
	城 下 町 鳥 取 の 絵 図	H12. 9. 9 ～ H12.10.26	第 3 展示室	
13	絵 は が き で 綴 る 鳥 取	H13. 4.27 ～ H13. 5.27	第 2 展示室	入場者数 15,089 名
	ピ カ ソ 銅 版 画 展	H13.11.16 ～ H13.12. 9	〃	
14	す ば る 望 遠 鏡 — 宇 宙 を 探 る 新 し い 眼 —	H14. 4.20 ～ H14. 5.19	第 3 展示室	入場者数 4,270 名
	数 学 と 遊 ぼ う — 形 の 数 の ワ ン ダ ー ラ ン ド —	H14.12.12 ～ H15. 1.19	第 2 展示室	入場者数 4,754 名
	高知県立美術館ベストセレクション シャガール版画展～愛の賛歌～	H15. 3.15 ～ H15. 4.13	第 1 展示室 第 2 展示室	入場者数 5,409 名
15	因 伯 の 古 代 寺 院	H15. 4.26 ～ H15. 5.25	第 1 展示室	入場者数 4,532 名
	現代の表現 鳥取 vol.1 4Rooms — 4 つ の 同 時 代 的 感 性 —	H15.12.17 ～ H16. 1.11	第 2 展示室	入場者数 1,173 名
	富 山 県 立 近 代 美 術 館 所 蔵 ル オ ー 版 画 展	H16. 2.28 ～ H16. 3.28	第 1 展示室 第 2 展示室	入場者数 3,018 名
16	発見しよう！自然のふしぎ	H16. 7.17 ～ H16. 8.25	第 1 展示室	入場者数 5,794 名
	空 から 見 た 郷 土 の す が た	H16. 7.17 ～ H16. 8.25	第 2 展示室	〃
	現 代 の 表 現 鳥 取 vol.2 平 久 弥 ・ 池 本 喜 巳	H16.11.21 ～ H16.12.19	〃	入場者数 3,967 名
	郷 土 作 家 展 版 画 の 誌 長 谷 川 富 三 郎	H16.12.23 ～ H17. 1.23	〃	入場者数 2,513 名
	共 同 企 画 展 三 重 奏 鳥 取 県 立 博 物 館 ・ 倉 吉 博 物 館 ・ 米 子 市 美 術 館 の コ レ ク シ ョ ン で つ く る 展 覧 会	H17. 2. 5 ～ H17. 2.27	第 1 展示室	入場者数 1,364 名
	丸 沼 芸 術 の 森 所 蔵 ア ン ド リ ュ ー ・ ワ イ エ ス 水 彩 素 描 展	H17. 3.12 ～ H17. 4.17	第 1 展示室 第 2 展示室	入場者数 8,216 名
17	鳥 取 の 山 岳 信 仰	H17.10. 7 ～ H17.11. 6	第 1 展示室	入場者数 5,432 名
	現 代 の 表 現 鳥 取 vol.3 嶋 田 悦 子 ・ 福 井 貞 子	H17.10. 8 ～ H17.11. 6	第 2 展示室	入場者数 5,379 名
	郷 土 作 家 展 異 景 — 八 橋 誠 滋 ／ 渡 里 彰 造 の 世 界 —	H18. 2. 7 ～ H18. 2.26	第 1 展示室	入場者数 915 名
18	遠 い 海	H18. 7.15 ～ H18. 8.27	〃	入場者数 20,378 名
	郷 土 作 家 展 海 と 空 と 角 護 ・ 石 谷 孝 二	H19. 3. 3 ～ H19. 3.18	第 2 展示室	入場者数 1,072 名

※ 1 平成 15 年度から「企画展」に名称変更

※ 2 平成 19 年度から従前の「企画展」を廃止

5 条例・規則

○鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年7月7日鳥取県条例第29号）

（目的）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、鳥取県立博物館の設置及びその管理に関する事項について定めることを目的とする。

（設置）

第2条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）を鳥取市に設置する。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時まで（教育委員会があらかじめ指定する日については、午前9時から午後7時まで）とする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定した日を掲示その他適当な方法により公表しなければならない。

3 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に第1項の開館時間を変更することができる。

4 教育委員会は、前項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（休館日）

第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限る。））

（2）休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。）

（3）12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

3 教育委員会は、前項の規定により臨時に休館し、又は休館日に開館するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（利用の許可）

第5条 博物館を利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、その利用（展示室、講堂又は会議室に係るものに限る。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

（1）公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

（2）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

（3）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の利益になると認められるとき。

（行為の制限等）

第6条 博物館においては、次の行為をしてはならない。

（1）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をすること。

（2）許可を受けずに博物館資料を模写し、又は撮影すること。

（3）所定の場所以外の場所において喫煙し、又は飲食をすること。

- (4) 許可を受けないで物品を販売すること。
- (5) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める行為

2 教育委員会は、前項の規定に違反し、又はそのおそれのある者に対しては、博物館への入館を拒み、又は博物館からの退去を命ずることができる。

(措置命令)

第7条 教育委員会は、博物館の適正な管理を図るため必要があると認めるときは、博物館の利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）その他の博物館を使用する者に対し、必要な措置を命ずることができる。

(許可の取消し)

第8条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第5条第1項又は第6条第1項第2号若しくは第4号の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反したとき。
- (2) 前条の命令に従わないとき。
- (3) 許可の条件に違反したとき。
- (4) 詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障がある行為をし、又はそのおそれのあるとき。

(使用料の徴収)

第9条 博物館の利用については、別表に定めるところにより、使用料を徴収する。

(使用料の減免)

第10条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。

(教育委員会規則への委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関する事項は、教育委員会規則で定める。

(以下附則省略)

別表（第9条関係）

1 通常展示の入館料

区 分	金 額
個人（一般人に限る。）	1人1回につき 180円
団体（一般人の団体であって20人以上のものに限る。）	1人1回につき 150円

2 特別展示（博物館が主催して行う特別の企画による展示をいう。）の入館料

展示に要する経費を勘案して教育委員会が別に定める額

3 展示室等使用料

区 分	金 額
第1展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第2展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第3展示室	1日につき 10,380円 半日につき 5,190円
講 堂	1日につき 5,320円 半日につき 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円

備考

- 1 この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 2 午後5時を超えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第1展示室	1時間につき 1,660 円
第2展示室	1時間につき 1,660 円
第3展示室	1時間につき 1,300 円
講 堂	1時間につき 660 円

- 3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料（備考2により加算した使用料を含む。）の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

○鳥取県立博物館協議会に関する条例（昭和33年4月1日鳥取県条例第16号）

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第22条の規定に基き、鳥取県立博物館に鳥取県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（定数）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

（任命の基準）

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

（以下附則省略）

○鳥取県立博物館の管理運営に関する規則（昭和47年9月29日鳥取県教育委員会規則第7号）

（趣旨）

第1条 この規則は、鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年鳥取県条例第29号。以下「条例」という。）第2条の規定により設置された鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（内部組織及び分掌事務）

第2条 博物館に、総務課、美術館整備準備室、学芸課及び美術振興課を置く。

- 2 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- （1）博物館の施設の管理に関すること。
- （2）博物館協議会に関すること。

- (3) 庶務に関すること。
- (4) その他他課の所掌に属しないこと。

美術館整備準備室

- 県立美術館の整備に関すること。

学芸課

- (1) 博物館資料（美術関係の資料を除く。次号及び第3号において同じ。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (3) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (4) その他博物館の事業に関すること（美術振興課の所掌に属するものを除く。）。

美術振興課

- (1) 県立美術館の整備に係る調査に関すること。
- (2) 美術関係の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 美術関係の資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (4) 美術関係の資料の調査研究に関すること。
- (5) その他美術関係の博物館の事業に関すること。

(職制)

第3条 博物館に館長を、課に課長を、室に室長を置く。

- 2 館長又は課長の職務を補佐し、これらの者に事故があるときにその職務を代行させるため必要があると認めるときは、博物館に副館長を、課に課長補佐を置くことができる。

(職員の種類)

第4条 博物館の職員（臨時的任用職員及び非常勤職員を除く。以下同じ。）の種類は、事務職員及び技術職員とする。

(職員の職)

第5条 博物館の職員の職は、別表のとおりとする。

(職員の分担事務)

第6条 職員の分担事務は、館長が定め、教育長に報告しなければならない。

(利用の申込み等)

第7条 博物館の展示室、講堂及び会議室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者は、様式第1号による利用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 博物館に入館して博物館資料を観覧しようとする者の利用の申込みについては、教育委員会が別に定めるところによる。

- 3 教育委員会は、博物館の利用の許可をしたときは、展示室等を利用する者に対しては様式第2号により通知し、博物館に入館して博物館資料を観覧する者（一般人に限る。）に対しては様式第3号による入館券を交付するものとする。

(許可申請)

第8条 条例第6条第1項第2号の許可を受けようとする者は、様式第4号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 条例第6条第1項第4号の許可を受けようとする者は、様式第5号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第9条 博物館の使用料の減免を受けようとする者は、様式第6号による減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が別に定める場合は、この限りでない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会の承認を得て、館長が別に定める。

(以下附則及び様式省略)

別表（第5条関係）

- 1 事務職員又は技術職員をもって充てる職
館長・副館長・課長・室長・課長補佐・係長
- 2 事務職員をもって充てる職
主事
- 3 技術職員をもって充てる職
主幹学芸員・主任学芸員・学芸員・学芸員補・専門員・機械技師・電気技師・自動車整備士・運転士

○県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免に関する規則（抄）

(昭和52年3月30日鳥取県規則第15号)

(目的)

第1条 この規則は、鳥取県立学校（以下「県立学校」という。）の授業料（通信制の課程にあつては、受講料。以下同じ。）、入学料及び入学選抜手数料（以下「授業料等」という。）並びに鳥取県立博物館及び鳥取県立青少年社会教育施設（以下「社会教育施設」という。）の使用料の減免に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(授業料等及び使用料の減免)

第2条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免は、次の表の中欄に掲げる授業料等又は使用料について行うものとし、当該授業料等又は使用料の減免を行うことができる場合は、それぞれ同表の右欄に定める事由に該当する場合とする。

区 分	授業料等又は使用料	減 免 事 由
鳥取県立博物館	通常展示の入館料及び特別展示の入館料	1 幼児、児童、生徒又は学生（以下「学生等」という。）の引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 2 身体障害者手帳の交付を受けた者、療育手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者その他知事が定める基準に該当する心身に障がいがある者（以下「障がい者」という。）及びその介護者が観覧するとき。 3 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）第7条第4項の規定による医療受給者証の交付を受けた者（以下「難病患者」という。）及びその介護者が観覧するとき。 4 70歳以上の者が観覧するとき。 5 介護保険法（平成9年法律第123号）の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた者（以下「要介護者等」という。）及びその介護者が観覧するとき。 6 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めたとき。
	通常展示の入館料	特別展示その他入場料又はこれに類するものを徴収する展示を観覧する者が当該利用の日に通常展示を観覧するとき。

鳥取県立博物館	展示室等使用料 (冷房若しくは暖房をしたとき、又は照明をしたときに加算すべき部分を除く。)	1 芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 2 社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 3 障がい者の社会参加を促進すると認められるとき。 4 難病患者の社会参加を促進すると認められるとき。 5 70歳以上の者の社会参加を促進すると認められるとき。 6 要介護者等の社会参加を促進すると認められるとき。 7 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めたとき。
	展示室等使用料	学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校、同法第55条第1項の規定により指定された技能教育のための施設若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する保育所若しくは幼保連携型認定こども園又は教育に関する活動を行う団体であって知事が別に定める基準に該当するもの(以下「学校等」という。)が、学生等が行う公演、学生等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他の知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき。

(減免の申請手続等)

第3条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免の申請手続その他必要な事項は、別に定める。

(以下附則省略)

鳥取県立博物館年報

平成30年度 No. 47

令和元年 8 月 発 行

鳥 取 県 立 博 物 館

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124

TEL (0857) 26-8042

FAX (0857) 26-8041

印 刷 有限会社 蜚 光 社
